年報２０１３の発行にあたって

平成２６年２月１４日から１５日にかけて関東地方は記録的な豪雪に見舞われ、当館でも進入路が閉鎖され、３日間の臨時休館を余儀なくされることとなりました。折しも平成２３年３月の東日本大震災から約３年が経過し、災害の記憶の風化が危ぶまれる中で、自然の脅威を改めて印象づける出来事でした。

豪雪から約半月を遡る平成２６年１月３０日、新聞各紙のトップを飾ったのは、「日本の研究グループ、新たな万能細胞（ＳＴＡＰ細胞）の作成に成功」という記事でした。研究リーダーが若干３０歳の女性研究者であったこともあって日本中が沸いたこの出来事は、程なくして、記事の基となった雑誌論文に数々の不正？と疑われる事態となり、その後、論文は撤回され研究成果は白紙に戻ることとなりました。若き理系女子による世紀の大発見は実験結果の不確定的問題とも言えますが、いずれにしても科学性が疑問視されるような大事件が起きたことは、博物館としても関心を持たざるを得ない状況となっています。

平成２５年度、自然史博物館では、例年同様３つの企画展と１つの特別展を行いました。平成２５年７月１３日から９月１日にかけて開催した第４３回企画展「甦れカミツキマッコウ・古代ゾウ」では、太古の関東地方に生息していた生きものたちをテーマとした展示を行いました。平成２５年９月２８日から１１月２４日にかけて開催した第４４回企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」では、人の暮らしと切り離せないイネ科の植物たちをテーマとした展示を行いました。また、平成２６年１月１日から２月２３日にかけて開催した特別展「自然のフォトギャラリーわたしの尾瀬」では、１７回ＮＨＫ「わたしの尾瀬」写真展入賞作品などを展示しました。平成２６年３月１５日からは第４５回企画展「生き物をまねる　ネイチャー・テクノロジー」を開催し（５月１１日まで）、生き物の体の「かたち」や「しくみ」をヒントとしてつくられた工業製品をテーマとした展示を行いました。

平成２４年度に引き続き２回目となる博物館活動の評価では、平成２５年６月に自己評価結果を公開後、１１月までに新たに博物館専門委員３名を委嘱、博物館評価に対する御意見をいただきました。

教育普及事業では、毎週土曜日に開催する「サイエンス・サタデー」をはじめ、自然観察会、講演会、展示解説、ビデオ上映会など、延べ１８，３７５回にのぼる事業を行いました。

第５次自然史調査では、昨年に引き続き上野村を対象に動物、植物、菌類、地質、古生物の総合学術調査を行いました。

また、論文１９編（原著論文１３、短報１、資料５）からなる群馬県立自然史博物館研究報告第１８号を発行しました。

さらに、自然史博物館では、昨年度、ＥＳＣＯ事業導入に向けた改修工事を行いました。平成２６年度からは、夜間電力を利用した蓄熱槽による空調等、省エネルギー効果の高い設備運転が行われます。

以上の活動では９４名の博物館ボランティアをはじめ、県内外の研究者、自治体関係者など、多数の皆様の御協力をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申しあげます。

この度、平成２５年度の事業概要を年報としてまとめました。皆様の御高覧を賜りますとともに、引き続き御指導、御協力をお願いいたしまして、御挨拶とさせていただきます。

平成２６年７月

群馬県立自然史博物館
名誉館長　長谷川　善和

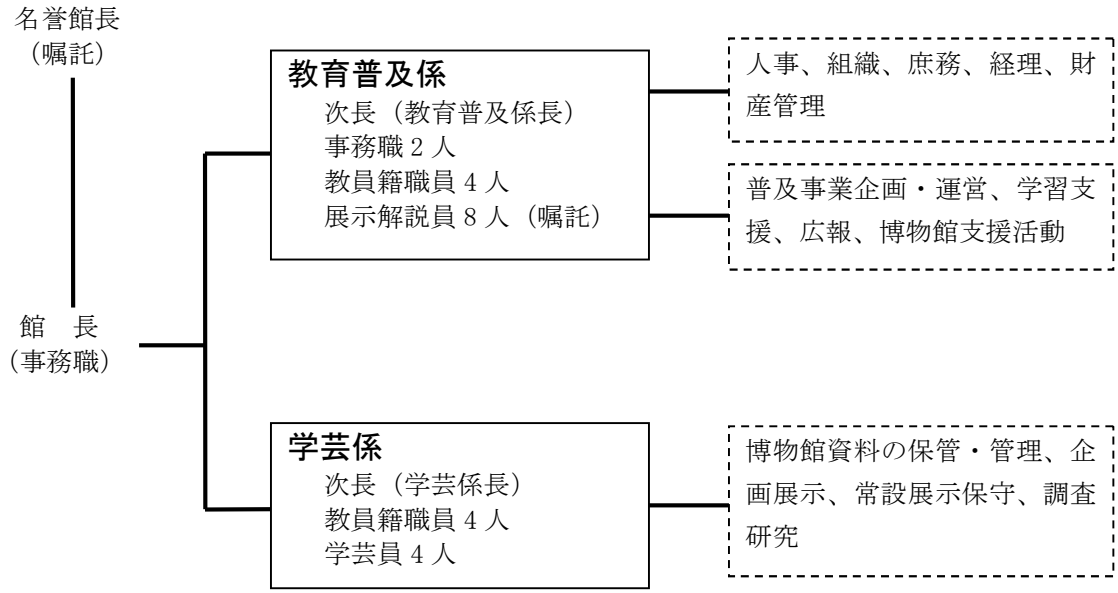
Ⅰ　管理

1　沿革

群馬県立自然史博物館の沿革は次のとおり。

昭和 32 年 3 月 12 日	「群馬県立博物館」として開館（群馬県富岡市一ノ宮 1353）
昭和 54 年 10 月 17 日	「群馬県立博物館」を廃止し、「群馬県立歴史博物館」として開館
昭和 57 年 7 月 16 日	「群馬県立歴史博物館」を廃止、「群馬県立自然科学資料館」として開館
昭和 63 年 12 月 1 日	「自然科学資料館整備拡充調査構想委員会」を設置（学識経験者 10 名、行政職 6 名）
平成 1 年 4 月 1 日	群馬県教育委員会社会教育課学習文化室に専任職員 1 名配置
平成 4 年 2 月 3 日	建築プロポーザルにて内井昭蔵建築設計事務所に建設基本設計を委託
平成 4 年 3 月 31 日	建築基本設計終了
平成 5 年 1 月 28 日	(株)丹青社と展示実施設計委託契約を締結 (財)日本科学技術振興財団と展示実施設計の監修業務の委託契約を締結
平成 5 年 7 月 31 日	建設実施設計終了
平成 5 年 8 月 31 日	展示実施設計終了
平成 6 年 6 月 30 日	建築工事等着工
平成 7 年 4 月 1 日	長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が参与に就任
平成 8 年 3 月 15 日	建築工事等竣工
平成 8 年 3 月 27 日	「群馬県立自然史博物館の設置及び管理に関する条例」を公布
平成 8 年 3 月 31 日	「群馬県立自然科学資料館」を廃止し、資料は自然史博物館に引き継ぐ 併せて群馬県歴史博物館所蔵の自然資料のほとんどを移管
平成 8 年 4 月 1 日	「群馬県立自然史博物館」発足（事務局：前橋市大友町庁舎３階） 職員 18 名（副館長、次長、総務課 3 名、教育普及課 3 名、学芸課 7 名） 非常勤嘱託 5 名 長谷川善和氏（理学博士・横浜国立大学名誉教授）が初代館長に就任
平成 8 年 5 月 16 日	付帯ホール（愛称「かぶら文化ホール」）の管理運営にあたる財団法人かぶら文化ホールが設立許可
平成 8 年 5 月 27 日	事務局を前橋市大友町庁舎から富岡市上黒岩「自然史博物館」に移転
平成 8 年 5 月 31 日	財団法人かぶら文化ホールにホールの管理運営等を委託
平成 8 年 9 月 14 日	展示工事竣工（(株)丹青社）
平成 8 年 10 月 21 日	開館記念式典
平成 8 年 10 月 22 日	「群馬県立自然史博物館」開館（一般公開） 第１回開館記念展「アルゼンチンの恐竜たち」開催
平成 14 年 1 月	開館５周年記念企画「ミュージアム・ポスター展」開催(1月4日～2月17日) 開館５周年記念講演会「ヒトと森と　ー森がヒトをはぐくむ」開催（1 月 26 日）講師：宮脇　昭氏（国際生態学センター研究所長）、河合雅雄氏（兵庫県立人と自然の博物館館長）
平成 14 年 6 月 9 日	入館者 100 万人達成
平成 18 年 7 月 15 日	開館 10 周年記念展「コアラ大陸オーストラリア　～ふしぎな動物たちの世界～」開催
平成 19 年 1 月 4 日	開館 10 周年記念企画「自然史博物館のあゆみ展」開催
平成 20 年 8 月 8 日	入館者 200 万人達成
平成 22 年 2 月	正面玄関プロムナード路面改修
平成 22 年 3 月	尾瀬シアター、トリケラトプス復元映像、機器及び映像更新
平成 23 年 7 月	開館 15 周年記念展「よみがえる！謎の巨大恐竜スピノサウルス」開催（7 月 16 日～11 月 20 日）
平成 23 年 9 月 17 日	入館者 250 万人達成
平成 24 年 10 月 16 日	平成 23 年度博物館活動の評価(内部評価)結果公表
平成 25 年 11 月 8 日	平成 24 年度博物館活動の評価(内部評価)に対する外部委員意見公表
平成 26 年 3 月 26 日	自然史博物館ＥＳＣＯ改修工事竣工

２ 組織



３ 事業体系

管理運営			人事、組織	教育普及係
			予算、経理	
			施設管理	
			庶務	
事業	展示		常設展示保守、改修	学芸係
			企画展示	
	普及事業	一般対象	展示解説	教育普及係
			ファミリー自然観察会	
			講演会	
			自然史講座	
			天体観望会	
			ミュージアム・ナイト・ツアー	
			バックヤード・ツアー	
			サイエンス･サタデー	
			学芸員による特別解説	
			ビデオ上映会	
		成人対象	チャレンジ講座	
		高校生対象	高校生学芸員	教育普及係
		小中学生対象	自然史博物館探検隊	教育普及係
			ミュージアム・スクール	
	学校教育支援		館内授業	教育普及係
			博物館体験学習	
			教育用資料貸出	
			博物館実習	学芸係
	調査研究		上野村地域総合学術調査	学芸係
			分野別調査研究	

		外部研究機関との連携調査研究	
		研究報告編集	
	情報システム		全体
	資料収集・保存・管理	採集	学芸係
		製作委託・購入	
		寄贈・寄託・移管	
		貸出・借用管理	
		文献・図書管理	
	博物館支援活動・広報	ボランティア	教育普及係
		友の会	
		視察受入	
		広報	
		相談指導	
	自治体等との連携	調査	全体
		相談指導	

4 管理運営業務

（1）入館者数の状況

平成２５年度の入館者数は 166,533 人（前年比 91.5%）で、開館以来２番目の年間入場者数であった前年度よりも１万５千人余減った。しかし、冬場の大雪の影響を考慮に入れれば、平成２３年度からの好調を維持しているといえる。

好調の要因としては、平成２５年３月から５月に開催した「サンゴ」（約３万５千人）、７月から９月に開催した「甦れ！カミツキマッコウ　古代ゾウ」（約４万６千人）、９月から１１月に開催した「アレもコレもソレもみんなイネ科」（約３万１千人）、平成２６年３月から開催中の「生き物をまねる」（３月末で約８千人）など、各企画展が堅調な伸びを見せた。これらの企画展では、生体展示や大型模型など趣向を凝らした展示はもとより、講演会や自然教室といった関連事業にも力を入れ、より展示の理解を深めてもらえるような工夫を行った。また１～２月に開催した写真展「わたしの尾瀬」は、特別展として今回で４回目となり、学校団体等の減る冬場の誘客に有効な展示となった。一方、平成２６年２月の記録的大雪は、当館の入館者数にも大きく影響した。臨時休館（３日間）のほか、その後の入館者数にも響き、結果として２月は対前年同月比▲4,749 人（41.7%）であった。

今後も、企画展示のほか教育普及事業や解説員による展示解説など、平素からの活動にも一層力点を置き、教育施設として、また観光施設としての魅力も発信し集客につなげていく考えである。なお、開館以来の累計の入館者数は、2,924,637 人、１日平均の入館者数は 568 人、年度別の入館者数の推移は、次のとおりである。（詳細は p. 103 以降参照）

入館者の推移

年度	Ｈ８	Ｈ９	Ｈ１０	Ｈ１１	Ｈ１２	Ｈ１３	Ｈ１４	Ｈ１５
開館日数	132	301	304	303	301	303	301	298
入館者数	120, 712	207, 688	165, 071	150, 211	156, 633	159, 416	166, 989	171, 697
１日平均	914	690	543	496	520	526	555	576

年度	Ｈ１６	Ｈ１７	Ｈ１８	Ｈ１９	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２	Ｈ２３
開館日数	292	292	293	292	291	290	288	291
入館者数	160,456	153,613	166,629	161,626	146,170	162,760	148,697	177,698
一日平均	550	526	569	554	502	561	516	611

年度	Ｈ２４	Ｈ２５	累計
開館日数	290	288	5,150
入館者数	182,038	166,533	2,924,637
一日平均	628	578	568

(2)歳入歳出決算の状況

歳入　　単位（千円）

区　　分	金　　額	内　　容
博物館入館料	３８，４５７	観覧料
施設使用料	５３１	ミュージアムショップ他
財産収入	５６７	自動販売機設置収入
雑　　入	１，５３８	
計	４１，０９３	

歳出

事　業　名	金　　額	内　　容
館運営	１９８，６３８	館の維持管理、事業運営等
博物展示	４５，０６９	常設展示メンテナンス、企画展
教育普及活動	３，１９８	観察会等教育普及事業
調査研究	１０，９８７	フィールド調査、学会参加
計	２５７，８９２	

(3)博物館評価の実施

平成２３年度に引き続き平成２４年度の博物館活動の自己評価を行い、平成２５年６月２６日に博物館ホームページで公開した。平成２４年度においてはこの後3名の博物館専門委員を委嘱し、自己評価に対する意見聴取を行った。意見聴取の結果についても１１月８日に博物館ホームページで公開した。

群馬県立自然史博物館専門委員（平成25年度）

・群馬大学　副学長　　小池啓一
・前富岡市立一ノ宮小学校長　　宮前和夫
・環境カウンセラーズぐんま事務局長　武藤国浩

平成24年度の自己評価結果及びそれに対する専門委員の意見は次のとおり。

平成２４年度自然史博物館活動の評価結果

平成２５年６月２６日
群馬県立自然史博物館

１　はじめに

本評価は、平成２３年度に策定した「活動目標の評価指標表（評価指標）」を用いた内

部評価であり、昨年１０月１６日に公表した平成２３年度の博物館活動の評価に続いて２回目となるものである。昨年度同様、本評価結果を今後の博物館活動の改善と充実につなげていきいたい。

２ 評価方法等について

（１）評価指標

今回の評価に当たっては、昨年度末までに、昨年度の評価結果を踏まえた評価指標の見直し（平成２４年度目標値の設定、活動目標項目の追加）を行った。

（２）評価作業

今回の評価は、昨年度に続き２回目となることを踏まえ、評価作業は職員８名によるＷＧが中心となって進め、素案作成後、職員の合同会議に諮り決定するという方法によった。

（３）結果の公表

評価結果については、全職員にフイードバックし、個々の業務改善につなげるほか、ＨＰにて公表し、県有施設としての説明責任を果たすために役立てたい。

※ 博物館活動の評価に至る経緯、自然史博物館の使命と事業方針等は、平成２３年度の評価結果を参照してください。

３ 今後の取組

平成２２年度の「魅力ある博物館を語る会」で示された外部評価の導入については、早ければ年度内の実施も視野に、今後、関係機関との調整等を進めていきたい。

４ 自己評価結果

（１）資料の収集・保存と活用（「未来に伝える博物館」）

採集・寄贈等により収集した資料の合計点数は、目標値を上回った。平成２３年度に比べ1，700 点ほど減少しているが、これは寄贈点数の変動によるところが大きい。

収集資料のデータベースは、常時サーバで運用されるとともに、定期的に磁気テープでバックアップされている。この磁気テープを万が一の事態に備え、館外での保存を行いたい。

資料は温湿度管理、日常の点検、定期的な燻蒸等により、安全に管理されている。

収蔵庫の温湿度は、開館以来運用を続けている空調機器により管理されているが、これらの老朽化が進んでいる。今年度中に実施されるESCO 事業により、空調機器を更新する際には、資料の保管の観点からも充分に注意し、運用セッティングを決定したい。

収蔵スペースの不足は以前から深刻な問題となっているが、ESCO 事業に伴う空調機器の移設で生ずる空間を倉庫として活用することで、収蔵スペース不足の一部解消が期待できる。しかし、収蔵資料は常に増え続けていくので、これの保管場所についても検討を続けていきたい。

展示での公開やレファレンスによる資料活用は、年度目標をほぼ達成しているが、これに甘んずることなく、より効果的な活用を模索していきたい。

（２）調査研究（「魅力を引き出す博物館」）

調査研究の推進では、昨年度は3 年計画で行われる上野村総合学術調査の2 年目で、延べ37 回（対前年度12 回増）の現地調査を行った。また、各職員が個々に行っている調査研究は13 分野18 研究、外部研究施設等と連携している調査研究は29 研究あり、前年度以上の活動を行った。研究成果の公表では、発表論文数19、学会発表数11（対前年度16 減）、講演会講座等数29（対前年度15 増）など形式の増減はあれ、コンスタントに成果の発表を行ってきたと考えられる。

しかし、調査研究では、研究者や自治体・研究団体との連携による調査研究に比べ、

県民との連携による調査研究が少ない傾向は変わらなかった。今後県民が参加しやすい研究テーマの開発と役割分担の組み込みが課題である。また、研究成果の公表や啓蒙という意味では一般向けも含めた講演会・講座の回数は大幅に増加した点は前年度からの改善点といえる。回数等の量的な面のみならず、特別展示や特別解説など、研究成果のタイムリーな公表による意識していきたい。

（３）展示（「知を広め、高める博物館」）

来館者数は182,038 人と過去最高となり目標値170,000 人を大幅に上回った。対面式アンケートによって得られたリピーター率も23 年度が63 ％であるのに対して昨年度は67 ％に伸びている。企画展示の魅力的な内容と様々な媒体による広報活動が功を奏していると思われる。常設展示は開館以来大きな更新はなく老朽化が否めず、展示物が壊されること等もあることから、故障が頻発している。故障時の職員による対応は年間211 回で、速やかに対処できる体勢が維持できている。

企画展は常設展にはないテーマを選定し、その時々話題性のある内容で夏、秋、春の年3 回、冬には写真展を開催している。昨年度は順に「深海の生物海底二万里の世界」「キノコとカビのミラクルワールド」「サンゴ―共生の海・ささえあう生命―」を開催した。夏は家族連れ、秋は学校団体を、春は家族連れなど一般向け、また季節を意識し展示を行っている。アンケート回答による昨年度の満足度は90 ％と高い評価を頂いた。予算は減少傾向にあるが、映像撮影・編集、造作物等は可能な限り学芸職員が製作しており、クオリティも向上してきている。冬の写真展はほとんどすべてが職員による手作りである。今後さらにリピーターの方々がまた足を運んでもらえるような魅力ある展示と展示方法の工夫を積み重ねていくことが肝要であり、その努力を継続していきたい。

展示解説アンケートにおける解説業務の満足度は23 年度の80 ％から昨年度は100 ％という高い評価を得た。これは解説・接遇研修を15 回から27 回と大幅に増やしたことにより技量が向上したことが要因として考えられるが、レベルの維持、質の向上に努めたい。

（４）教育普及（「知を広め、高める博物館」）

学びの魅力を感じられる事業の推進では、実施件数、参加者数ともにほとんどの事業で目標を上回り、参加者の満足度も高い。幼児から団塊の世代まで幅広い対象に応じたメニューを揃え、リピーターに配慮した「昼間の天体観望会」などの新規メニューの開発や「バックヤードツアー30」などの家族参加型のメニューを工夫した結果だと考える。

サイエンスサタデー以外の普及事業参加者数のみ目標を下回ったことは課題だが、各事業とも参加者の評価は高いので、魅力が伝わる広報活動に努めるとともに参加申し込み方法を簡略化するなどして参加者数の増加に努めたい。

学校教育支援の推進では、課題であった出前授業、館内授業ともに目標を上回った。出前授業強化期間の取り組みや下見対応において館内授業を詳しく紹介したことが成果につながったと考える。

ボランティア活動では、登録者数は昨年並みだが活動人数が減少傾向にあり、高齢化が課題である。友の会活動では会員数が大幅に増加し、活動が活性化する傾向にある。

（５）情報の発信と公開（「知を広め、高める博物館」）

当館の情報発信の方法は、館外と館内と大きく2 つに分けることができる。館外への発信は、ラジオや新聞など色々なメディアを活用したものと、ホームページの充実や月1 回のメールマガジンの発行など館自ら発信しているものがある。メディアを利

用したものはラジオ等の電波媒体による発信が49 件、新聞等の活字媒体による発信が120 件であった。ホームページでの新着情報では、１つ１つのイベントに対し事前には募集を兼ねた情報提供を行い、事後には活動内容報告をしている。また、年3 回の移動博物館や他館連携出前教室等も博物館の情報を公開する効果的な場である。さらに、高速道路の上里SA やお正月の神社でのＰＲ活動なども行った。

（６）シンクタンクとしての社会貢献（「知を広め、高める博物館」）

公共の博物館として、その有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師の派遣など、シンクタンクとしての機能を充実させ社会貢献を果たすことは博物館の重要な使命の一つである。

今年度から実績を集約したものは３項目ある。そのうち、レファレンス利用者の拡大は目標値200 件／年に対して246 件／年と目標値を越えることができた。これまで専門性を求めるニーズへの対応を心がけてきた結果であると考えられる。学会・博物館関連団体の委員等を除く、自治体やその他の機関･団体の委員会の委員等として16 件（昨年度13 件）を受諾し、学校を除く機関・団体への専門性を生かした講師派遣数は34 件（昨年度25 件）といずれも目標を大きく上回る結果であった。また、他の博物館等への資料の貸出件数は25 件と増加傾向にあった。これらの実績数は、いずれも増加傾向にあり、少ない職員数のなか健闘できたと考えられる。課題としては、大学教育への講義・実習等の回数の減少、博物館施設等との連携事業等の減少がある。

大学や他の博物館との連携は、専門性を高められる場でもあり、次年度以降、どのような形で寄与できるか検討する必要がある。

（７）マネージメント（経営）

安全で利用しやすい博物館施設への改善では、昨年同様、点字・外国語表記等が課題であるが予算的な制約から進展が見込めない状況である。観覧者サービスの点検と質的向上では、案内業務のクオリティチェックと接遇研修を継続することで、一定の水準の確保を図っているが、更なる向上を目指したい。

博物館の認知度の向上と利用者層の拡大では、新規事業の実施や連携事業の拡充などを行い入館者増に役だっているものと考えられる。

職員の意識改革と資質の向上では、研修会・学会等への参加が少ないが、予算上の制約も大きいため、必要な予算確保に努めたい。博物館の事業は長年継続しているものが多いことからマンネリ化の危険があり、積極的な取組を呼びかけていきたい。

博物館支援組織のあり方の検討は進んでおらず、重要な課題として検討を進めたい。博物館活動への理解及び外部協力の確保は、景気動向等から難しいが、予算確保や企業からの協力の増加の努力を続けたい。

防災意識の向上と危機管理体制の強化では、危機管理マニュアルの作成し地震を含む２度の訓練を行った。今後はマニュアルをより実効性のあるものとしていきたい。

博物館評価システムの構築では、初めての評価を行いＨＰで公開した。今後は評価の活用と外部評価の導入に向けた取り組みを進めたい。

平成 24 年度自然史博物館活動の評価に対する意見

□平成24年度自然史博物館活動の評価について

（群馬県立自然史博物館専門委員 小池 啓一）

先日、平成24年度群馬県立自然史博物館活動の評価について、館から説明をいただきました。近年、いろいろな組織で自己評価・自己点検、外部評価が行われるようになりました。さて、自然史博物館の活動を評価するためにはどのような“ものさし”が必要なのでしょうか。自然史博物館の使命とは何でしょうか。自然史博物館に共通する使命として、

地球、場合によっては宇宙の成り立ちから現在の地球環境、あるいは地域の自然環境の成り立ちを理解するために研究、情報の蓄積を行い、展示を中心に広く教育普及活動を行うということになるのでしょうか。学校や研究所とは異なり、広く一般に開放されていることも特徴でしょう。群馬県という地域にある博物館ではありますが、その基盤には46億年の長い地球の歴史に基づく広い視野が必要です。その上で、群馬県立自然史博物館のミッション（使命）は何でしょう。本来そのミッションを実現するために博物館は設置されたはずです。ミッションに基づき博物館の評価は始まります。しかし、当博物館で策定されている「使命と事業方針」は自然史博物館としての基本理念を十分に表現しているようには思えません。

ミッションを策定し、それを達成するための中・長期的な目標をもとに、年度ごとの活動目標を可能なものは数値で設定し、その達成度を評価します。群馬県立自然史博物館の基盤的使命、館の独自性（個性）、施設の規模等から見た客観的な評価基準の設定が必要です。館の施設設備、立地条件、人的資源、運営費等により期待される成果を達成しているかどうか、自己点検・評価すると共に、他の自然史博物館との比較も含め、より客観的な外部評価を行うことも必要です。

いずれにせよ、自然史博物館に期待される成果を達成するには、明確なミッションとそれを実現するための方策、地域の理解が必要です。さらに大切なことは、ミッションの実現には館の運営体制の継続性や情報の公開が必要です。群馬県の施設でありつつ、館のミッションを実現するためのガバナンスが必要不可欠です。館長は行政職であると共に、博物館のミッションに対する深い専門的理解が求められます。職員全体の共通認識は欠かせません。館独自の運営体制と共に、外からの支援体制作りも大切だと思います。これらを点検するための評価が求められています。

今回の博物館活動の自己評価のあり方が必ずしも十分なものだとは言えませんが、上記を踏まえて、さらにより明確なミッションの策定とその実現を図る出発点になることを期待しています。

（平成 25 年 10 月）

□平成24年度自然史博物館活動の評価について

（群馬県立自然史博物館専門委員 宮前 和夫）

群馬県立自然史博物館として、その使命と事業方針を明確に持ち進めて来た活動は、今回の評価結果に見られるように、大きな成果を残されたものと思います。

また、その詳細な分析が、自己評価結果の総括に書かれています。この評価活動の取り組みが、満足度調査に偏らず、博物館の各事業を通して、県民に伝えたいと考えていた部分がどうであったか、その分析がしっかり出来ているものと思います。ぜひ、館としての人的・物的条件の不足するところはあろうかと思いますが、見えてきた課題を、一歩でも改善出来るよう努めて頂きたいと考えます。

尚、次年度へ向けた具体的な改善の手だてを考えることは、館の全職員のこれからの議論を待ちたいと思いますが、一点だけ、ご検討頂ければと申し上げます。平成２４年度自然史博物館活動の評価結果（自己評価結果 （２）８行目）に書かれている、「・・県民との連携による調査研究が少ない傾向は変わらなかった。・・」が大切なポイントになるものと考えます。この点に対する新しい踏み込みが、今後の博物館の姿を変えて行くものに繋がるのではないでしょうか。そこで、その一つの指針にはなりませんが、今後の博物館が伝えて欲しいメッセージの一例を申し上げ、私の意見としたいと思います。それは、県民参加型のリサーチ活動を導入することで、私達人間と自然が、今、一番向き合わなければと、だれもが気付かされている分野を、博物館事業（調査活動）を通して県民と取り組

みながらいっしょに考えて行く、そんな新しい博物館の姿を実現して頂きたいと思います。　（平成25年10月）

□平成24年度自然史博物館活動の評価について

（群馬県立自然史博物館専門委員 武藤 国浩）

１．PDCAによる改善活動を

平成24年度の各評価指標に対する取組み実績を見ると、概ね目標に対する達成状況が確認でき、各活動が着実に実行されているものと評価いたしました。このような単期の目標達成が長期的な目標達成（すなわち自然史博物館の使命の達成）に確実につながるものにするためには、ぜひP(Plan)－D(Do)－C(Check)－A(Action)サイクルをとりいれた管理が望まれます。また、長期目標に対する短期目標の位置づけをより明確にすることで、チェック事項と次のアクションプランがより具体化してくると考えます。

２．自然保護ネットワークの中心に

自然史博物館の使命の一つである「シンクタンクとしての社会貢献」に大いに期待いたします。現在、県内各地で様々な自然保護活動が取り組まれていますが、このような活動を着実にそして継続したものにするためには、適切な支援が必要になると考えています。そのために、平成24年度も専門知識の提供などの活動が多く行われたことは大いに評価できました。今後は、様々な形式による研究成果の発表や、外部研究機関の連携とその発信などを通して、県内の自然保護活動を結ぶネットワークの中心的存在であって欲しいと考えます。

３．自然環境研究の人材育成

自然史博物館の教育普及活動について、様々な普及事業や教育支援活動、そしてボランティア、友の会活動の充実化が、平成24年度においても着実に実施されたことは大いに評価できました。ただ群馬県の実情を考えてみると、自然環境系の大学・研究機関が少なく、県内において自然環境の調査研究を継続できる環境がまだまだ少ないのではと感じております。そこで、自然史博物館の機能として、県内の自然環境系の研究者の育成、その活動（仕事）場所として、自然史博物館を利用できたら、将来の自然保護活動を担う人材の育成につながるのではと考えます。

（平成 25 年 10 月）

5 ESCO事業

（1）目的

ＥＳＣＯ事業とは民間のノウハウを活用した効果保証付き省エネルギーサービス事業で、受託業者が①改修工事費を光熱水費削減額で賄うほか、②契約期間中の施設の運転管理を請け負うとともに、光熱水費削減幅を保証することを特色とするものである。

自然史博物館では、初期の改修工事の費用負担を受託業者が行う（シェアードセイビング方式）を採用することで、事業期間を通じて経費を均一化し、新たな負担なしに老朽化した設備を更新することを目的に本事業を行うこととした。

（2）導入の経緯

自然史博物館ＥＳＣＯ事業については、平成２１年度に実施されたＥＳＣＯ事業導入可能性調査の結果、平成２２年４月にシェアードセイビング方式による導入が決定され、同年１２月に公募による提案募集を行い、学識経験者等で構成される審査委員会を経て、平

成２３年３月に日本ファシリティソリューション(株)と(株)ヤマトによるグループをＥＳＣＯ事業者に選定した。

しかし、契約締結の前提となる債務負担行為に係る補正予算を諮った平成２３年６月の県議会厚生文化常任委員会において、事業期間が長期にわたること等、計画内容に対する多くの疑問点が出され否決された。

その後、同委員会における指摘を踏まえ、①事業期間の短縮（15 年→13 年）、②補助金採択の必須条件化、③事業者の破綻時に受託グループの他の事業者が事業を引き継ぐこと、④技術革新があった場合に契約変更できる条件の追加、⑤再生可能エネルギーの導入、を加える変更を行い、平成２５年２月議会にて平成２５年度予算における債務負担行為が承認された。

※　債務負担行為の内容　債務負担の期間　平成２６年度～３８年度（１３年間）
債務負担額　781,235 千円
（各年度当たり　60,095 千円）

(3)契約締結

議会の債務負担行為の承認を受けて、平成２５年度は契約手続の作業を進め、平成２５年９月９日、日本ファシリティソリューション(株)、(株)ヤマト及び三菱ＵＦＪリース(株)の３社と自然史博物館ＥＳＣＯ事業の委託契約を締結した。

※　契約の内容　契約期間　平成２５年９月９日～平成３９年３月３１日（13 年間）
総支払限度額　781,235 千円
（各年度当たり　60,095 千円）

なお、消費税の税率アップ（5%→8%）に伴い、総支払限度額等を変える変更契約を平成２６年４月１日に締結した。

※　変更後の総支払限度額　803,556 千円
（各年度当たり　61,812 千円）

(4)改修工事

契約締結後直ちに改修工事に着手した。改修工事は、①高効率ヒートポンプチラーを用いた水蓄熱式空調システムの導入、②展示室照明の高効率化（ＬＥＤ化）、③収蔵庫パッケージエアコンの更新等を中心とするものである。

改修工事は平成２６年３月２６日に終了、平成２６年４月１日からＥＳＣＯサービスが開始されている。ＥＳＣＯサービス期間中は、光熱水費及び維持管理費（本契約の対象とされる機械設備運転管理等 4 種の委託業務）について、平成１８～２１年度の実績を基に予め算定された「ベースライン（101,939 千円）」に対する一定の削減額「削減保証額（59,000 千円）」を受託業者業者が保証することとなる。（但し、著しい気候変動等があった場合は、ベースラインの調整もありうる）

※　変更契約締結後のベースライン　104,852 千円
〃　削減保証額　60,686 千円

(5)跡地利用

ＥＳＣＯ事業における博物館地下機械室の旧設備の撤去に伴い、機械室入口付近及び機械室-1a に空き領域が確保された。この空間を暫定的な資料収蔵スペースなどに有効活用するため、合計 24 架の重量棚を設置した。設置した重量棚に収蔵できる実質的な容積は、長さ 600㎜×幅 400㎜×高さ 160㎜の資料箱にして約 340 箱分である。

６ 記録的な大雪

平成２６年２月１４日(金)から１５日(土)にかけて、関東甲信地方は記録的な大雪となり、群馬県内でも前橋市が観測史上最深の７３ｃｍの積雪を記録した。この記録的大雪は人的被害のほか、家屋の倒壊、電車の運休、道路の通行止め、孤立集落の発生、さらに、農業ではハウスの倒壊など多大な被害をもたらした。

この大雪によって、自然史博物館では、進入経路や駐車場の除雪が進まず、１５日(土)から１８日(火)まで臨時休館することとなり、この間予定していた行事も中止した。また、中庭の銅板葺き屋根の一部が損壊するなどの被害も発生した。

Ⅱ　事業の概要

1　展示

(1) 常設展示

県民が自然の生い立ちや群馬県の多様で豊かな自然環境などへの理解を深め、自然に親しみながら学習する施設とするため、展示に際して、①資料についてはできる限り実物を揃える　②資料のケース内の展示を極力減らして身近に展示し、実物を実感してもらう　③資料を観覧するだけでなく、資料によっては直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がける、以上の３点に配意している。

展示の保持にあたっては、平成25年度も各エリアの担当者が毎月１回エリア内の状況を確認した（清掃を含む）。常設展示は、下記の５つのコーナーに区分されている。

① 地球の時代（Ａコーナー）

誕生から 46 億年を経て現在に至る地球の発達、すなわち大地が形成される過程、そして地球における生命誕生とその生命が様々な環境に適応し多様化していく過程の二つを軸として、その中に群馬県の地質や化石を絡めて、生命の進化史を群馬県の自然史と対比しながら世界的・日本的規模で展示している。本コーナーの展示は、今の自然環境の基盤となる地球（太陽系）の形成と生命の誕生、ならびに先カンブリア時代の発展を紹介する「A-1 水の惑星と生命の誕生」にはじまり、「A-2 生命を育てた太古の海」（古生代）、「A-3 恐竜の時代」（中生代）、「A-4 哺乳類の時代」（新生代古第三紀・新第三紀）、「A-5 人類の時代」（新生代第四紀）の５つに分けられる。また、A-1 の入口側には、館全体の導入展示がある。

展示の中心はA-3 に列品されている大型恐竜（竜脚類）の全身骨格標本で、地球上で最大の生物を代表するブラキオサウルス・ブランカイ（全身骨格が復元された恐竜としては最も背が高い）、カマラサウルス（実物・世界で唯一組み立てられているメスの全身骨格）、マメンキサウルスといった世界三大大陸（アフリカ、北アメリカ、ユーラシア）の恐竜（竜脚類）として展示している。なお、ブラキオサウルスについては比較的近縁な種類だと推定される歯が、その後神流町でも発見されている。またボーンベッド展示では、アメリカで発見されたトリケラトプスの全身骨格化石（実物）の産出した状況をガラスの床下に復元し、俯瞰から観察できる。その他に、A-1 に列品されている重量１トン超の大型鉄隕石標本（実物・アフリカ産）をはじめ、ペルーの上部中新統産出のナガスクジラ類全身骨格化石（A-4、実物）では、ヒゲと皮膚の印象が残っているほか、このクジラを食べたと考えられるサメの歯も観察できる。また、A-5 では博物館近傍で江戸時代に発掘された角化石を元に復元されたヤベオオツノジカ全身骨格や県内産鉱物も展示されている。

展示機器の保守点検については、例年どおりA-1 の大型拡散霧箱について年２回、A-3 の動刻（ロボット関係：ティランノサウルス、ガリミムスなど）を年４回実施した。なお 12 月には保守点検作業に引き続き、４日間をかけてガリミムス動刻の内部に入れてあるコンプレッサーからのエア調整用エアチューブを開館 18 年目にして初交換した。また、A-3 とA-4 の境界にある動線矢印等を新しいものとしたが、展示更新・補修については、実施しなかった。

A-3「恐竜の時代」で常設展示している標本のうち、デイノニクス全身骨格を 24 年度３月から本年度６月まで久慈琥珀博物館へ、そして７月から１１月まで北海道大学総合博物館へ貸し出した。

（展示資料数 1,094 点）

② 群馬の自然と環境（Ｂコーナー）

多様で豊かな群馬の自然環境を低湿地から亜高山帯まで、また利根川や尾瀬など代表的な地域に分けてジオラマ、標本、映像等で紹介している。特に山地帯の展示ではブナ林、亜高山帯はシラビソーオオシラビソ林、丘陵帯はクヌギーコナラ林、低湿地は茂林寺沼の周辺の植物、尾瀬では湿原植物を、それぞれジオラマで再現している。さらに平成22年度より近年生物多様性の保全上問題になる外来種の展示を加えた。また、利根川では3つの水槽に上・中・下流に代表的な魚を生体で展示している。水槽展示のメンテナンスは年22回実施している。それぞれの場所ごとに生息する哺乳類や鳥類などの剥製やレプリカ、アクリル標本なども数多く展示している。また尾瀬シアターは、180インチのプロジェクター投影機を用いて、日本を代表する尾瀬の湿原をミズバショウの妖精ミズビーが案内するものとなっている。本年度の展示更新としては、触れる剥製のアナグマとタヌキを更新した。また、前年度に下仁田町が日本ジオパークに認定されたことから、下仁田ジオパークを紹介したパネル１点をイーゼルで仮設置した。ブナ林の導入部に設置されていた、4面マルチディスプレーの一部画面が表示できなくなったため修理を試みた。補修部品の提供が終了していたため、液晶モニタによる1画面化工事を行った。

（展示資料数1,355点）

③ ダーウィンの部屋（Ｃコーナー）

老博物学者のロボットが生物の進化について説明する。展示室内は、博物学者の書斎や倉庫、実験室をイメージし、数多くの標本を間近に見ながら、資料に触れたり、機器を操作したりしながら観察できる参加体験型の展示となっている。平成12年度に寄贈されたダーウィンの直筆書簡と顕微鏡を展示している。また、動刻（ロボット）については、保守点検を年4回実施した。また、展示ケース内の照明用安定器の交換を行った。展示では、「私が見つけた自然」の写真リニューアル8点、触れるウサギの更新を行った。

（展示資料数545点）

④ 自然界におけるヒト（Ｄコーナー）

このコーナーは、「1 動物としてのヒト」「2 ヒトの起源と進化」「3 ヒトの特徴」という３つの展示で構成されている。展示のコンセプトは、等身大立体教科書であり、教科書等で縮小され、平面的に紹介されてきた有名な図を、実物標本や模型・複製等で再現している。

（展示資料数364点）

⑤　かけがえのない地球（Ｅコーナー）

人間の生活が地球全体に及ぼす影響を紹介し、環境問題について考える機会を与える展示である。エコボール、ドードーやトキなど絶滅、または絶滅の危機にある動物の紹介や、森林の保水作用を説明する模型、環境クイズの映像などを展示している。展示の最後で動画を上映していたブラウン管モニターを液晶化すると共に、上映番組を現在の課題に合った内容に改変した。

（展示資料数29点）

⑥　ＥＳＣＯ事業にともなう照明機器の交換

本年度、ＥＳＣＯ事業の対象となった展示室内の照明機器を更新した。LED化により消費電力を低下させつつ照度を確保することができた。天井・バトンからの大型投光器は、Ａコーナーから Ｂコーナー前半のライトバトンを撤去して灯数を大幅に減らした。これらのライトバトンの撤去に伴う光量不足を補うため、Ａコーナーの壁面や中央部の展示物上部に大型投光器を新設した。Ａ・Ｂコーナーの床面から立ち上がるポール照明や床面に配置されているアッパーライト照明、ＡからＥコーナーの壁や天井面に設置してある小型照明についても、

既存のハロゲンランプをLEDに入れ替えた。

LED化にあたっては、照度、色温度、演色性、消費電力等を検討した。LEDは光の直進性が強いため、局所的に眩しい箇所が現れがちである。これを緩和するための措置として、一部の大型投光器へのディフューザーレンズ装着や、ポール照明・アッパーライト照明へのフード装着を実施した。ＥＳＣＯ事業で設置された照明機器のメンテナンスは、事業の契約期間中ＥＳＣＯ事業者が負うこととなる。

展示全体（Ａ～Ｅコーナー）のメンテナンスはエスコ事業対象外の部分で行った。

展示全体では、ジオラマの清掃、展示ケース・展示機器の電球類の交換、一部のブラウン管モニターの液晶化、一部のDVDプレーヤーのメモリープレーヤーへの入れ替え、上映番組の移行、展示用剥製等の修理、一部ラベル・パネル・展示用具の修正・作製等を行った。

(2)　企画展示

ＥＳＣＯ事業導入に伴う常設展示室の照明更新と並行して、企画展示室の照明を 12 月に更新した。入口のチケットカウンター周辺から企画展示室までの回廊と企画展示室の天井に設置してあった蛍光灯を、蛍光灯型 LED に置き換えた。併せて、ギヤエッジパネルの上部に取り付けていた小型ハロゲンランプ照明を LED 化した。ただし、回廊及び企画展示室内のライトレールに設置するスポットハロゲンランプは、既存のレールや照明器具に適合する LED 器具が製品化されていなかったため、更新は見送られた。ＥＳＣＯ事業で設置された照明機器のメンテナンスは、同事業の契約期間中ＥＳＣＯ事業者が負うこととなる。

① 第４２回　企画展「サンゴ ―共生の海・ささえあう生命―」

展示概要

顕生累代以降の地球生命の歴史において、サンゴの仲間（特に造礁性サンゴ）は二酸化炭素固定に大きく寄与していて、地球規模での環境にも影響を与えている。また太古のサンゴ礁は、石灰岩となって、人類の文明にも関わっている。多くの生物が互いに助け合って生きるサンゴの森にはエビ、カニ、ナマコなど様々な生物が密接な協力関係のもとに暮らしている。しかし今、サンゴ礁が危機に瀕している。地球温暖化により海水温が上昇し共生を保てなくなったサンゴが死滅しつつある。

本企画展では、動物界におけるサンゴの仲間（刺胞動物）の位置付けや分類、そしてサンゴ類の変遷と生物たちの絶妙な関係を紹介し、これからの地球環境を考える機会になるようなものとしたい。

１　開催期間

平成 25 年 3 月 16 日（土）～5 月 12 日（日）　51 日

２　主な展示構成

A)　サンゴとサンゴ礁のはなし

サンゴ礁が地球や人類，生物多様性にとっていかに重要かを，歌う生物学者としても著名な「本川達雄氏」の言葉で構成したパネルで展示する．サンゴと，サンゴ礁，生物多様性に関する問題を知る展示.

B)　地球の歴史と石灰岩

地質時代のサンゴなどの造礁生物化石と石灰岩の関係、奄美大島の喜界島で研究されているハマサンゴの年輪から得られるストロンチウムの量から得られる１万年の海水温の変化を紹介する。また、日常生活に関連した石灰岩の利用についても展示する。

【主な展示物】化石標本、ハマサンゴボーリングコア、石灰岩を利用した日用製品、写真パネルなど。

C) 生物としてのサンゴ

動物界におけるサンゴの仲間（刺胞動物）の位置付けや分類、サンゴの体の構造やサンゴの生活史、石灰岩をつくりだすメカニズムとサンゴ礁の島のでき方などを紹介する。

【主な展示物】フィジー産サンゴ　約５０点（照明を効果的に使う），クラゲ類などの刺胞動物の標本、サンゴ１個体の拡大模型、サンゴ礁の島の断面模型、サンゴの誕生から成長の動画、サンゴのバンドルや幼生の観察コーナーなど。

D)サンゴ礁の危機

地球温暖化や表土・汚染物質の流入などの原因により，サンゴ礁とそこに生息する生物たちが危機に瀕している．サンゴの白化現象やダメージを受けたサンゴ礁の回復への取り組みについて，最先端の研究者の活動をもとに展示する.

【主な展示物】写真パネル，調査用具など.

E) ささえあう生命

褐虫藻は光合成をした物質のほとんどをサンゴに与え、サンゴの粘液は礁の生き物を養う。サンゴ礁で見られる様々な生物どうしの支え合い「共生」について展示する．農業をする魚「クロソラスズメダイ」とその生活についても紹介する.

【主な展示物】シャコガイ、リュウキュウアオイガイ　有孔虫（星砂），共生藻をもつその他の動物，クロソラスズメダイの紹介，写真パネル，褐虫藻の観察コーナー，サンゴと褐虫藻の共生動画など.

F) サンゴ礁の住人たち

【主な展示物】パネル、サンゴガニ、貝とサンゴ、ホンソメワケベラ、クマノミとイソギンチャクの共生　ハゼとエビ

G) 生きているサンゴ

サンゴの生活や生態について、生体飼育水槽や映像等を用いて紹介する。サンゴ礁の生物たちの写真館(県内のダイビング愛好家が撮影)

【主な展示物】サンゴ生体展示　サンゴ飼育専用水槽 2 台を展示（水槽以外の照明を落とし展示室空間に海面にみえる処理を施し、水中にいるような効果をねらう。

サンゴ数種類，サンゴ礁の生物，映像資料など。

H）サンゴの保全と私たち
サンゴ礁の恩恵・再生・保全について紹介する
【主な展示物】　パネル、宝石サンゴ
展示点数：約 450 点（当館収蔵資料数 440 点）

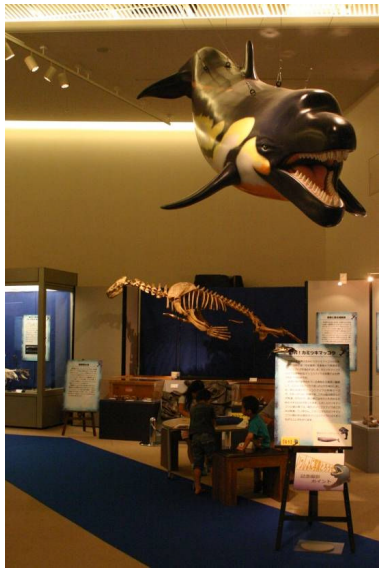
☆ 展示の随所に設ける体験コーナー
・標本にさわってみよう：サンゴの化石・サンゴの骨格・宝石サンゴ
・動画をじっくり見てみよう：サンゴの生活・サンゴの産卵
　　サンゴの卵～赤ちゃん～子ども・サンゴの体のひみつ・サンゴ礁の生き物たち
・遊びながら学ぼう：クイズラリー，塗り絵コーナー，共生早わかりパズル

３　展示指導
東京工業大学　生命理工学部　教授　本川達雄　（敬称略）

４　協力機関および協力者
琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設　中野義勝
東京工業大学　大学院情報理工学研究科　教授　灘岡和夫
東京大学大気海洋研究所　准教授　横山祐典
愛媛大学　理学部　准教授　畑　啓生
プロモファクトリー　（以上、敬称略）

５　入館者数
35,098 人（うち、平成 25 年 3 月 31 日までの入館者数は 9,101 人）
来館者調査結果（抜粋）：
・調　査　数　149 名
・居　住　地　群馬県 74%　県外　26%
・企画展の観覧は　初めて 25%　２回目 14%　３回目　8%　４回以上 52%
・企画展の内容は　満　足 75%　普　通 24%　不満足　1%
・わかりやすさは　よ　い 80%　普　通 13%　悪　い　7%

②第 43 回企画展「甦れカミツキマッコウ　古代ゾウ　～関東に眠る太古の生きものたち～」



展示概容

関東地方には日本最大の関東平野があり，それをとりまく山地の間の丘陵部には新第三系が広く分布している．これらの地層からは多くの化石が発見されており，過去の生物多様性について貴重な情報をもたらしてきた．本企画展では関東の大地の歴史を概観すると共に特に哺乳類を中心とした関東の新第三系から見つかった化石標本を展示し，それらによって解き明かされる新生代の関東における生命の歴史について紹介した．本企画展では関東の大地に眠る太古の生き物たちを通して，現在の日本周辺における哺乳動物相の成立過程を紹介し，現在の生物多様性について考える場を提供することを目的とした．

１　開催期間

平成 25 年 7 月 13 日（土）～9 月 1 日（日）　48 日間

２　展示構成と主な展示物

A)　関東の大地の歴史

三葉虫，腕足類，ウミユリ，サンゴ類等関東地方の古生界産化石標本．アンモナイト類等関東地方の中生界産化石標本．関東地方衛星撮影画像など．

B) 関東のジオスポット

ジオパーク解説パネル，紹介パンフレットなど．

C) 関東パレオシーワールド

関東地方産束柱類化石，カルカロドンメガロドン，ジョウモウクジラ　タイプ標本，チチブクジラ頭蓋，アキシマクジラ，群馬県産ケントリオドン類，カミツキマッコウ実物大生体復原模型，ヨシイセイウチ，クロベガメ，アンナカコバネハクチョウなど．

D) 太古の扉を開くには

化石調査・研究用具，化石クリーニング動画，関東各地産化石標本

E) 関東パレオサファリワールド

埼玉県産アケボノゾウ全身組立骨格，ハチオウジゾウ　タイプ標本，茨城県産ステゴロフォドン，ナウマンゾウ（浜町標本），古型マンモス，神奈川県中津層産脊椎動物化石，クズウサイ，オオヤマネコ，ヒグマ，バイソン，トラ

展示点数：約 600 点（当館収蔵資料数　約 150 点）

３　後援

日本古生物学会，日本地質学会，化石研究会

４　協力機関・協力者

昭島市教育委員会，アケボノゾウの会，飯田市美術博物館，伊豆大島ジオパーク推進委員会，伊豆半島ジオパーク推進協議会，茨城県北ジオパーク推進協議会，片柳石灰工業株式会社，神奈川県立生命の星・地球博物館，かわさき宙と緑の科学館，神流町恐竜センター，葛袋地学研究会，群馬古生物研究会，群馬サファリワールド，慶應義塾幼稚舎，国立科学博物館，古脊椎動物研究所，埼玉県立自然の博物館，佐野市葛生化石館，下仁田ジオパーク推進室，小学館，秩父まるごとジオパーク推進協議会事務局，千葉県立中央博物館，銚子ジオパーク推進協議会事務局，東御市教育委員会，独立行政法人産業技術総合研究所地質標本館，栃木県立博物館，箱根ジオパーク推進協議会事務局，八王子市教育委員会，学びの映像舎，ミュージアムパーク茨城県自然博物館，むさしの化石塾　（以上アイウエオ順、敬称略）

相場博明，青山朋史，伊左治鎭司，石井千春 ，石原克彦，犬塚則久，上野　渉，碓井和幸，遠藤信也，大島光春，奥村よほ子，小田　隆，柏村勇二，片岡国幹，片柳岳巳，加藤登志夫，加藤久佳，兼子尚知，上村英雄，唐澤　寛，川上茂久，北川博道，北川眞理子，久保田克博，黒瀬輝章，小池　渉，小泉昭裕，国府田良樹，甲能直樹，小林英一，小林春樹，小林光吉，斉藤二三男，坂口好孝，坂本　治，篠崎繁雄，新村達也，杉田正男，須藤　豊，関谷友彦，瀬田　昭夫，瀬田和博，高塩年男，樽　創，對比地孝亘，内藤照夫，中島　礼，中村賢二郎，西村　剛，野村昌広，馬場健司，林　昌男，福島　徹，藤井孝二，藤村俊一郎，堀田雄二，松本良輔，水原　猛，水原猛，三田照芳，村松　武，諸橋靖子，薬師大五郎，矢嶋孝一，山澤　隆，山本智康，吉田健一，吉本知宏　（以上アイウエオ順、敬称略）

５　入館者数

46,704 人

来館者調査結果（抜粋）

・回　答　数　：336 名（回答率 0.7%）
・居　住　地　：群馬県 59.9%，　県外 40.1%
・企画展の内容：満足 78.2%　普通　16.3%　不満足 5.5%
・企画展の観覧：初めて 40.5%2 回目　9.1%　3 回目以上 50.3%
・わかりやすさ：よい　78.2% 普通　16.3% 悪い　5.5%

６　関連事業

・オープニングセレモニー
日時：7 月 13 日(土)　9:40~10:30
会場：学習室，エントランス，企画展会場
来賓：12 名
参加者：50 名

・講演会　7 月 14 日(日)
「あらわれた動物・いなくなった動物ー関東の 1000 万年の動物の歴史ー」
講師：当館　名誉館長　長谷川善和
参加者：40 名

・講演会　8 月 18 日（日）
「よみがえる化石たち　骨から読み解く太古の生きもの」
講師：東京大学理学系 地球惑星環境学科　講師　對比地孝亘
参加者：54 名

・自然教室　7 月 28 日(日)
「30 万年前の化石を取りだそう」
講師：館職員
参加者：24 名

・自然教室　8 月 4 日(日)
「ペーパークラフトでよみがえる太古のクジラ」
講師：館職員

参加者：21 名

・自然教室　8 月 25 日(日)
「群馬サファリで太古の関東を感じよう」
講師：群馬サファリパーク 北村昭二，　館職員
参加者：37 名
会　場：自然史博物館（学習室・企画展示室），群馬サファリパーク

実施設計・展示施工：有限会社ディ・カールトン
印　刷　物：朝日印刷株式会社
招待券 6,000 枚のほか、広報用として通常ポスター3,000 部（B2 縦: 4 色カラー）と上信電鉄中吊り用ポスター（B3 横・200 枚）、スケール入しおり
3,000 枚を作成した。パンフレット（A4 縦・両面カラー）は 65,000 部作成した。販売ならびに関係者宛配布用として、図録（A4 縦：46p.： 1,000 部）を作成した。
学習支援：主に小学生向けとしたクイズ形式のワークシートを館内で作成・印刷し、
展示を見学する際の指針となるようにした。また、未就学児を主な対象として、ぬりえコーナーを設けた。またビデオ上映会、自然史博物館探検隊など既存普及事業でも、可能な範囲で企画展と関連づけた内容を取り入れた。
そ の 他：自然教室に関連してペーパークラフト(2 種：各 1000 部）を製作し，販売した。

③ 第44回企画展「コレもソレもアレも　みんなイネ科」

趣旨：イネ科は 10,000 種を含み、種子植物中第４位の一大グループで、熱帯からツンドラ、さらに高山や砂漠、海辺まで進出している。しかしイネ科を含む単子葉植物は学校教育や日常生活の中では、どちらかというと双子葉植物の亜流にみられることが多い。加えてイネ科は外形が地味で分類が難しく、敬遠されることが多いグループである。しかし、人類の食物の大部分はイネ科植物に依存するなど、人間生活対して大きな役割を果たしている。本企画展はイネ科の多様な種やその変化に富んだ生態を紹介するとともに、人間生活とイネ科植物のかかわりについて解説した。

１　開催期間

平成 25 年 9 月 28 日（土）～11 月 24 日（日）（開催日数 50 日）

２　主な展示構成

A) エントランス展示

はざかけとドライフラワーで展示を告知するとともにイメージ作りを行った。

B) この景色イイね

イネ科植物のある風景をビジュアルに展示した。

C) イネ科の歴史

まずイネ科が属する単子葉植物の科とその進化を分子系統学の知見を入れて紹介した。さらにイネ科と近縁で、しばしば混同されるカヤツリグサ科、イグサ科との比較解説をした。

【主な展示物】単子葉植物の標本・レプリカ。

D) あれもイネ科、これもイネ科、みんなイイね！

イネ科の特殊な形態を解説するとともに、多様なイネ科植物とその生態を標本や写真を用いて解説した。また、群馬県のイネ科自生種全種の標本スキャン写真の閲覧を可能とした。

【主な展示物】さく葉標本、セイタカヨシ実物大標本、ツルヨシ実物乾燥標本、イネ科の小穂・小花とその拡大模型、群馬県産自生種収蔵標本スキャン。

E) ヒトとイネ科

穀物や牧草、建材、楽器・工芸品などの民俗・文化材料としてのイネ科植物について体験コーナーを交えながら解説した。

【主な展示物】実物標本、製品、生体展示、籾すり体験、雑穀仕分け体験、楽器試聴体験、香料体験

F) どうなる？イネ科

絶滅危惧種のイネ科、雑草、管理放棄と動物食害など、産業や保全と関係する問題のほか、品種改良や古い品種の消失の問題についても触れた。

【主な展示物】植物標本、動物剥製、森林ミニジオラマ、竹林ミニジオラマと竹林分布図

G) 中庭展示

巨大なエネルギー資源植物・エリアンサス、雑穀、各種の水陸稲の生体展示を行った。また、中庭のイネ科雑草に名札を立てた。

展示点数：591 点（当館収蔵資料数 524 点）

３　後援

上毛新聞社、ＮＨＫ前橋放送局、JA甘楽富岡、株式会社エフエム群馬、群馬テレビ株式会社

４　展示指導

桜美林大学　准教授　木場英久

５　協力機関・協力者

JA 甘楽富岡、一般社団法人 日本茅葺き文化協会、沖縄県立博物館、恩賜上野動物園、群馬県酒

造組合、群馬県農業技術センター稲麦研究センター、群馬県農政部農政課、国立科学博物館、国立科学博物館筑波実験植物園、財団法人　自然環境研究センター、高崎市染料植物園、竹の駅竹原、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　作物研究所、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　畜産草地研究所　那須研究拠点、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　九州沖縄農業研究センター、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構　中央農業総合研究センター　北陸研究センター、独立行政法人農業生物資源研究所 遺伝資源センター、中島弓具店、日清製粉ミュージアム、富士竹類植物園、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、山形県川西町、青木雅夫、天笠安次、池田　博、金子美香子、上村信之、川田伸一郎、北爪二郎、窪田裕一、小出可能、佐藤真由美、菅谷隆幸、田中良和、中川真菜、中嶋史子、中村純也、林　正樹、本多清次、村崎みどり、森　洋輔、山田高廣　(以上、敬称略)

6　入館者数

31,799 人

来館者調査結果（抜粋）：

・調　査　数　　115 名
・居　住　地　　群馬県 61%　県外　39%
・企画展の内容は　満　足 73%　普　通 24%　不満足　3%
・企画展の観覧は　初めて 36%　２回目 10%　３回目　5%　４回以上 49%
・わかりやすさは　よ　い 82%　普　通 14%　悪　い　4%

7　関連事業：

・オープニングセレモニー
　日　時：9月28日（土）9:40～10:30
　会　場：企画展会場、エントランス、学習室等
　来　賓：富岡市教育長、富岡市立高瀬小学校校長、群馬県農業技術センター稲麦研究センター長、（一般公募20名）
・講演会「お米の新しい品種ができるまで」
　講師：中央農業総合研究センター北陸研究センター
　　作物開発研究領域上席研究員　山口誠之
・ミニチャレンジ講座「イネ科の観察と分類」
　講師：桜美林大学 准教授　木場英久
・自然教室「黄八丈の材料・コブナグサで草木染め」
　講師：高崎市染料植物園 主任技師 石原典子　　(以上、敬称略)
・水田活用事業
　田植え、田の草取り、収穫祭と観察会（稲刈りは台風のため中止）
＊このほか10月、11月のサイエンスサタデーを企画展連動企画とした。

実施設計・展示施工：中央宣伝企画株式会社

印 刷 物：朝日印刷株式会社
招待券6,000枚のほか、広報用として通常ポスター3,000部（B2縦:４色カラー）と上信電鉄中吊り用ポスター（B3横・PDFデータ）、スケール入しおり3,000枚（4種: 各750枚）を作成した。パンフレット（A4縦・両面カラー）は65,000部作成した。販売ならびに関係者宛配布用として、図録（A4縦：56 p.: 1,000部）を作成した。

広　　報：広報活動では、JA甘楽富岡や群馬サファリパークなどの近隣関係機関

や移動博物館などでのパンフレット配布に力を入れた。先述のスケール入しおりについては、文真堂書店の2店舗で無償配布した。また、従来どおり、県庁記者クラブにもプレスリリースを流して情報提供した。科学雑誌などに情報や記事を提供した。

学習支援：主に小学生向けとしたクイズ形式のワークシートを館内で作成・印刷し、展示を見学する際の指針となるようにした。また、未就学児を主な対象として、ぬりえコーナーを設けた。またビデオ上映会、自然史博物館探検隊など既存普及事業でも、可能な範囲で企画展と関連づけた内容を取り入れた。

そ の 他：クリアファイル（2種の絵柄:各150）を製作し配布した。

④第45回企画展「生き物をまねる　ーネイチャー・テクノロジーー」

趣旨：近年の工業製品には、「カワセミのくちばしのかたちをまねて作られた 500 系新幹線の車両」や「モルフォチョウの翅の構造色のしくみから生まれた色あせない生地」のように、生き物をヒントにデザインしたものがある。この試みは「ネイチャー・テクノロジー」と呼ばれている。「持続可能な社会」を目指すことが世界的に叫ばれるようになってから、このネイチャー・テクノロジーは、自然生態系への影響を極力少なくした循環型のテクノロジーとしても注目されている。生き物のもつすばらしい“かたち”や“しくみ”が私たちのライフスタイルに生かされているのを紹介し、自然への興味を深めていただくことを目的とした。

1　開催期間

平成 26 年 3 月 15 日（土）～5 月 11 日（日）（開催日数 51 日）

2　主な展示構成

A) エントランス展示

アサギマダラの翅、アホウドリの翼のかたちをまねた扇風機の羽根で展示を告知するとともに、企画展に登場する生き物に関連したグッズを展示した。

B) 今、地球がかかえていることって？

日本人と同じ生活を全世界の人間が行うと地球が 2.3 個必要であることや地下資源の枯渇問題を紹介することで、地球がかかえている問題提起をした。

C) ヒントは自然の中に

地球が抱える問題解決の糸口は自然の完璧な循環システムの中にあることを、植物の光合成に焦点を当てて展示した。

【主な展示物】色素増感型太陽電池　光合成でオイルをつくる藻類
懐中電灯の光を色素増感型太陽電池に当てて発電する体験型展示。

D) ネイチャー・テクノロジーってなんだろう？

ネイチャー・テクノロジーとは、自然に学ぶ新しいテクノロジーということを、東北大学大学院環境科学研究科 石田秀輝教授作製のパネルで紹介した。

【主な展示物】ネイチャー・テクノロジーとは　ネイチャー・テクノロジー創出システム
2030 年の探検編　（以上パネル展示）

E) 自然のかたちのひみつをのぞいてみよう

生き物のもつかたちに焦点を当て、生物標本と工業製品を比較できるように展示した。主な内容は、ハチの巣とハニカムプレート、ゴボウの果実と面ファスナー、ハスの葉と撥水効果のある包装材、カと注射針、トンボと風力発電装置、ザトウクジラの胸ビレと風力発電のプロペラ、フクロウ類の翼と 500 系新幹線のパンタグラフ、カワセミと 500 系新幹線の先頭車両、ジャイアントケルプと波力発電（波力発電は動画で紹介）である。

【主な展示物】ジャイアントケルプ乾燥標本（15m）、ザトウクジラの胸ビレ実物大模型（4m）、
500 系新幹線のパンタグラフ実物、ミナミハコフグ生体展示
体験展示は撥水効果のある包装材・フクロウとオオタカの触れる翼・カと注射針の顕微鏡観察などを展示した。

F) 自然のしくみのひみつをのぞいてみよう

生き物のもつしくみに焦点を当て、生物標本と工業製品を比較できるように展示した。主な内容としては、フナクイムシとシールドマシーン、ガと低反射の繊維、モルフォチョウと構造色の繊維、クモとカイコがつくるクモの糸、カブトムシとミウラ折り、カタツムリと汚れのつきにくい外壁用タイル、マグロの剥製と水着、イルカの音を聴くしくみと骨伝導ヘッドフォン、微生物がつくる繊維（生分解プラスチック）、クマムシの乾眠などである。

【主な展示物】ヤモリの生体展示、ミウラ折りの体験コーナー、魚の側線実験器、ぬり絵コーナー

G) 自然のドアをノックしてみよう

自然に学んだ 2030 年のライフスタイルと、科学から空想した未来都市をイラストで展示した。また、現在実用化されている技術として、打ち水を利用した舗装システムをパネルで紹介した。
展示点数：688 点（内当館収蔵資料数 645 点）

３　後援

東北大学大学院環境科学研究科、日刊工業新聞社／モノづくり日本会議ネイチャー・テクノロジー研究会、群馬テレビ株式会社、上毛新聞社、株式会社エフエム群馬、
ＮＨＫ前橋放送局

4　展示指導

東北大学大学院環境科学研究科　教授　石田秀輝（敬称略）

5　協賛

公益社団法人高分子学会、東洋アルミニウム株式会社、ペクセル・テクノロジーズ株式会社
株式会社ライトニックス、山本化学工業株式会社、株式会社 IHI エアロスペース、
ゴールデンダンス株式会社、大豊建設株式会社

6　協力団体

株式会社 LIXIL、TEIJIN 株式会社、岡本株式会社、日東電工株式会社、住友ゴム工業株式会社
クラレファスニング株式会社、株式会社大林組、富士フィルム株式会社、株式会社デサント、
三菱レイヨン株式会社、一般社団法人日本トンネル技術協会、栃木航空宇宙懇話会、信州大学
繊維学部、千葉県立中央博物館、北海道大学総合博物館、交通科学博物館、向井千秋記念子ど
も科学館、新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里、独立行政法人水産総合研究センター、東
京大学大学院理学系研究科生物科学専攻、東京大学大学院農学生命科学研究科生物材料科学専
攻、筑波大学生命環境系、慶應義塾大学、獨協医科大学、日本文理大学、世界淡水魚園水族館
アクア・トトぎふ、ミュージアムパーク茨城県自然博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、新江ノ島
水族館、葛西臨海水族園、日本科学未来館、BioPower Systems

（以上、敬称略）

7　協力者

阿部　渉　岩田忠久　上田理恵子　鵜沢美穂子　永藤好美　麻植啓司　大原昌宏　小川龍司
河西英孝　勝山里美　北山大樹　國枝武和　久保田孝幸　小松和美　金野徳子　相樂充紀
里見立夫　島　崇　下村政嗣　鈴木　忠　鈴木明彦　須藤祐子　関口朋伸　瀬田好弘
高澤綾子　高橋啓一　高橋伸弘　武居総子　千代田厚史　出川洋介　手島健次郎　富澤勝則
冨塚朋子　友添篤志　中村浩司　西川浩之　根本　卓　長谷川春生　濱田桂一　藤平由夏
藤本和也　Frank E. Fish　堀川大樹　町田章生　松田征也　杉本伊知郎　宮本拓也
宮田昌彦　山田和範　山中久仁昭　吉井啓介　吉田昌樹　吉村昭和　渡邉　信

（以上、敬称略）

8　入館者数

8,218 人（平成 26 年 3 月 31 日までの入館者数）

9　その他

ガイドブック（40ページ800部）、エコバック（500個）を作成・販売した。

(3)　特別展示

①　自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬　～四季の彩り～」

趣　　旨：　群馬県、福島県、新潟県、栃木県の４県にまたがるこの尾瀬国立公園は、湿原植物を中心とした貴重な生態系をもち、その保護保全のための活動も古くから行われてきた。尾瀬での反道路建設運動、ゴミ持ち帰り運動、木道整備などは、日本の自然保護運動の象徴ともいえ、環境教育の拠点となっている。

本写真展は、第 17 回 NHK「わたしの尾瀬」写真展の入賞作品 50 点と当館所有の動植物標本、動画を展示した。また、1972 年に制定された群馬県尾瀬憲章や 1996 年に設立された尾瀬保護財団の経緯やその活動、群馬県や

環境省の他、NHK や東京電力(株)など他の団体の保護活動、近年のシカ等の侵入に代表される新たな危惧事象などをパネル等で紹介した。写真や動画、標本や各種団体の活動の紹介をとおして、観覧者に自然の美しさ、雄大さ、神秘さ、脆さ、尊さを伝え、自然への畏敬の念とそれを保護保全することの大切さを感じていただくことを目的とした。

展示点数：入賞作品 50 点、動画 4 編、剥製標本 17 点、植物・菌類標本 21 点、
模型 4 点　解説パネル等 24 点、計 120 点
（当館収蔵資料数 41 点）

期　　間：平成 26 年 1 月 1 日(祝)～平成 26 年 2 月 23 日(日)
開催日数 39 日（降雪により 2 月 15 日、16 日、18 日は臨時休館）

入場者数：11,725 人（1 月 8,327 人　2 月 3,398 人）

来館者調査結果（抜粋）：
・調査数　　96 名
・居住地　　群馬県 77%　埼玉県 10%　栃木県 10%　東京都　4%
長野県　1%　その他　4%
・企画展の内容は　　満足 83%　やや満足 16%　不満足 1%

後　　援：（公財）尾瀬保護財団、ＮＨＫ「わたしの尾瀬」実行委員会
NHK 前橋放送局、上毛新聞社

関連事業：尾瀬の「いま」を語るワークショップ
・平成 26 年 2 月 16 日(日)10:00～12:00　学習室
・発表　「尾瀬の保全」
環境省片品自然保護官事務所　末續 野百合
尾瀬保護財団総務課　次長兼総務課長　田村 尚之
尾瀬保護専門委員　　吉井 広始
・パネルディスカッション「尾瀬の自然のこれからを考える」
尾瀬保全推進室　室長　須藤 雅紀
尾瀬保護財団総務課　次長兼総務課長　田村 尚之
群馬県立尾瀬高等学校　教諭　柴田 栄　　生徒一同
尾瀬保護専門委員　　吉井 広始　　（以上、敬称略）
群馬県立自然史博物館　学芸係　大森 威宏　（進行役）

尾瀬の植物の保全等の取り組みを紹介するとともに、参加者全員で尾瀬の「いま」を共有し、その未来を考えていく機会とするためワークショップ」を計画したが、降雪のため中止となった。

(4)　ミニ展示

①　特別展示「太古のぐんまにトラがいた！」

５月１０日「地質の日」ならびに５月１８日「国際博物館の日」の関連事業として、前年度発行の研究報告 17 号で報告した桐生市梅田町産のトラの歯化石、ならびに共産したニホンジカ、ニホンザルの化石を展示した。

開催期間：平成 25 年 4 月 29 日～6 月 16 日

② Ｃコーナー解説員カウンター展示

展示テーマ	実施期間	展示内容
星の砂	4 月 1 日～6 月末	・ホシズナ・タイヨウノスナなどの有孔虫 ・有孔虫の摂食と生殖
ハチ	7 月 1 日～9 月末	・ハチの形態と生態 ・ハチとヒトの生活との関わり
カタツムリ	10 月 1 日～12 月末	・カタツムリの形態と分類 ・カタツムリの殻とカルシウム
ウマ	1 月上旬～3 月末	・ウマの進化と歴史 ・ウマの縁起物・群馬との関連

(5) 共催展示

① 日本絹の里　第 63 回特別展「カイコと昆虫たちの身の守りかた～色と形のふしぎ～」

カイコとその他の昆虫たちを比較する展示により、カイコについての知識を深めてもらうことを目的とした。今回は、昆虫たちの身の守りかたのなかで、隠れる擬態、目立つ擬態、目玉模様などの色と形を中心にして紹介した。また、カイコに関わる先端技術、カイコの飼育についての基本的技術についても紹介した。

共　　催：群馬県立日本絹の里
展示会場：群馬県立日本絹の里
開催期間：平成 25 年 7 月 20 日～8 月 26 日
展示点数：昆虫標本箱 60
入館者数： 3,756 人

２　教育普及

平成 25 年度は、教育普及事業および学校支援において、のべ 18,375 回の事業を開催し、63,622 名の参加者を得た。その内訳は、以下のようである。

(1)　教育普及事業

①　解説員対応

ア　展示解説（一般向け）

常設展示室並びに企画展示室の解説は、時間を決めて行う「定時解説」と来館者の質問に答えたり、解説員から声をかけて説明したりする「随時解説」を実施した。「定時解説」は、常設展示室内を、Ａコーナー(地球の時代)、Ｂコーナー(群馬の自然と環境)、2 階(ダーウィンの部屋、自然界におけるヒト、かけがえのない地球)の 3 つに区分し、それぞれの定時解説時間は 30 分で 1 日３回実施した。企画展開催中は、企画展の定時解説（30 分）を加えて行った。

月	開館日数	定時解説実施回数	常設展定時解説参加者	企画展定時解説参加者	定時解説参加者	一日平均参加者数	随時解説回数	随時解説参加者
4	26	56	99	68	167	6.4	1726	4070
5	27	48	142	47	189	7.0	2076	5112
6	19	22	84		84	4.4	1091	2684
7	26	53	165	39	204	7.8	1478	3603
8	31	80	215	160	375	12.1	3097	7084
9	25	58	278	23	301	12.0	1407	3405
10	27	42	106	30	136	5.0	1886	4677
11	26	34	42	34	76	2.9	1328	3304
12	16	18	57		57	3.6	624	1481
1	22	25	71		71	3.2	825	1960
2	17	26	87		87	5.1	471	1107
3	26	43	92	42	134	5.2	1222	2867
合計	288	505	1438	443	1881	6.5	17231	41354

イ　ビデオ上映会（一般向け）

自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料のビデオ上映会を行った。対象は、子どもや家族連れとし、上映内容も自然に関係する低学年用のものを多くした。毎週土曜日の午前 11 時と日曜日・祝日の午前 11 時、午後 2 時に上映した。また、夏期休業中は連日午前 11 時、午後 2 時に上映した。ただし、上映場所である学習室を他の行事で使用する場合は上映を行わなかった。

月	上　映　作　品	上映回数	参加者数
4	美しき海の神秘Ⅱ ディズニーアニマルワールド「カメ」	15	253
5	ディズニーアニマルワールド「カメ」 自然なぜなにＤＶＤ図鑑「オオカマキリ」	29	453
6	五味太郎ビデオライブラリ「きんぎょがにげた」	10	193
7	ちきゅうはおおきなどうぶつえん「そだててみよう」	22	315
8	ディスカバリーチャンネル「新説Ｔレックス」 ビジュアル博物館「ゾウ」	51	1420
9	マンガイソップ物語「カナリヤとコウモリ」	5	81

10	ビジュアル博物館「馬」	5	61
11	自然なぜなに？ＤＶＤ図鑑「アリ」	6	75
12	まんが日本昔ばなし「としがみさま／すりばちをなめたねこ」	7	80
1	「遙かな尾瀬」	8	29
2	ディスカバリーチャンネル「ネコ」	7	57
3	ちきゅうはおおきなどうぶつえん「どこにいるかな　わかるかな？」	12	165
合　　計		177	3182

ウ　スポット解説（一般向け）

一般向けの「スポット解説」を２階展示室から１階Ａコーナーの恐竜を見下ろす位置から行った。恐竜について 10 分程度の解説をした。

月	スポット解説実施回数	スポット解説参加者	１回平均参加者数
4	15	80	5.3
5	11	60	5.5
6	4	15	3.8
7	3	38	12.7
8	1	3	3.0
9	2	6	3.0
10	0	0	0.0
11	3	11	3.7
12	2	5	2.5
1	3	24	8.0
2	2	9	4.5
3	13	35	2.7
計	59	286	4.8

エ　紙芝居（一般向け）

当館に来館する子育て中の親子を対象に、自然に対して興味関心を持つきっかけとなることを目的として、参加無料の一般向け「紙芝居」を学習室で実施した。内容も自然に関係する幼児向けのものを多くした。土曜日の午後 2 時 15 分に実施した。

月	紙芝居実施回数	紙芝居参加者	１回平均参加者数
4	4	61	15.3
5	3	84	28.0
6	4	69	17.3
7	4	101	25.3
8	5	109	21.8
9	4	112	28.0
10	3	60	20.0
11	5	90	18.0
12	2	30	15.0
1	4	114	28.5
2	2	12	6
3	4	88	22
計	44	930	21.1

オ　スポット解説（学校向け）

学校等の団体を対象に「スポット解説」を実施した。

スポット解説は、引率者と事前の打ち合わせを行い、特定の展示資料について 15 分程度の解説を行った。

内　　容	団体数	内　　訳
恐竜 カマラサウルス	56	幼稚園・保育園1　小学校 43 特別支援学校1　　その他 11
尾瀬	4	小学校 1　　中学校3
絶滅動物	2	小学校 2
幼児のための展示解説	2	幼稚園・保育園 2

カ　ビデオ上映会（学校向け）

学校等の団体を対象に「ビデオ上映会」を実施した。ビデオ上映会は、引率者と事前の打ち合わせを行い、自然史に関係する内容について上映した。

団体数	内　　訳
23	小学校 21　その他 2

キ　解説員研修

展示解説の充実に向け、展示解説員の研修を以下の通り実施した。

・フィールド研修
　6 月 18 日　　尾瀬
・英語による接遇研修
　6 月 19 日　　富岡市立体育館
・他館視察
　6 月 19 日　　富岡製糸場
・第 43 回企画展研修
　7 月 2, 10, 11, 12, 18, 19, 23, 24, 25 日
・第 44 回企画展研修
　9 月 19, 25, 26 日　　10 月 1, 2, 3, 4 日
・サイエンスサタデー実技研修、ミュージアムナイトツアー解説研修　12 月 26, 28 日
・第 45 回企画展研修　　12 月 26 日、3 月 12, 14, 18, 19, 20 日

② ファミリー自然観察会

群馬県内の自然についての理解を深めるために、県内各地や博物館周辺を会場として自然観察会を開催し、家族で自然に親しむ機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月28日(日)	化石さがしに 挑戦しよう	吉井運動公園周辺の鏑川河川敷で化石の観察と採集を行った。	学芸係 髙桒祐司	29
7月21日(日)	いろいろな昆虫を つかまえよう －夏休み自由研究教室－	前橋市嶺公園周辺で昆虫の採集の仕方や観察方法について学んだ。	学芸係 高橋克之 当館ボランティア 青沼秀彦・林正樹	25
8月4日(日)	セミのぬけがらを 集めよう －夏休み自由研究教室－	博物館周辺でセミの抜け殻の調査を行った。	教育普及係 市川光早 小須田健志	31
8月11日(日)	きれいな石を 集めよう －夏休み自由研究教室－	下仁田町青岩公園周辺で川原の石の観察と採集を行った。	下仁田町ジオパーク推進室 登録推進係 関谷友彦	33
10月6日(日)	キノコをさがして 観察しよう	安中市小根山森林公園でキノコを観察・同定する活動を行った。	学芸係 篠原克実 群馬県林業試験場きのこ係 國友幸夫	13
11月3日(日)	お尻で見る 葉っぱ図鑑	博物館周辺で触覚の視点から葉を観察し、活用方法を学んだ。	糞土師 伊沢正名	12
延６回開催				計143

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	２３	２	０	０
県民のニーズ	・化石に関するイベントを増やしてほしい　・川でイベント			

③ 天体観望会

博物館の天体ドームに設置している 40cm 反射望遠鏡・15cm 屈折望遠鏡や移動式の天体望遠鏡、双眼鏡を使い、その時季に見られる代表的な星座・星雲、惑星について観察した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
6月2日(日)	昼間の星の 観望会	ドーム内の 15 cm屈折望遠鏡で月を観察した。外では、太陽メガネや投影盤で太陽を観察した。	学芸係 杉山直人・ 教育普及係 箱田陽子	13
11月9日(土)	月と秋の星を 観察しよう	学習室の大型スクリーンで、月や季節の星座解説を聞いたり、月の満ち欠けの観察体験を行ったりした。	学芸係 杉山直人	24
12月7日(土)	金星と冬の星たちを観察しよう	口径40センチ反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡、大型双眼鏡を使って金星と冬の星を観察した。	県立ぐんま天文台 倉林　勉	28

1月11日(土)	月と冬の星たちを観察しよう	口径 40 センチ反射望遠鏡や移動式屈折望遠鏡、大型双眼鏡を使って月と冬の星を観察した。	県立ぐんま天文台 新井　寿	26
3月1日(土)	木星と冬の星たちを観察しよう	雨天のため学習室で解説を行った。	学芸係 杉山直人	10
延５回開催				計101

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	92	9	0	0
県民のニーズ	季節毎に観望会を実施してほしい。			

④ 自然史講座

群馬の自然について考える講座を開催し、県民の自然への興味・関心や知識を高める機会を提供した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
6月30日(日)	炭酸カルシウムに刻まれた環境情報を読み解く	炭酸カルシウムから構成される石灰岩，サンゴ，鍾乳石を中心に，炭素や酸素の安定同位体比と環境変動との関係が解説された。	群馬大学 理工学部教授 相澤　省一	34
9月22日(日)	巨大津波が変えた海岸の自然環境	東日本大震災から2年半経過し、東北地方太平洋側の海岸線の動植物が，どのように変化してきたか。詳細なデータをもとに解説が行われた。	自然写真家 永幡嘉之	49
12月15日(日)	地下生菌から読み解くきのこ類の収斂進化	全く種の異なる地下生菌が，環境に適応していく中で収斂進化していく事実をDNA分析などによるデータをもとに解説が行われた。	神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員 折原貴道	35
1月19日(日)	尾瀬ヶ原の湿原と植物　～その変化をさぐる～	尾瀬ヶ原に特有の植物の種の増減について，長年のデータをもとに詳細な解説が行われた。	学芸係 大森威宏	44
延４回開催				計162

⑤ 企画展 講演会

企画展に協力いただいた研究者や展示内容に関連する専門家を招いたり、企画展担当者が講師となったりして、企画展に関連した講演会を開催した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
4月23日(日)	サンゴ　－共生の海・ささえあう生命－	海洋で最も生物多様性が高いのがサンゴ礁である。ここでの種を超えた生き物の共生について解説した。	東京工業大学 教授 本川達雄	77
7月14日(日)	あらわれた動物・いなくなった動物	関東地方を中心に現在から1000万年前くらい前の動物種の変遷について解説した。	当館名誉館長 長谷川善和	40

8月18日(日)	よみがえる化石たち骨から読み解く太古の生きもの	骨だけになった化石からどのようにして，復元作業を行ない，過去の動物を甦らせるのか解説した。	東京大学大学院講師 對比地孝亘	54
10月13日(日)	お米の新しい品種ができるまで	現在栽培されているイネの品種、品種改良の方法、品種改良の今後に関する展望について解説した。	農研機構中央農業総合研究センター北陸センター作物開発研究領域上席研究員 山口誠之	33
3月30日(日)	ネイチャー･テクノロジーがつくる未来のくらし	ネイチャー・テクノロジーを利用した，持続可能な社会づくりについて解説した。	東北大学大学院教授 石田秀輝	42
延５回開催				計246

⑥ 企画展 自然教室

企画展に展示された資料や標本、また企画展に関連した資料や標本等を題材として、企画展に関する興味と関心を高めるために、さまざまな自然教室を実施した。

月　日	テーマ	概　　要	講　師	参加者数
5月5日(日)	サンゴを使ってバンダナ染めに挑戦しよう！	双眼実態顕微鏡を使いサンゴを観察し、体の仕組みや色について学んだ後、たんぽでバンダナ染めを行った。	学芸係 杉山・高橋 教育普及係 小須田	42
7月28日(日)	30万年前の化石を取り出そう	化石のでき方についての概略を説明した後，植物化石を割り，化石を見つけ，同定する作業を行った。	学芸係 木村･杉山･菅原 教育普及係 戸所	24
8月4日(日)	ペーパークラフトでよみがえる太古のクジラ	カミツキマッコウについて学んだ後，ペーパークラフトづくりを行った。途中クイズなどを行い学びを深めたりした。	学芸係 木村･杉山･菅原 教育普及係 戸所	21
10月27日(日)	イネ科の観察と分類	イネ科植物の観察を通して、包穎の付き方や小花の作り、イネの特異な小穂の形態について理解を深めた。	桜美林大学 准教授 木場英久	8
11月4日(日)	黄八丈の材料・コブナグサで草木染め	コブナグサについて理解するとともに、絞り、染色、媒染、再度染色、水洗いの工程を体験を通して理解した。	高崎市染料植物園 主任技師 石原典子	15
延５回開催				計110

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	１６	４	０	０

県民のニーズ	・珍しい自然のものを使い身近なものを作る講座　・海に関するもの ・化石採集　　・学習をしながら形が残るもの

⑦ 自然史博物館探検隊

展示室内の宿泊や、普段公開していない収蔵庫や展示室の裏側探検など通して、子どもたちに博物館を身近なものに感じてもらうとともに、地球の成り立ちや生物の進化、群馬の自然について、興味・関心を高めてもらうため実施した。参加者へ指導（宿泊指導を含む）は、次長、教育普及係２名、学芸係１名、展示解説員３名で行った。

日　　時：7 月 27 日(土)　集合　午後 6:00
　　7 月 28 日(日)　解散　午前 8:00
参加人数：小学生 34 名　（募集対象：小学 4～6 年生）

⑧ ミュージアムスクール

小学 5 年生から中学 3 年生を対象に、様々な体験を通して自然のしくみを知り、自然を大切にする理科好きな子どもの育成をめざしてミュージアムスクールを実施した。今年度は、3 コースに分け、コース別にテーマに沿って 10 回の課題追究学習を行った。

コース名	概　　要	指導担当職員	参加者数
昆虫調査コース	博物館の周辺で昆虫を採取し，それを同定しながら標本づくりを行った。	学芸係 高橋克之	6
化石調査コース	近隣の化石がとれる場所まで行き，化石の採取・同定作業を行い，そこからわかることをまとめた。	学芸係 髙桒祐司	6
陸貝調査コース	博物館の周辺で陸貝を採取し，標本作製を行い，陸貝についてまとめた。	学芸係 杉山直人	6
合　　計			18

⑨ 学芸員による特別解説

博物館展示室の資料を使って、学芸員による最新の研究成果を解説した。13：30 から 30 分間、14：30 からの 30 分間の 1 日 2 回の解説を行った。展示室と博物館のバックヤード（収蔵庫や研究室等）でそれぞれの専門分野について特別解説した。

月　日	時間	テーマ	講師	参加者数
5月12日(日)	１３：３０～	企画展「共生の海ささえあう生命サンゴ」	学芸係　髙橋克之	13
	１４：３０～	サメの化石	学芸係　髙桒祐司	11
7月15日(月)	１３：３０～	企画展「関東の化石たち」	学芸係　木村敏之	12
	１４：３０～	世界の貝たち	学芸係　杉山直人	11
10月20日(日)	１３：３０～	イネ科植物の分類と生態	学芸係　大森威宏	12
	１４：３０～	植物と共に生きる動物たち	学芸係　姉崎智子	9
11月10日(日)	１３：３０～	菌類の世界	学芸係　篠原克実	6
	１４：３０～	鉱物の世界	学芸係　菅原久誠	10
合　　計				84

⑩ 出張展示

ア 移動博物館

遠隔地のため博物館に来館する機会の少ない人や、身体的な都合により来館しても十分に見学できない人に博物館を利用する機会を提供するため、県内各地の学校や公民館等へ資料を運んで展示する移動博物館を開催した。前年度中に県内の各学校・各公民館、県内特別支援学校に開催希望をとり、実施した。会場から要望がある場合は、体験活動を行った。体験活動は「化石のレプリカづくり」を行った。

会　　場	期　　日	利用者数	博物館資料点数
群馬県立 館林特別支援学校	6月5日(水)・6日(木)　　2日間	171	98
イオンモール太田	9月14日(土)・15日(日)　　2日間	5,657	105
利根郡昭和村立 南小学校	10月23日(水)・24日(木)　　2日間	562	99
合　　計		6,390	302

アンケート結果	満足	ほぼ満足	ふつう	やや不満	不満
参加者の満足度	１０３	３０	１４	1	0
県民のニーズ	・わかりやすく説明してもらえてよかった。 ・いろいろな剥製や化石を見ることができてよかった。 ・もっといろいろな展示をしてほしい。				

イ 他館連携出前教室

アンケートで、来館者の 3 分の 2 がリピーターであることから、当館の存在をより多くの県民に知ってもらうことが来館者増につながる。年間に数回、県内の公共施設等においてはく製や化石などを展示するとともに、当館のチラシを配布してＰＲ活動を行った。また、必要に応じて化石のレプリカづくり等の体験活動を実施し、当館への興味・関心を高めた。特に、ぐんま天文台における出前教室では、通常の展示及びＰＲ活動に加えて、当館に収蔵されている隕石標本 29 点及び隕石関連標本 11 点の特別展示並びに天文関連の話題である宇宙生物学に関する特別講演を 2 回行った。

会　　場	期　　日	担当	参加者数
観音山ファミリーパーク	5月19日(日)	教育普及係　戸所雄彦 教育普及係　小須田健志 博物館ボランティア3名	506
群馬県生涯学習センター	7月24日(水)	教育普及係　小須田健志	81
佐久子ども未来館	8月3日（土）	教育普及係　小須田健志	104
ぐんま天文台	10月17日(日)	教育普及係　小須田健志 学芸係　　菅原久誠(講演)	83
合　　計			774

⑪ サイエンス・サタデー

毎週土曜日の午後 2 時から 3 時まで、実験室や館周辺を活用した生物や地学に関連する簡単な実験・観察・ものづくり教室を行った。対象を小学生以上とし、講師や補助指導は館職員とボランティアが行った。

月	テーマ	概　　要	参加者数
4	ツバメ型グライダーをつくろう	ツバメについて学んだあと，ツバメ型グライダーを作製し，中庭で飛ばせた。	136
5	火山灰から宝石を見つけよう	火山灰をわんがけし，鉱物の結晶を双眼実態顕微鏡で観察して記録した。	217
6	紙すきうちわをつくろう	牛乳パックを利用した紙すきを行い，各自がオリジナルの絵を描いたうちわを作製した。	122
7	三葉虫化石のカラーレプリカをつくろう	三葉虫について学んだあと，石膏で三葉虫化石のカラーレプリカを作製した。	209
8	アンモナイト化石のカラーレプリカをつくろう	アンモナイトについて学んだあと，石膏でアンモナイト化石のカラーレプリカを作製した。	315
9	ビカリア化石のカラーレプリカをつくろう	ビカリアについて学んだあと，石膏でビカリア化石のカラーレプリカを作製した。	139
10	竹で筆をつくろう	イネ科の竹について学んだあと，竹の先端をつぶして筆を作製した。	119
11	わらで正月飾りをつくろう	しめ縄・しめ飾りについて学んだあと，2人組でしめ縄をない，飾り付けを行った。	139
12	松ぼっくりで動物をつくろう	松ぼっくりの不思議とその1年を学び、松ぼっくりやドングリを用いて動物をつくった。	64
1	からくりカレンダーをつくろう	立体視について学んだあと，３D写真を用いたからくりカレンダーをつくった。	113
2	くるくる絵本でつくる尾瀬図鑑	尾瀬の植物について学んだあと，くるくる絵本を使った尾瀬図鑑をつくった。	28
3	チリメンモンスター	チリメンモンスターについて学んだあと，チリモンを	146

	をゲットしよう	分類・同定しオリジナルカードをつくった。	
合　　計			1747

⑫ ミュージアム・ナイト・ツアー

夜の博物館を映画のキャスト等に扮した館職員が案内した。恐竜絶滅の原因を薄暗い展示室内の壁を利用して映像で見せたり、夜行性の動物の生態について紹介したり、薄暗い展示室の特徴を生かして解説を行った。開催日は 3 日間設けていたが、例年にない大雪で 2 日目は中止、3 日目は残雪が多くキャンセルが多くあった。申込は、135 名定員のところ、291 名の応募があった。

開催日：１月 25 日（土）(43 名参加)・２月８日（土）→中止
２月 22 日（土）(31 名参加)　　参加者合計：74 名

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	43	1	0	0
県民のニーズ	・２階も案内してほしい。 ・もっと長い時間案内してほしい。			

⑬ バックヤード・ツアー

普段は公開していない博物館のバックヤード（収蔵庫や研究施設）を館職員が案内した。収蔵庫に保管してある化石や剥製などの様々な標本、資料整理の仕方や職員が取り組んでいる調査・研究などについて紹介した。また、毎月第一日曜日にバックヤードツアー30 を行った。

1 月 19 日（日）10：30～11：30・13：30～14：30
参加者　30 名
2 月 16 日（日）10：30～11：30・13：30～14：30
（雪のため中止）

バックヤードツアー30 参加者

月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数	月	参加者数
4	15	7	9	10	10	1	9
5	15	8	12	11	16	2	11
6	12	9	12	12	9	3	12
合計							142

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	２９	1	0	0
県民のニーズ	・学芸員の話をもっと聞きたい　・もっとゆっくり見学したい ・学芸員一日体験をしたい。　・今後も参加したい。			

⑭ 高校生学芸員

高校生の自然科学への関心を高めるため、自分で設定し

た研究テーマについて、学芸係職員の指導をもとに調査・研究を行う事業を実施した。今年度は１３名の高校生が、７分野１２のテーマに取り組み、研究発表会を行った。

	分　野	主な活動内容	参　加　者	担当
1	植物	アズマネザサの好む環境	県立中央中等教育学校　１名	大森
2	哺乳類	赤外線カメラがとらえた動物	県立富岡東高等学校 １名	木村 姉崎
		季節と地域ごとのコウモリ調査	県立富岡東高等学校１名	木村 姉崎
		アカネズミの研究	県立高崎女子高等学校１名	木村 姉崎
3	昆虫	地上徘徊生昆虫　～博物館周辺と武尊山の昆虫の比較～	県立尾瀬高等学校１名	高橋
4	貝類	富岡・甘楽地域の陸貝分布調査	県立富岡東高等学校２名	杉山
5	化石	原市層上部から見つかる貝類化石の研究	県立安中総合学園高等学校　１名	髙桒
		安中層群原市層産の *Isurus planus* 化石（ネズミザメ類）の歯列復元	県立桐生高等学校　１名	髙桒
		鯨類の化石化の過程について	県立高崎女子高等学校　１名	髙桒
6	地質	群馬県榛名町における地名と災害の関係	高崎健康福祉大学 高崎高等学校　１名	菅原
7	菌類	キノコの採集と毒キノコの調査	高崎健康福祉大学 高崎高等学校　１名	篠原
		富岡市一ノ宮貫前神社周辺の林におけるキノコの生態調査	県立富岡高等学校　１名	篠原

⑮ チャレンジ講座

団塊の世代向けの講座として、参加者の知的好奇心を満たし、それぞれの分野に対する興味関心が高まるきっかけとなるよう以下の３コースで実施した。

コース	内　　容	人数	担当
ぐんまの化石コース	化石や地層に関する基礎・基本について学んだ後、化石の採集や同定を行う。	6	髙桒
渓畔林の植物コース	渓畔林の植物の種類と生態について学んだ後、渓畔林へ出かけて観察を行う。	5	大森
カエルコース	カエルの種類や生態について学び、渓流でカエルを採取し、観察する。	3	高橋

アンケート結果 参加者の満足度	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
	１４	0	0	0
県民のニーズ	・もう少し回数を増やして、講座を実施してほしい。 ・年間を通して行ってほしい。			

⑯その他の教育普及事業

〇富岡市観光課との共催事業「は～て」

地域と連携をとった富岡市体験交流プログラム「はーて」により、夏休み化石のレプリカづくりとバックヤードツアーを行った。

7 月 27 日（土）10：30～12：00　　参加者　23 名

(2) 教育支援

① 学校・教科主任会などへの講師派遣や館内での講師対応

ア　大学・高等学校教育への支援　　計　実施数 18 回　429 名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
群馬県立太田女子高等学校（SPP 事業）	高1,2	6 月 9 日	ぐんまこどもの国	21	野生動物のフィールドサイン調査、カメラトラップ設置	姉崎 箱田
		7 月 25 日	太田女子高校	30	カモシカ、シカの骨の測定実習	姉崎 箱田
		7 月 26 日	太田女子高校	28	カモシカ、シカの骨の測定実習、データ整理	姉崎 箱田
		7 月 30 日	自然史博物館	28	カモシカ、シカの剥製・骨格標本観察、バックヤード見学	姉崎 箱田
		8 月 20 日	ぐんまこどもの国	32	野生動物のフィールドサイン調査、カメラトラップ回収	姉崎 箱田
		8 月 21 日	太田女子高校	32	カメラトラップのデータ分析	姉崎 箱田
埼玉県立松山高校（SSH）	高1,2	8 月 4 日	自然史博物館	7	展示室、収蔵庫見学、及び解説	髙桒
青山学院大学	大学	8 月 9 日	自然史博物館	28	見学及び博物館や学芸員の職務に関する講義	金井 大森 姉崎
東京電機大学	大 1	8 月 20 日	妙義青少年自然の家	30	望遠鏡の操作方法講習 夏の星空について講話	杉山
群馬県立太田女子高等学校	高1,2	10 月 5 日	自然史博物館	4	博物館展示見学、微化石及び黄鉄鉱の電子顕微鏡撮影	菅原
	高1,2,3	12 月 22 日	自然史博物館	9	博物館展示見学、微化石及び黄鉄鉱の電子顕微鏡撮影	菅原
	高1,2,3	2 月 1 日	自然史博物館	9	博物館展示見学、微化石及び黄鉄鉱の電子顕微鏡撮影	菅原
神奈川県立弥栄高校	高 1	10 月 9 日	自然史博物館	81	博物館の役割と学芸員の仕事、普及事業体験	金井 木村 箱田

群馬県立 前橋東 高等学校	高 1	10 月 11 日	自然史 博物館	22	博物館の役割と学芸員の仕事、普及事業体験	金井 箱田
群馬医療 福祉大学	大学	10 月 12 日	自然史 博物館	9	博物館の効果的な利用法について	箱田
早稲田大学 本庄高等学院	留学生 ・教員	11 月 7 日	自然史 博物館	16	シンガポール留学生を招いての教育活動	髙桒
埼玉県立 春日部高校 (SSH)	高	11 月 14 日	自然史 博物館	22	講義「自然史資料の収集とその意義」、博物館施設見学	髙桒
群馬県立 尾瀬高等学校	高 1	11 月 14 日	自然史 博物館	21	自然史博物館の展示概要、博物館ボランティアによる展示解説	金井 箱田

イ　小中学校教育への支援

ⅰ　総合的な学習の時間への対応（一般見学は除く）　　計 4 校　237 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容（対応方法）	対応職員等
高崎市立入野中学校	中 1	5 月 9 日	42	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立西中学校	中 1	5 月 22 日	120	尾瀬学校事前学習	解説員
甘楽町立第二中学校	中 1	5 月 23 日	41	尾瀬学校事前学習	解説員
富岡市立北中学校	中 1	6 月 4 日	34	尾瀬学校事前学習	解説員

ⅱ　小学校・中学校及び理科主任会等への職員派遣・支援　　計 10 回　330 名

職員派遣先等	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
吾妻教育事務所教頭会	教頭	4 月 18 日	中之条ツインプラザ	35	自然史博物館の効果的な利用方法	市川
富岡市小中学校校長会	校長	5 月 1 日	富岡市教育委員会	29	同上	市川
群馬県中学校理科部会	教員	5 月 22 日	群馬大学附属中学校	61	同上	篠原
群馬県小学校理科部会	教員	5 月 31 日	県生涯学習センター	50	同上	箱田
利根・沼田小中理科主任会	教員	6 月 11 日	利根沼田県民局	43	同上	箱田
高崎市初任者研修会	教員	8 月 6 日	県立妙義少年自然の家	60	自然史博物館を利用した体験的な学習	市川
安中市小・中理科主任会	教員	8 月 6 日	自然史博物館	17	講義と体験(安中・富岡地区の地質について)	菅原 箱田
教職員実技研修会(館主催)	教員	8 月 7 日	自然史博物館	4	地層の学習における指導法の工夫	市川 戸所
群馬県　西部	教員	10 月 29 日	県立妙義少	23	自然史博物館を	市川

教育事務所 初任者研修会			年自然の家		利用した体験的な学習	
教職員実技研修会(館主催)	教員	2月6日	富岡市高瀬 和合橋下	8	地層の学習における 観察方法の工夫	菅原

【出前授業】　　計　計画回数40回・実施回数38回　　2476名

支援先	対象	実施日	会場	人数	内　　容	対応職員
高崎市立 城南小学校	小5	5月30日	岩平地区里山・牛伏ドリームセンター	61	ネイチャーゲーム・陸貝について・天文関係講話	杉山 箱田
甘楽町立 小幡小学校	小3	5月31日	甘楽町立 小幡小学校	21	昆虫の体のつくり	戸所
高崎市立 宮沢小学校	小5・ 保護者	6月21日	高崎市立 宮沢小学校	20	液体窒素実験 化石のレプリカ作り	小須田 箱田
富岡地区 子育連	小3 ～6	8月4日	藤田峠 キャンプ場	80	夏の星空に関する講話・ISS観察会	杉山
江戸川区立 鹿本小学校	小6	9月11日	県立妙義少年自然の家	―	初秋の星座に関する講話・天体観望会 (荒天のため中止)	杉山
渋川市立 金島中学校	中2	9月18日	渋川市立 金島中学校	74	脊椎動物の進化	髙桒
南房総市立 和田小学校	小6	9月19日	妙義青少年自然の家	13	初秋の星座について講話・天体観望会	杉山
甘楽町立 福島小学校	小6	10月2日	甘楽町立 福島小学校	―	太陽・月の観察支援 (荒天のため中止)	箱田 杉山
子持村立 子持中学校	中2	10月4日	子持村立 子持中学校	104	ハクビシンの解剖	姉崎 箱田
高崎市立 吉井西小学校	小6	10月8日	高崎市内、 鏑川河岸	34	露頭の観察	髙桒
伊勢崎市立 宮郷小学校	小6	10月11日	伊勢崎市立 宮郷小学校	156	地層のでき方、群馬の化石に関する講義	髙桒
富岡市立 高瀬小学校	全校 児童	10月15日	富岡市立 高瀬小学校	567	生き方集会講話（学芸員の仕事、鏑川付近の化石）	木村
伊勢崎市立 宮郷小学校	クラブ	10月16日	伊勢崎市立 宮郷小学校	48	化石のレプリカ作り	市川
安中市立 九十九小学校	小6	10月17日	安中市内、 碓氷川河岸	11	露頭の観察	髙桒
富岡市立 黒岩小学校	全校 児童	10月21日	富岡市立 黒岩小学校	87	ふるさと朝礼講話 「オオツノジカのはなし」	髙桒
富岡市立 西小学校	小6	10月24日	富岡市内、 鏑川河岸	58	露頭の観察	髙桒
太田市立 尾島中学校	中2	10月24日	太田市立 尾島中学校	111	骨格標本を用いた動物の体のつくり	姉崎 箱田

富岡市立 高田小学校	小４ ～6	10 月 29 日	県立妙義青少 年自然の家	44	初秋の星座について 講話・天体観望会	杉山
甘楽町立 福島小学校	小６	11 月 1 日	甘楽町内、 鏑川河岸	46	露頭の観察	木村 箱田
高崎市立 豊岡小学校	小６	11 月 1 日	高崎市立 豊岡小学校	99	化石のレプリカ作り	小須田 戸所
安中市立 後閑小学校	小１・ 保護者	11 月 16 日	安中市立 後閑小学校	32	液体窒素実験 化石のレプリカ作り	戸所
富岡市立 小野小学校	クラブ	11 月 26 日	富岡市立 小野小学校	18	液体窒素実験	戸所
安中市立 九十九小学校	小４	12 月 6 日	自然史博物館	26	化石のレプリカ作り 液体窒素実験	箱田
富岡市立 小野小学校・ 北中学校	小１ ～ 中３	12 月 6 日	富岡市立 小野小学校	100	夏から秋の星空講話 天体観望会補助	杉山
藤岡市立 美土里小学校	クラブ	12 月 11 日	藤岡市立 美土里小学校	12	液体窒素実験	小須田
安中市立 松井田小学校	クラブ	12 月 17 日	安中市立 松井田小学校	14	化石のレプリカ作り	市川
太田市立 旭小学校	クラブ	1 月 16 日	太田市立 旭小学校	40	化石のレプリカ作り	小須田
安中市立 秋間小学校	小３・ 保護者	1 月 22 日	安中市立 秋間小学校	46	液体窒素実験	市川 箱田
高崎市立 南八幡小学校	クラブ	1 月 23 日	高崎市立 南八幡小学校	32	化石のレプリカ作り	箱田
南蛇井保育園	園児	1 月 29 日	南蛇井保育園	9	飛ぶタネの模型作り	小須田
藤岡市立 中央保育園	園児	1 月 30 日	藤岡市立中央 保育園	33	飛ぶタネの模型作り	小須田 箱田
甘楽町立 福島小学校	クラブ	2 月 5 日	甘楽町立 福島小学校	16	液体窒素実験	箱田
富岡市立 黒岩小学校	小４ 小５	2 月 5 日	自然史博物館	28	天体観望会	杉山 箱田
東吾妻町立 岩島小学校	小４	2 月 7 日	東吾妻町立 岩島小学校	14	液体窒素実験	戸所
白ばら保育園	園児・ 保護者	2 月 8 日	白ばら保育園	130	飛ぶタネの模型作り	戸所 小須田
伊勢崎市立 境島小学校	児童・ 保護者	2 月 20 日	伊勢崎市立 境島小学校	14	液体窒素実験	戸所
吉岡町立 駒寄小学校	小６	2 月 21 日	吉岡町立 駒寄小学校	120	化石探し 化石のレプリカ作り	小須田 箱田
下仁田町立 下仁田小学校	クラブ	2 月 26 日	下仁田町立 下仁田小学校	19	化石探し	小須田

高崎市立 西部小学校	クラブ	2 月 27 日	高崎市立 西部小学校	27	液体窒素実験 化石のレプリカ作り	戸所 箱田
太田市立 尾島中学校	中 1	3 月 19 日	太田市立 尾島中学校	112	地層、化石のでき方	木村

② 館内授業　　計　参加校 37 校、授業数 60 件、参加人数 2,213 名

学校名	学年	実施日	人数	内容	授業数
千代田区立神田一橋中学校	中 1	4 月 24 日	90	レプリカ	2
太田市立太田東小学校	小 4	4 月 26 日	33	飛ぶタネ	1
板橋区立上板橋第四小学校	小 5	5 月 9 日	60	植物化石	2
太田市立韮川西小学校	小 3	5 月 10 日	70	レプリカ	2
板橋区立大山小学校	小 5	5 月 15 日	2	レプリカ	1
太田市立南小学校	小 4	5 月 15 日	57	レプリカ	2
板橋区立志村第三小学校	小 5	5 月 17 日	22	レプリカ	1
板橋区立加賀小学校	小 5	5 月 22 日	54	レプリカ	2
板橋区立赤塚新町小学校	小 5	5 月 23 日	36	レプリカ	1
板橋区立志村小学校	小 5	5 月 24 日	59	レプリカ	2
板橋区立天津わかしお学校	5	5 月 29 日	12	レプリカ	1
太田市立沢野中央小学校	小 4	5 月 30 日	74	レプリカ	2
板橋区立高島第三小学校	小 5	6 月 12 日	63	レプリカ	2
板橋区立志村第二小学校	小 5	6 月 14 日	95	レプリカ	2
東久留米市立下里小学校	小 6	6 月 14 日	22	レプリカ	1
東久留米市立本村小学校	小 6	6 月 26 日	66	レプリカ	2
板橋区立中台小学校	小 5	6 月 28 日	46	レプリカ	1
東久留米市立第五小学校	小 6	7 月 3 日	91	植物化石	2
板橋区立大谷口小学校	小 5	7 月 10 日	61	レプリカ	1
文京区立文林中学校	中 1	7 月 10 日	28	植物化石	1
板橋区立新河岸小学校	小 5	7 月 12 日	56	レプリカ	2
板橋区立高島第五小学校	小 5	9 月 6 日	35	レプリカ	1
板橋区立志村第一小学校	小 5	9 月 6 日	85	レプリカ	2
文京区立音羽中学校	中 1	9 月 11 日	82	植物化石	2
板橋区立板橋第六小学校	小 5	9 月 11 日	54	レプリカ	1
西東京市立保谷第一小学校	小 6	9 月 20 日	73	レプリカ	2
板橋区立赤塚小学校	小 5	9 月 27 日	101	レプリカ	2
みなかみ町立古馬牧小学校	小 3	10 月 3 日	43	レプリカ	1
群馬県立赤城養護学校 桐生分校	中 1.3	10 月 4 日	2	レプリカ	1
板橋区立板橋第九小学校	小 5	10 月 9 日	11	レプリカ	1
大泉町立南小学校	小 4	10 月 17 日	133	レプリカ	3
安中市立秋間小学校	小 6	11 月 13 日	22	植物化石	1
桐生市立新里中央小学校	小 4	11 月 21 日	67	レプリカ	2
渋川市立古巻小学校	小 4	11 月 27 日	113	レプリカ	3
太田市立太田中学校	中 1	2 月 13 日	105	レプリカ	2

長野県農業大学校	1	2 月 13 日	49	植物化石	1
群馬国際アカデミー中等部	7	3 月 5 日	81	レプリカ	2

※この他、一般向け館内授業として日立労組研究所支部 60 名にレプリカづくりを行った。（6 月 8 日）

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	12	0	0	0
参加者のニーズ	・授業を受けてからもう一度観覧するとちがった眼で観察できる。 ・指示がわかりやすく、楽しみながら学習できた。			

※授業内容は以下の通り

レプリカ:「化石のレプリカを作ろう」　　植物化石：「植物化石を探そう」

飛ぶタネ：「飛ぶタネの模型を作ろう」

③ 職場体験活動（中学校・高等学校）　　計 10 校・27 日・延べ 80 名

学　校　名	学年	実施日	人数	内　　容	対応職員
高崎市立 吉井西中学校	中 2	5 月 21 日～ 24 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	篠原・杉山・菅原 小須田・箱田
群馬県立 吉井高等学校	高 2	7 月 9 日～ 11 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	篠原・小須田 箱田
富岡市立 妙義中学校	中 2	8 月 29 日・ 30 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	杉山・菅原 箱田
群馬県立中央 中等教育学校	中 3	9 月 10 日～ 12 日	1	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・市川 箱田
安中市立 第一中学校	中 2	9 月 10 日～ 12 日	3	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・大森 市川・箱田
安中市立 第二中学校	中 2	9 月 25 日～ 27 日	4	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	金井･大森･市川 小須田・箱田
富岡市立 南中学校	中 2	10 月 2 日・ 3 日	2	教育普及業務	市川・戸所 箱田
甘楽町立 第一中学校	中 2	10 月 2 日・ 3 日	3	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	戸所・篠原 箱田
群馬県立 吉井高等学校	高 1	10 月 8 日～ 10 日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	高橋・篠原 小須田・箱田
富岡市立 富岡中学校	中 2	10 月 16 日･ 17 日	2	教育普及業務 学芸業務に関わる資料整理	市川・戸所 篠原・小須田

④ 教育用資料貸出　　延べ ９４団体

貸出先	貸出資料	使用目的	貸出	返却
富岡市立富岡小学校	・動物頭骨標本 ウマ, トラ, チンパンジー, ホモサピエンス	歯科保健指導	25, 6, 19	25, 6, 26
富岡市立富岡小学校	・動物の歯のレプリカ	歯科保健指導	25, 6, 19	25, 6, 26
藤岡市立藤岡北中学校	・液体窒素 ・運搬容器　・実験セット	理科授業	25, 4, 30	25, 5, 3

富岡市立小野小学校	・動物頭骨標本 トラ	歯科保健指導	25,5,2	25,5,8
群馬県立富岡高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	文化祭	25,5,31	25,6,4
高崎市立高崎経済大学 附属高等学校	・液体窒素	理科授業	25,5,30	
藤岡市立神流小学校	・動物頭骨標本 ウマ,ライオン, ホモサピエンス	理科授業	25,6,9	25,6,16
中之条町立中央公民館	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	少年教室	25,8,17	25,8,18
高崎市立東小学校	・昆虫標本セット チョウ，バッタ，トンボ， ハチ，カブトムシ，クモ	理科授業	25,6,8	25,6,14
富岡市立西小学校	・動物頭骨標本 ライオン，キツネ，シマウマ，クマ，チンパンジー， ホモサピエンス	理科授業	25,6,27	25,7,9
群馬県立太田高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	文化祭発表	25,7,5	25,7,9
玉村町立中央小学校	・昆虫標本セット チョウ，バッタ，トンボ， ハチ，カブトムシ，クモ	理科授業	25,6,2	25,6,7
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素	理科授業	25,6,4	
群馬県立富岡高等学校	・液体窒素	文化祭	25,6,1	
群馬県立前橋高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	文化祭	25,6,7	25,6,11
群馬県立桐生女子高等学校	・液体窒素	文化祭	25,6,7	
高崎市立吉井西小学校	・昆虫標本セット チョウ，バッタ，トンボ， ハチ，カブトムシ，クモ	理科授業	25,6,26	25,6,28
高崎市立高崎経済大学 附属高等学校	・液体窒素	理科授業	25,6,12	
安中市立後閑小学校	・昆虫標本セット チョウ，バッタ，トンボ， ハチ，カブトムシ，クモ	理科授業	25,6,29	25,7,4
甘楽町立福島小学校	昆虫標本セット チョウ，バッタ，トンボ， ハチ，カブトムシ，クモ	理科授業	25,6,14	25,6,25

高崎市立高崎経済大学 附属高等学校	・液体窒素	理科授業	25,7,11	
高崎市立高崎経済大学 附属高等学校	・液体窒素	理科授業	25,7,13	
沼田市立升形小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	科学教室	25,7,23	25,7,24
群馬県立 高崎女子高等学校	化石標本 ビカリア，アンモナイト，三葉虫，カルカロドン・メガロドン，スピノサウルスの歯	理科授業	25,5,27	25,6,16
群馬大学工学部	・レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	25,8,10	25,8,17
群馬大学工学部	・クリノメータ	理科授業	25,8,10	25,8,17
群馬県立伊勢崎高等学校	・液体窒素	文化祭	25,6,26	
群馬県立伊勢崎高等学校	・液体窒素	文化祭	25,7,4	
高崎市立東小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、ビカリア	理科授業	25,7,7	25,7,12
前橋市立富士見中学校	・動物頭骨標本 ウマ，シベリアトラ，グリズリー，パンダ，オランウータン，ワニ，イルカ，ホモサピエンス	理科授業	25,7,10	25,7,24
前橋市立富士見中学校	・動物の歯のレプリカ	理科授業	25,7,10	25,7,24
前橋市立富士見中学校	・いろいろな化石	理科授業	25,7,10	25,7,24
群馬県立沼田高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	25,7,17	25,7,19
群馬県立吉井高等学校	・液体窒素	理科授業	25,7,11	
高崎市立経済附属高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	25,10,2	25,10,4
高崎市立東小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫	ＰＴＡ行事	25,10,28	25,11,1
高崎市立東小学校	・ビデオ 化石のレプリカをつくろう	ＰＴＡ行事	25,10,28	25,11,1
高崎市立京ヶ島小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	25,10,9	25,10,12
高崎市立佐野小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫	理科授業	25,11,23	25,11,30
前橋市立桂萱中学校	・液体窒素	理科授業	25,9,29	25,10,8
伊勢崎市立殖蓮第二小学校	・貸出用化石№1～№15	理科授業	25,9,25	25,10,9

伊勢崎市立殖蓮第二小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	25,9,25	25,10,9
高崎市立西小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト	理科授業	25,10,14	25,10,17
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素	理科授業	25,9,10	
安中市立松井田小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	科学クラブ	25,10,8	25,10,9
高崎市立豊岡小学校	・いろいろな化石	理科授業	25,10,11	25,10,18
高崎市立豊岡小学校	・液体窒素 ・運搬容器	理科授業	25,10,17	25,10,18
伊勢崎市立境東小学校	・いろいろな化石	理科授業	25,9,11	25.9.20
明和県央高等学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫	理科授業	25,10,20	25,10,26
前橋市立第七中学校	・動物頭骨標本 トラ，ネコ，ウシ， ウサギ，ゴリラ，パンダ	理科授業	25,9,21	25,9,28
高崎市立大類小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト 火山灰(榛名)	理科授業	25,10,4	25,10,11
太田市保育協議会	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	科学教室	25,10,25	25,10,27
前橋市立荒子小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	25,10,28	25,11,3
高崎市立東部小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、実物化石 説明用パウチ	理科授業	25,10,26	25,11,8
高崎市立東部小学校	・新いろいろな化石	理科授業	25,10,26	25,11,8
高崎市立箕郷中学校	・動物頭骨標本 ライオン，ネコ，ウマ， ウシ，ホモサピエンス	理科授業	25,10,14	25,10,19
富岡市立富岡中学校	・動物頭骨標本 ウマ，ライオン， パンダ，ゴリラ	理科授業	25,10,2	25,10,4
安中市立原市小学校	・ハンマー ・タガネ	理科授業	25,10,8	25.10.11
甘楽町立福島小学校	・レプリカ作成セット 石膏・水、アンモナイト 型、三葉虫型、実物化石	理科授業	25,11,12	25,11,15
富岡市立西中学校	・イカの解剖模型	理科授業	25,10,25	25,11,7
安中市立第二中学校	・進化の証拠	理科授業	25,11,3	25,11,10

富岡市立丹生小学校	・動物頭骨標本 シマウマ，パンダ，トラ	理科授業	25,11,6	25,11,15
富岡市立丹生小学校	・動物の歯のレプリカ	理科授業	25,11,6	25,11,15
群馬県立尾瀬高等学校	・液体窒素	理科授業	25,11,9	
桐生市立黒保根小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫	理科授業	25,11,9	25,11,16
安中市立松井田小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	科学クラブ	25,12,3	25,12,4
高崎市立豊岡小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科クラブ	25,11,20	25,11,21
太田市立駒形小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト 小	理科授業	25,12,3	25,12,10
富岡市立富岡北中学校	・屈折式望遠鏡 ・反射式望遠鏡	野外活動	25,12,5	25,12,10
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素	理科授業	25,11,27	
下仁田町立下仁田小学校	・動物頭骨標本 ライオン，シマウマ， アライグマ	理科授業	25,12,1	25,12,10
前橋市立荒子小学校	・いろいろな化石	理科授業	25,12,7	25.12.15
前橋市立荒子小学校	・レプリカ作成セット 大アンモナイト、小アンモナイト、三葉虫 ・実物化石	理科授業	25,12,7	25.12.15
前橋市立荒子小学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	25,12,15	25.12.23
太田市立旭小学校	・レプリカ作成セット 小アンモナイト ・実物化石 ・プレゼンパネル	理科クラブ	26,1,10	26,1,24
高崎市立城南小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト 小	理科クラブ	26,1,31	26,2,7
群馬県立松井田高等学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	25,12,15	25.12.15
群馬県立高崎高等学校	・液体窒素	理科授業	25,12,18	
明和県央高等学校	・動物頭骨標本 ライオン，ウマ，ブタ， トラ，ウシ，ゴリラ	理科授業	26,1,19	26,1,26
明和県央高等学校	・動物の歯のレプリカ	理科授業	26,1,19	26,1,26

藤岡市立北中学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	26,1,29	26,2,1
高崎市立中尾中学校	・レプリカ作成セット 大アンモナイト、スパ・R ボール、 ・実物化石　　大アンモ、 ビカリア、三葉虫	理科授業	26,1,25	26,2,8
高崎市立中尾中学校	・いろいろな化石	理科授業	26,1,25	26,2,8
富岡市立一ノ宮小学校	・レプリカ作成セット 大アンモナイト、三葉虫 スパ・R ボール ・実物化石 大アンモ、三葉虫	研修会	26,2,11	26,2,15
富岡市立妙義中学校	・屈折式望遠鏡 ・反射式望遠鏡	観察会	26,1,28	26,1,29
大泉町立西中学校	・いろいろな化石	理科授業	26,2,13	26,2,16
大泉町立西中学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	26,2,13	26,2,16
高崎市倉賀野中学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	26,3,4	26,3,5
高崎市立中尾中学校	・液体窒素 ・運搬容器	理科授業	26,3,2	26,3,13
高崎市立中尾中学校	・液体窒素 ・運搬容器 ・実験セット	理科授業	26,3,13	26,3,18
藤岡市立小野小学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫 スパ・R ボール ・実物化石 アンモ，ビカリア	理科授業	26,3,16	26,3,21
安中市立第二中学校	・レプリカ作成セット アンモナイト、三葉虫 スパ・R ボール ・実物化石　アンモナイト	理科授業	26,3,22	26,3,25
群馬県立伊勢崎工業高等学校	・液体窒素 ・運搬容器	理科授業	26,3,18	26,3,21
群馬県立勢多農林高等学校	・液体窒素	理科授業	26,3,28	

アンケート結果	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
参加者の満足度	11	0	0	0

⑤ 博物館実習

学芸員資格取得のため、当館での実習を希望した学生を対象に博物館実習を行った。

・募集期間：平成 25 年 4 月 1 日（月）～4 月 30 日（火）

・受入期間：平成 25 年 8 月 1 日（木）～8 月 11 日（日）〔実日数 10 日間〕

・受入人数： 10 名（大学別の内訳は下表）

学校名	人数	学校名	人数	学校名	人数
都留文科大学	1 名	帝京科学大学	3 名	大東文化大学	1 名
高崎経済大学	2 名	立正大学	1 名	清泉女子大学	1 名
北海道大学	1 名				

・主な内容

（講義）「学芸員を目指す人たちへ」、「博物館の組織」、「学芸業務」、「教育普及業務」、「資料の保管・維持管理」、「企画展のできるまで」等

（実習）資料整理業務実習（哺乳類、魚類、昆虫、貝類、植物、岩石、古生物）

教育普及活動実習（科学教室「サイエンス・サタデー」の準備と実施）

企画展計画立案・展示製作・解説実習

１班：「外来種の生き残り戦略　～サバイバル in ジャパン～」

２班：「なんでカ！？　蚊の不思議なからだ！！」

３班：「胃でパックンチョ！」

⑥ 博物館実習（インターンシップ）

大学から依頼があった学生について、博物館実習を行った。

・日本大学生物資源科学部動物資源学科 1 名　平成 25 年 8 月 18 日～31 日

・岐阜大学応用生物科学部獣医学科 1 名　平成 25 年 8 月 25 日～31 日

・京都大学農学部森林科学科 1 名　平成 25 年 11 月 15 日～21 日

・京都大学理学研究科生物科学専攻 1 名　平成 26 年 3 月 11 日～20 日

・主な内容

（講義）博物館の組織、学芸業務、教育普及業務、資料の保管・維持管理、他

（実習）資料整理業務実習（哺乳類、魚類、昆虫、貝類、植物、岩石、古生物）、教育普及活動実習（サイエンス・サタデー、企画展関連事業、館内授業）、企画展準備　他

(3)　外部からの問い合わせ対応

当館では社会的ニーズを把握するため、平成 24 年度より外部からの問い合わせ対応について集計を始めた。平成 25 年度の総問い合わせ件数は 242 件で、企業や自然保護団体などの民間機関からの問い合わせが 84 件で最も多く、以下一般(学生を除く:56 件)、マスコミ(27 件)、研究者(25 件)が主な問い合わせ元であった(①表)。その内容は一般的な問い合わせが 149 件であったが、年間 44 件の同定依頼や 51 件の教示を求める質問もあった(②表)。問い合わせ方法は電話(107 件)、電子メール(97 件)、来館(46 件)の順に多かった(③表)。マスコミからの対応を除く一般および学生、研究者、専門機関からの問い合わせの発信元は県内 152 件に対して県外 56 件であった((4)表)。

① 問い合わせ元の職・所属

民間機関	84
一般	56
マスコミ	27
研究者	25
小中高生	6
博物館施設	18
公共団体	18
その他	5
大学生・院生	4
合計	242

② 内容の種別

自然史全般	149
同定	44
教示	51
取材	7
その他	10

③　問い合わせ方法

電話	107
メール	97
来館	46
郵送	6
その他	4

④　マスコミ以外の問い合わせ 元の居住地・所在地

群馬県内	152
県外	56
海外	0
不明	35

⑤　④表のうちの県内居住地・所在地の内訳

前橋	45
沼田	25
高崎	17
富岡	13
安中	11
下仁田	6
館林	5
桐生	4
その他	14

(4)　学会等の開催

①　ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 の実施

生物多様性の現状を把握し、保全をすすめていくためには、地域をみつめ、地域に根ざして活動されている方々の連携だけでなく、幅広い専門家との連携や、行政など、さまざまな主体の連携が欠かせない。幅広い方々の情報交換、意見交換の場として、本報告会を計画したが、降雪のため中止となり、ポスター掲示発表を実施した。

・特別講演（降雪のため中止）
　ミュージアムパーク茨城県自然博物館

・口頭発表（6 団体、降雪のため中止）
　特別講演：
　群馬県立尾瀬高等学校
　群馬県立利根実業高等学校
　特例財団法人渡良瀬遊水地
　アクリメーション振興財団
　ヤリタナゴ調査会
　群馬県水産試験場川場養魚センター

・ポスター発表　（報告会の要旨集は、当館 HP に掲載）
　掲示期間：平成 26 年 3 月 15 日（土）～平成 26 年 4 月 19　日（土）
　掲示会場：自然史博物館　学習室・実験室前
　発表数：　32 件

・共催：群馬県自然環境課

３　資料収集・管理

(1) 資料管理

①温湿度管理

管理場所	管理状況（設定）
第１収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
第２収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
第３収蔵庫	夏季：20℃、50%　冬季：18℃、55%　春秋：18～20℃、55～50%
常設・企画展示室	常設 1F：24～26℃　常設 2F：20～21℃　企画：23～24℃ 55～50%　55～50%　55～50%

②資料の安全な保護対策

ア　文化財害虫等への忌避対策

忌避対策として以下の２つを実施した。

○展示室およびバックヤードでの粘着式トラップの設置による害虫の捕獲

○第二収蔵庫出入り口に積層タイプの除塵粘着シートのマットを設置し、害虫等の侵入を防いだ。

イ 文化財害虫等の燻蒸作業

番号	作業場所	実施内容	実施日	受託者	使用薬剤
1	第二収蔵庫（生物系）燻蒸	防虫防黴	平成 25 年 6 月 17 日～23 日	関東港業株式会社	アルプ
	常設展示室（2 階クマ剥製展示箇所）	防虫防黴	平成 25 年 6 月 17 日～23 日	関東港業株式会社	アルプ
2	第 1, 2 回燻蒸庫燻蒸	防虫防黴	平成 25 年 10 月 29 日～11 月 2 日	関東港業株式会社	エキヒューム S
3	燻蒸庫保守点検ならびに第 3, 4 回燻蒸庫燻蒸	防虫防黴	平成 26 年 2 月 25 日～3 月 3 日	関東港業株式会社	エキヒューム S

（２）基準標本と天然記念物の状況

正基準標本 Holotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	鳥類	GMNH-PV-170	*Limnofregata hasegawai* Olson et Matsuoka, 2005 ハセガワグンカンドリ
2	化石	無脊椎動物	節足動物三葉虫類	GMNH-PI-1341	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
3	化石	無脊椎動物	節足動物十脚類	GMNH-PI-1701	*Nipponopon hasegawai* Karasawa, Kato et Terabe, 2006 ハセガワニッポノポン
4	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1256	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
5	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス

6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3158	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2116	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	軟体動物 二枚貝類	GMNH-PI-2164	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3167	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3170	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3173	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3182	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
13	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3185	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
14	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3188	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
15	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3537	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
16	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3504	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
17	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
18	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4001	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4211	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4228	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4122	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4125	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4128	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4133	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4137	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

27	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4142	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
28	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4147	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
29	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4152	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
30	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4157	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
31	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4159	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
32	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4163	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
33	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4167	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
34	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4172	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
35	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4177	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
36	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4181	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

等価基準標本 Syntype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	脊椎動物	魚類	GMNH-PV-042	*Sebastes kanezawai* (Niino, 1951)

従基準標本 Paratype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 三葉虫類	GMNH-PI-1342	*Pseudophillipsia kiriuensis* Kobayashi et Hamada, 1984
2	化石	無脊椎動物	節足動物 十脚類	GMNH-PI-1700	*Hoploparia kamimurai* Kato et Karasawa, 2006 カミムラホプロパリア
3	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-1257, 1258	*Eolyttonia kiryuensis* Tazawa et Takakuwa, 2009
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3159	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
5	現生	無脊椎動物	節足動物 昆虫類	GMNH	*Uresiphita fusei* Inoue, 1982 イタクラキノメイガ

6	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2113-15, 2117-2124	*Saccella annakensis* Kurihara, 2010
7	化石	無脊椎動物	軟体動物二枚貝類	GMNH-PI-2165 - 2170	*Limopsis nakajimai* Kurihara, 2010
8	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3538, 3539	*Dasysaria japonica* Tazawa et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	腕足動物	GMNH-PI-3505 - 3525	*Linoproductus ashioensis* Tazawa et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-3164	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
11	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4003	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
12	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4123, 4124, 4203, 4204	*Semicytherura kaburagawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
13	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4126, 4127, 4205, 4206	*Semicytherura usuigawaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
14	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4129, 4130, 4131, 4132	*Loxoconcha jyoumouensis* Tanaka and Hasegawa, 2013b
15	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4134, 4135,4136	*Loxoconcha maedai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
16	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4138, 4139, 4140, 4141	*Callistocythere nanamagariensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
17	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4143, 4144, 4145, 4146	*Callistocythere annakensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
18	化石	無脊椎動物	節足動物貝虫類	GMNH-PI-4148, 4149, 4150, 4151	*Callistocythere kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

19	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4153, 4154, 4155, 4156	*Callistocythere kamitsukensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
20	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4158, 4206, 4159, 4207	*Callistocythere izanami* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
21	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4160, 4161, 4162, (4161)	*Callistocythere kuwanoki* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
22	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4164, 4165, 4166	*Callistocythere myogiensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
23	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4168, 4169, 4170, 4171	*Loxocythere tetsurohanaii* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
24	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4173, 4174, 4175, 4176	*Cornucoquimba kyokoae* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
25	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4178, 4179	*Yezocythere takaokai* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)
26	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4182, 4183, 4184, 4185	*Trachyleberis itahanaensis* Tanaka, 2013 (in Tanaka and Hasegawa, 2013b)

従基準標本（別性） Allotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3160-61	*Ikeyacythereis kumejimensis* Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010
2	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3168	*Hemicytherura huangi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
3	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3171	*Hemicytherura notoensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
4	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3174	*Hemicytherura okuboi* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
5	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3183	*Hemicytherura choeae* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)

6	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3186	*Hemicytherura japonica* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
7	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3189	*Hemicytherura taiwanensis* Kaseda et Ikeya, 2011 (in Tanaka, Kaseda and Ikeya, 2011)
8	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3163	*Loxoconcha tuberculatus* Tanaka et al., 2012
9	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4002	*Aurila joushuensis* Tanaka et al., 2012
10	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4212	*Krithe tomiokaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
11	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4229	*Acanthocythereis oshimaensis* Tanaka and Hasegawa, 2013a
12	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-4231	*Acanthocythereis noriyukikeyai* Tanaka and Hasegawa, 2013a

同地基準標本 Topotype

No.	分類群等			標本番号	種名
1	化石	無脊椎動物	節足動物 貝虫類	GMNH-PI-3162-64	*Ikeyacythereis wutzushuii* (Hu et Tao, 2008) (in Tanaka, Hasegawa et Nomura, 2010)

国指定 特別天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	特別指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-1028	*Diomedea albatrus* Pallas, 1769 アホウドリ	1962.04.19
2	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VM-066 ほか	*Capricornis crispus* (Temminck, 1836) カモシカ	1955.02.15
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-855	*Spilornis cheela* (Latham, 1790) カンムリワシ	1977.03.15
4	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-677 ほか	*Grus japonensis* (Muller, 1776) タンチョウ	1952.03.29
5	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-936 ほか	*Lagopus mutus* Montin, 1781 ライチョウ	1955.02.15
6	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA	*Nipponia nippon* (Temminck, 1835) トキ	1952.03.29

国指定 天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-546 ほか	*Aquila chrysaetos* (Linnaeus, 1758) イヌワシ	1965.05.12

2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-4658 ほか	*Parnassius eversmanni daisetsuzanus* Matsumura, 1926　ウスバキチョウ	1965.05.12
3	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-847 ほか	*Haliaeetus pelagicus* (Pallas, 1811) オオワシ	1970.01.23
4	動物	無脊椎動物	甲殻類	GMNH-IC-113	*Coenobita cavipes* Stimpson, 1858 オカヤドカリ	1970.11.12
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-31292 ほか	*Vacciniina optilete daisetsuczana* (Matsumura, 1926)　カラフトルリシジミ	1967.05.02
6	動物	脊椎動物	爬虫類	GMNH-VR-289	*Plestiodon kishinouyei*　(Stejneger, 1901)　キシノウエトカゲ	1975.06.26
7	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-9674 ほか	*Oeneis melissa daisetsuzana* Matsumura, 1926　ダイセツタカネヒカゲ	1965.05.12
8	動物	脊椎動物	鳥類	GMNH-VA-959	*Anser albifrons* (Scopoli, 1769) マガン	1971.06.28
9	動物	脊椎動物	魚類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1909) ミヤコタナゴ	1974.06.25
10	動物	脊椎動物	哺乳類	GMNH-VP-197 ほか	*Tanakia tanago* (Tanaka, 1845) ヤマネ	1975.06.26

県指定　天然記念物

No.	分類群等			標本番号	種名	指定年月日
1	地球	鉱物		GMNH-EM-781	Zunyite ズニ石（みなかみ町入須川産）	1973.08.21
2	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-858　ほか	*Colias palaeno aias* Fruhstorfer, 1903 ミヤマモンキチョウ	1977.04.01
3	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Erebia niphonica* (Janson, 1877) ベニヒカゲ	1977.04.01
4	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-2203　ほか	*Aporia hippia japonica* Matsumura, 1919 ミヤマシロチョウ	1977.04.01
5	動物	無脊椎動物	昆虫類	GMNH-II-3332 ほか	*Luehdorfia puziloi inexpecta* Sheljuzhko, 1913　ヒメギフチョウ	1976.03.07
6	動物	脊椎動物	両生類	GMNH-VR-206 ほか	*Hynobius lichenatus* Bouleger, 1883 トウホクサンショウウオ	2007.03.27
7	動物	無脊椎動物	両生類	GMNH-VR-035 ほか	*Hynobius kimurae* Dunn, 1923 ヒダサンショウウオ	2007.03.27
8	化石	脊椎動物	両生類	GMNH-PV-001　ほか 1 点	*Rana* aff. *architemporalia* ムカシアカガエル	1996.03.29

9	化石	脊椎動物	哺乳類	GMNH-PV-2401	*Joumocetus shimizui* Kimura et Hasegawa, 2010 ジョウモウケタス	2012.03.23

(3) 収蔵資料数

番号	分　　野	25 年度	全登録
1	哺乳類	523	3,553
2	鳥類	188	1,873
3	両生･爬虫類	0	626
4	魚類･円口類	3	771
5	昆虫	7,078	43,844
6	クモ類	0	51
7	甲殻類	0	470
8	その他の節足動物	0	6
9	軟体動物	167	10,803
10	その他の無脊椎動物	0	155
11	ロット標本	0	578
12	種子植物	2,216	55,786
13	シダ植物	2,109	9,752
14	蘚苔類	0	670
15	藻類	0	328
16	地衣類	0	313
17	菌類	302	4,527
18	細菌類	0	0
19	人類	2	1,912
20	古動物	397	5,205
21	古植物	0	2,821
22	岩石	0	2,376
23	鉱物	0	1,780
24	環境･地質現象	0	43
合　計		12,985	148,243

(4) 資料購入

番号	資　料　名　称	分　野	数量	購　入　業　者
1	三葉虫, アンモナイト, モササウルスの歯, サメの歯セット（教育普及用）	古生物	13	（株）パレオサイエンス

(5) 委託（製作・資料整理）

番号	委 託 業 務 名 称	分野	数量	委 託 先 名 称	用 途
1	カミツキマッコウ生態復原模型製作業務	古生物	1	(有)ディ・カールトン	展　示
2	トラ全身骨格組立業務	哺乳類	1	合名会社 中馬工房	展　示

3	ハクジラ類化石産状レプリカ標本製作業務	古生物	1	合名会社 中馬工房	展　示
4	アイヌ犬全身交連骨格標本作製業務	哺乳類	1	(有)尼ヶ崎剥製標本社	展 示 研 究
5	平成25年度群馬県産鉱物資料調査収集業務	鉱物	一式	(株)ホリミネラロジー	調 査 展 示
6	ザトウクジラ右前肢実物大模型作製業務	哺乳類	1	(有)Ｔ＆Ｔ	展 示
7	ハンズオン用ティランノサウルス左足化石レプリカ作製業務	古生物	一式	(株)パレオサイエンス	展 示 研 究
8	植物地下部断面透明樹脂包埋標本作製業務	植物	8	国陽工芸（株）	展示・県美術館博物館研究費を使用

(6) 寄贈資料・管理移管資料

番号	受贈(移管)資料名称	分野	数量	受贈(移管)者	受付年月日
1	ヤマセミ、キバタン（剥製）	鳥類	2	非公表	H25.4.19
2	昆虫標本	昆虫	3,651	池沢　隆一	H25.5.13
3	大型ドブガイ（生体）	貝類	1	酒井　基	H25.5.25
4	昆虫標本	昆虫	2,644	池沢　隆一	H25.7.13
5	マンクス・ルフタン種、ブラック・ウェルシュ・マウンテン種	哺乳類	2	鈴木　正世志	H25.7.26
6	タカノホシクサさく葉標本	植物	1	青山　廣	H25.7.30
7	クサガメ等剥製等生物標本、鍾乳石	脊椎動物、岩石	14	非公表	H25.8.31
8	昆虫標本	昆虫	30箱	池沢　隆一	H25.9.14
9	ウマ（競走馬・剥製）	哺乳類	1	太田市立 強戸小学校	H25.9.20
10	昆虫標本、ドイツ箱、標本箱、昆虫標本戸棚	昆虫	標本 30箱 ほか	池沢　隆一	H25.9.20
11	植物さく葉標本	植物	18,000	松澤　篤郎	H25.11.1
12	ヒグマ頭骨	哺乳類	1	井上　道子	H25.11.14
13	コイ（剥製）	魚類	1	上武　瞬	H25.11.22
14	鳥類３種(剥製)	鳥類	3	中山　智進	H25.12.18
15	陸棲哺乳類検体	哺乳類	550	県内市町村、環境森林事務所等	通年
16	鳥類資料	鳥類	80	県内市町村、環境森林事務所等	通年

17	両生類・爬虫類資料	両生類 爬虫類	10	県内市町村、環境森林事務所等	通年

(7) 寄託資料

番号	寄託資料名称	数量	寄託者名称	寄　託　期　間
	今年度は無し			

(8) 貸出資料

番号	貸出資料名称	数量	貸出先名称	貸出期間	備　考
1	アマルガサウルス全身骨格	1	神流町恐竜センター	H10.3.23-	前年度から継続
2	谷下産ワニ類全身骨格化石（レプリカ）	1	島根県立三瓶自然館サヒメル	H25.3.1～5.31	前年度から継続
3	デイノニクス全身骨格	1	久慈琥珀博物館	H25.3.20～6.4	前年度から継続
4	三重県産中新世ウミユリ化石 *Teliocrinus* sp.	1	国立科学博物館	H25.4.11～10.19	特別展
5	オオカミ全身骨格等	2	読売新聞社（マンモス展での展示）	H25.5.21～9.30	イベント展示
6	ヒトデ模型ほか	32	沖縄県立博物館・美術館	H25.6.10～9.14	特別展
7	マメンキサウルス全身骨格ほか	18	島根県立三瓶自然館サヒメル	H25.6.11～10.3	特別企画展
8	ヘルレラサウルス全身骨格ほか	23	宮崎県総合博物館	H25.6.15～9.15	H25年度分貸出許可
9	有孔虫拡大模型	一式	佐野市葛生化石館（栃木県）	H25.6.12～11.20	企画展
10	海外産コノドントプレパラートほか	31	佐野市葛生化石館（栃木県）	H25.6.12～11.20	企画展
11	ギンブナほか魚類標本	8	飯能市郷土館	H25.6.22～7.22	企画展
12	ブラウンキツネザル、クロキツネザルほか	45	鳥取県立博物館	H25.6.26～9.20	企画展
13	アマゴ剥製ほか魚類標本	17	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	H25.6.26～9.30	企画展
14	アンテトニトルス部分骨格ほか	36	中央宣伝企画(株)	H25.7.1～8.30	イベント展示
15	アーケオプテリクス	1	中央宣伝企画(株)	H25.7.1～8.30	イベント展示
16	エオラプトル全身骨格ほか	20	北海道大学総合博物館	H25.7.1～11.15	企画展

17	ガリミムス全身骨格ほか	12	有限会社キリンジ	H25.7.15～8.30	イベント展示
18	ヤマメ剥製ほか魚類標本	23	朝霞市博物館	H25.7.15～9.23	テーマ展示
19	トゥプクスアラ全身骨格	1	久慈琥珀博物館	H25.7.19～9.20	企画展
20	ツキノワグマ等の標本４点ならびにテレメーター	5	NPO法人 片品・山と森の学校	H25.7.20～9.23	イベント展示
21	オオカミ復元骨格	1	埼玉県立自然の博物館	H25.9.9～H26.2.6	企画展
22	ホソテンロクケボリガイほか	34	高崎市観音塚考古資料館	H25.9.15～12.25	企画展
23	キヌガサタケの生長模型	1	(株)日本メナード化粧品	H25.10.6～10.19	イベント展示
24	イノシシ標本	5	長崎県平戸市農林水産部	H25.11.5～11.20	イベント展示
25	カウディプテリクス 全身骨格ほか	3	兵庫県丹波市産業経済部恐竜を活かしたまちづくり課	H25.11.21～H26.1.15	イベント展示
26	組立デイノニクス、 アンモナイトパズル	2	渋谷区教育委員会事務局生涯学習・スポーツ振興課	H25.11.21～H26.2.6	企画展
27	ウサギ剥製ほか	6	群馬県立盲学校	H26.1.7～2.9	理科触察教材使用
28	ライオン剥製ほか	6	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H26.2.10～6.30(予定)	企画展、H26年度へ継続
29	トゥオジアンゴサウルス 全身骨格ほか	13	大阪市立自然史博物館	H26.2.17～6.9(予定)	特別展、H26年度へ継続
30	Ｋ／Ｐｇ境界層	1	大阪市立自然史博物館	H26.2.17～6.9(予定)	特別展、H26年度へ継続
31	アオサギ羽毛付き骨格標本ほか	3	東京大学総合研究博物館	H26.2.28～3.10	TV番組撮影のため
32	アマルガサウルス全身骨格ほか	7	兵庫県丹波市産業経済部恐竜を活かしたまちづくり課	H26.3.16～5.20(予定)	ｲﾍﾞﾝﾄ展示、H26年度へ継続

(9) 借用資料

番号	借用資料名称	数量	借用先名称	借 用 期 間	備考
1	寺西貝塚出土のｼｼﾞﾐ･ﾊﾞｲｶﾞｲ（常設展示等）	304	板倉町教育委員会事務局	H23.4.1～H26.3.31	前年度から継続・期間更新?
2	アンモナイト（ヘテロケラス）等化石標本	7	松原剛史	H23.4.1～H26.3.31	前年度から継続
3	ハマサンゴ ボーリングコア等	一式	東京大学大気海洋研究所	H24.11.16～H25.5.20	前年度から継続

4	サンゴ幼生液浸標本等	4	お茶の水大学湾岸生物教育センター　服田昌之	H24.11.19～H25.5.31	前年度から継続
5	ミドリイシのバンドル液浸標本等	2	一般財団法人沖縄美ら島財団	H24.12.26～H25.5.31	前年度から継続
6	Web 動画「プレートテクトニクスと石灰岩の移動と付加」	1	下仁田町教育委員会ジオパーク推進室	H25.1.21～5.31	前年度から継続
7	東御市産アケボノゾウ化石	23	東御市教育委員会	H25.2.15～9.15	前年度から継続
8	アキシマクジラ関係資料	22	昭島市教育委員会	H25.2.15～9.15	前年度から継続
9	宝石サンゴの原石	1	さんご専門店河田代表　前嵩西　勇	H25.3.1～5.20	前年度から継続
10	宝石サンゴのピアス	1	伊丹　清美	H25.3.1～5.20	前年度から継続
11	宝石サンゴのネックレス、指輪	2	中野　静代	H25.3.1～5.20	前年度から継続
12	宝石サンゴのペンダント等宝飾品	13	山下みさ子	H25.3.1～5.20	前年度から継続
13	宝石サンゴのネックレス等宝飾品	3	長井　良子	H25.3.1～5.20	前年度から継続
14	水中撮影装置	一式	野口　強志	H25.3.15～H5.20	前年度から継続
15	楊井層産サイ類化石	1	吉田　健一	H25.3.19～9.15	前年度から継続
16	ストロマトライト等岩石資料（常設展示等）	9	神奈川県立生命の星・地球博物館	H25.4.1～H26.3.31	前年度から継続・期間更新
17	エリアンサス生株	1	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所	H25.4.11～12.5	
18	尾瀬動画	一式	安類　智仁	H25.4.20～H26.2.23	
19	連光寺層産アカガイ化石ほか	7	むさしの化石塾	H25.5.20～9.15	
20	ゾウ類の系統図（画像）	1	菊谷詩子	H25.6.13～9.1	版権使用料支払
21	パリエトバラエナほか化石標本・発掘映像など	74	埼玉県立自然の博物館	H25.6.24～9.30	
22	パレオパラドキシア（寺尾標本レプリカ）、ナウマンゾウ関係画像	二式	古脊椎動物研究所	H25.6.30～9.15	
23	カントウゾウ下顎骨画像	1	かわさき宙と緑の科学館	H25.6.30～	

24	ナウマンゾウ化石 （浜町標本）	23	八王子市教育委員会	H25.7.1～ 9.15	
25	中津層群神沢層産 脊椎動物化石	7	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H25.7.1～ 9.15	
25	ハチオウジゾウ関係標本	8	慶應義塾幼稚舎　相場博明	H25.7.1～ 9.15	
26	カイギュウ類 *Hydrodamalis* sp.	1	国立科学博物館	H25.7.1～ 9.15	
27	アケボノゾウ頭蓋	1	むさしの化石塾	H25.7.1～ 9.15	
28	シュードフィリップシア ほか化石標本	18	栃木県立博物館	H25.7.1～ 9.15	
29	トウヨウゾウ臼歯 ・下顎骨ほか	6	佐野市葛生化石館	H25.7.1～ 9.30	
30	メガロドン産状模型 ほか化石標本	17	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H25.7.1～ 9.30	
31	ゴンドウクジラ類 ほか化石標本	16	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H25.7.1～ 9.30	
32	ザトウクジラ類鼓室胞 ほか化石標本	20	千葉県立中央博物館	H25.7.1～ 9.30	
33	多摩川産狼全身復元骨格 化石（レプリカ）ほか	3	飯田市美術博物館	H25.7.1～ 9.30	
34	ナウマンゾウ上顎臼歯	1	(独)産業技術総合研究所 地質標本館	H25.7.1～ 9.30	
35	獣脚類の歯（キャスト） ほか	6	神流町恐竜センター	H25.7.1～ 9.30	
36	葛生産化石類	一式	片柳石灰工業(株)	H25.7.2～ H26.9.30	期間延長・ H26 年度へ 継続
37	関東産化石類	233	葛袋地学研究会	H25.7.2～ 9.30	
38	関東産化石類	54	群馬古生物研究会	H25.7.2～ 9.30	
39	偶蹄類足跡化石レプリカ	一式	杉田正男	H25.7.2～ 9.30	
40	杜虫然氏製作　昆虫作品	9	煉瓦倉庫コンチキ	H25.7.9～ H26.9.10	H26 年度へ 継続
41	*Spartina alternifolia* 生態写真	1	(一財)自然環境研究センター 小出可能	H25.7.28～ 11.24	版権使用料 支払
42	*Oryza rufipogon* ほか、 イネ科標本	12	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所	H25.8.1～ 11.30	
43	テオシントほかの画像	5	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所	H25.8.1～ 11.30	

44	Step 景観など写真３点	3	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H25.8.1～ 11.30	
45	タケノコアクリル封入標本ほか関係資料	8	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館	H25.9.5～ 11.30	
46	イネ科の楽器３点の音源等	4	中央宣伝企画(株)	H25.9.8～ 11.24	使用料支払
47	一粒系コムギほか、 イネ科標本	12 式	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所	H25.9.10～ 11.30	
48	テオシント地上茎本 ほか３品種の穂・種子粒	4 式	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所	H25.9.10～ 11.30	
49	酒造好適米・舞風 （株見本）	1	群馬県農業技術センター	H25.9.11～ 11.30	
50	わら細工、和楽器	6	天笠安治	H25.9.16～ 12.1	
51	矢	5	中島弓具店	H25.9.19～ 11.30	
52	ジャイアントパンダ剥製	1	国立科学博物館	H25.9.25～ 11.30	
53	黄八丈 　縞・格子文様端裂	6	高崎市染料植物園	H25.9.25～ 11.28	
54	フクロウ翼標本等	13	新潟県愛鳥センター 紫雲寺さえずりの里	H25.11.13～ H26.5.17	H26 年度へ継続
55	アロデスムス類化石	69	松本市四賀化石館	H26.2.1～ H27.3.31	期間延長・ H26 年度へ継続
56	アルミハニカムパネルサンプルほか	3	(株)IHI エアロスペース 富岡事業所	H26.2.6～ 5.31	H26 年度へ継続
57	ミナミマグロ剥製	1	(独)水産総合研究センター	H26.2.7～ 5.30	H26 年度へ継続
58	ジャイアントケルプなど 乾燥・液浸標本	4	千葉県立中央博物館	H26.2.10～ 5.25	H26 年度へ継続
59	人力飛行機模型	1	向井千秋記念子ども科学館	H26.2.13～ 5.31	H26 年度へ継続
60	スパイダーソックス等 繊維製品・資料	35	信州大学繊維学部	H26.2.18～ 5.30	H26 年度へ継続
61	シールドマシン （DOT 工法）模型	1	大豊建設(株)	H26.2.24～ 5.25	H26 年度へ継続

62	500 系新幹線試作パンタグラフなど５点	5	交通科学博物館（大阪）	H26.2.25～5.25	H26 年度へ継続
63	穿孔貝関係標本	14	千代田厚史	H26.2.27～5.25	H26 年度へ継続
64	トンボ型マイクロ風力発電機など	16	東北大学大学院 環境科学研究科	H26.3.6～5.31	H26 年度へ継続
65	ストロマトライト等、岩石資料	9	神奈川県立 生命の星・地球博物館	H26.4.1～H27.3.31	前年度から継続 ・期間更新

(10) 特別観覧

番号	観覧資料名称	数	特別観覧申請者		申請期間	備考
1	恐竜、肺魚等	一式	BS-TBS（BS-TBS 番組「ニュース少年探偵団」）	井手友香里	H25.5.10	番組収録
2	スマトラサイ頭骨（レプリカ）	1	信州新町化石博物館	半田 直人	H25.10.13	熟覧撮影等
3	ディメトロドン等古生物標本	4	(株)技術評論社（書籍掲載用）	片岡 巌	H26.1.30	撮影
4	平井断層はぎ取り標本	1	(株)黒岩測量設計事務所（地盤工学会関東支部）	樋口 邦弘	H26.2.27	熟覧撮影
5	ジョウモウクジラ正基準標本	1	Museum für Naturkunde (Berlin, Germany)	Oliver Hampe	H26.3.27	熟覧実測撮影

(11) 画像等使用許可

番号	使用画像等の名称	数	使用者名称	使用開始日
1	原市層産中新世化石・桐生市梅田産ペルム紀化石	11	丸善出版(株)（「化石ウォーキングガイド関東甲信越版」掲載）	H25.4.9-
2	トリケラトプス全身骨格	1	レカポラ編集舎（洋泉社発行「大人の恐竜大図鑑」掲載[H24 度許可分を含む]）	H25.4.25-
3	アイスランドガイ	1	名古屋テレビ（同社番組「昼まで待てない！で放映）	H25.4.13
4	マメンキサウルス、ストルティオミムス等恐竜骨格	7	(株)ポプラ社(「ポプラ社図鑑 WONDA 恐竜」掲載)	H25.5.19-
5	「芸術と象徴」（当館常設展示 E)	1	(株)ダイナマイトレボリューションカンパニー（テレビ東京番組「地球 137 億年の物語」で放映）	H25.5.12

6	菌類標本（ニガクリダケ、オニフスベ、カエンタケ）	3	(株)フォト・オリジナル（(株)セガ発行「ずかんのたまご」17巻「きのこ」の中ページ、関連ゲームで使用）	H25.6.5-
7	アビシニアコロブス等、霊長類・人類標本	29	鳥取県立博物館（企画展「サルとヒト」で展示）	H25.6.10-
8	カマラサウルス頭骨	1	(有)キリンジ(玉川高島屋で開催する「たまがわ恐竜大図鑑展（仮）」で展示）	H25.7.24-8.18
9	三葉虫化石（アサフィスカス・ウィーラーアイ）	1	ルネサンス･アカデミー(株)（同社が主催する「科学検定」5･6級の検定問題で使用）	H25.7.20-
10	「シャニダール洞窟、ネアンデルタール埋葬」（当館常設展示E）	1	(株)見聞社（『人と自然』第６号「花－花をめぐる人と自然」に掲載）	H25.7.15
11	ディノサウロイド	1	島根県立三瓶自然館サヒメル（夏期特別企画展「さんべ恐竜王国」で展示）	H25.7.13-9.29
12	「シャニダール洞窟、ネアンデルタール埋葬」ほか常設展示物８点	9	スタジオAK（宝島社発行「別冊宝島　最新！人類の謎を解く」に掲載）	H25.7.19-
13	デイノニクス全身骨格、カマラサウルス全身骨格（再利用）	2	Benesse Korea（韓国版こどもちゃれんじ2013年10月号４段階に掲載）	H25.10.1-
14	トリケラトプス・産状展示（ボーンベッド）	1	(株)雄山閣（「集客力を高める博物館展示論（著者　青木豊）」に掲載）	H25.9.10-
15	三葉虫化石（アカドパラドクシデス）	1	(有)大悠社（学研エデュケーショナル運営のHP「がっけん『ぐるみ』」の記事に掲載）	H25.9.2-
16	ディノサウロイド	1	(株)祥伝社（祥伝社新書「大人のための恐竜学（著者　土屋健）」に掲載）	H25.10.1-
17	群馬県産サメ類化石標本	4	(株)エムピージェー（月刊アクアライフ2013年10月号「ウロコは語る 第92回」に掲載）	H25.9.11-
18	ギガノトサウルス頭骨	2	(有)ハユマ（PHP研究所発行「巨大生物びっくり図鑑に掲載）	H25.9.10-
19	シジミ化石	3	(株)ベネッセコーポレーション（高２向け理科教材に掲載）	H25.12.1-
20	ツチグリ	2	ライド(株)（BS日テレ放送「中川翔子のマニア★まにある」で放映）	H25.11.9-11.16

21	ドクツルタケ、シロタマゴテングタケ、ハナイグチ、タマゴタケ	4	ライド(株)（BS 日テレ放送「中川翔子のマニア★まにある」で放映）	H25.11.9-11.16
22	ガンタケ、コガネテングタケ、タマゴテングタケ、ドクツルタケ、ベニテングタケ	5	BS-TBS 制作局報道部（BS-TBS「ニュース少年探偵団」で放映）	H25.11.10-
23	トリケラトプス全身骨格	1	レカポラ編集舎（ポプラ社発行「WONDA 大昔の生き物（仮）」に掲載予定）	H26.2.1-
24	トリケラトプス（歯の拡大）	1	(株)エイジャ（朝日新聞出版発行「週刊世界の博物館 38 号 国立科学博物館（台湾版）」に掲載予定）	H26.1.28-
25	当館外観・常設展示室・ティランノサウルス動刻	3	(株)ホージュン（同社 100 周年記念誌に掲載予定）	H26.4.1-
26	アウストラロピテクス・アフリカヌスほか化石人類３種	8	(株)裳華房（「ベーシック生物学」に掲載予定）	H26.4.1-
27	アーケオプテリクス等古生物標本	3	(株)小学館（「きっずジャポニカ デジタル版」に掲載予定）	H26.7.1-
28	ビカリア化石、エディアカラ動物群（ジオラマ）	2	数研出版(株)（「もう一度読む　数研の高校地学」に掲載予定）	H26.5.1-

(12)　資料・展示関係機器の修復

平成 25 年度は、貸出資料の大きな破損は無かった。常設展示では、A-1 に設置している拡散霧箱の装置の一部である冷凍庫に経年劣化が出てきて、展示に支障が出てきたため、交換した。また、現在では主に企画展、特別展示等で使用中の常設展示用平覗きガラスケース一台のガラス数枚が夏期企画展準備中に破損したため、新しいものに交換した。

一方、平成 24 年３月 11 日の地震で破損したディメトロドン実物全身骨格の棘突起は、ガラスケース内に入って作業を行うことが困難であるため、修復に未着手である。

(13)　科学系博物館情報ネットワーク開発事業自然史標本データ整備事業

国立科学博物館のＳNet（科学系博物館情報ネットワーク開発事業）及びＧＢＩＦ(地球規模生物多様性情報機構)の生物標本収蔵データベースネットワークへの参加に伴い、当館の収蔵データベースシステムにあるデータの加工・変換を行った。

・変換データ数：7,088 件（延べ数）
・データ変換委託事業期間：平成 26 年 1 月 6 日～3 月 12 日
・データ変換業務委託先：株式会社 K-Bix

上記ネットワークへのデータ提供件数は、平成24年度末で64,974件である。

(14)　文献資料等の充実

○　購入

図書	88 冊
和雑誌	243 冊
洋雑誌	186 冊

○　寄贈受入

図書	170 冊
雑誌	629 冊
ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱ	7 点
地図	29 点

○ 交換受入図書数

436 冊

○交換館数

国内 322 機関

海外 16 機関

4　調査研究

(1)　上野村地域総合学術調査（自然史調査）

平成 23 年度から 25 年度までの 3 ヵ年にわたり、県南西部の多野郡上野村を対象として動植物と地質の総合的な調査を実施した。対象地域は一部で県の調査や北沢シオジ林の天然記念物指定に伴う調査が行われたものの、大部分の地域で生物学的・地学的知見が不足している場所が多く、かつ、電力資源や森林資源の開発、シカの侵入などにより生態系の変化が顕著に進行しつつある。よって、この地域の学術情報を証拠となる標本とともに収集・蓄積していくことが必要との判断から調査地域とした。

① 調査内容

・哺乳類　:小型哺乳類のトラップによる捕獲、カメラトラップ調査、痕跡調査、ライトセンサス調査、バットディテクターによるコウモリ調査
・昆虫類　:捕虫網・トラップによる捕獲
・無脊椎動物　:軟体動物を中心に捕獲
・維管束植物・蘚苔類:採集
・菌類　:採集
・地質　:楢原矢弓沢流域の地質調査・岩石採取
・古生物　: 下部白亜系山中層群における露頭状況と産出化石

② 調査日および調査内容

第 1 回　4 月 14 日　維管束植物
第 2 回　4 月 17 日　昆虫
第 3 回　4 月 25 日，26 日　小型哺乳類
第 4 回　5 月 1 日　維管束植物
第 5 回　5 月 15 日　菌類
第 6 回　5 月 23 日　地質
第 7 回　5 月 31 日　維管束植物
第 8 回　5 月 31 日　哺乳類
第 9 回　6 月 1 日　哺乳類
第 10 回　6 月 4 日、5 日　昆虫
第 11 回　6 月 6 日　菌類
第 12 回　6 月 13 日　昆虫
第 13 回　6 月 19 日　軟体動物
第 14 回　6 月 20 日　地質
第 15 回　6 月 21 日　地質
第 16 回　6 月 27 日　哺乳類
第 17 回　7 月 2 日　菌類
第 18 回　7 月 7 日　哺乳類
第 19 回　7 月 18 日　軟体動物
第 20 回　8 月 5 日　菌類
第 21 回　8 月 7 日　軟体動物
第 22 回　8 月 26 日，27 日　小型哺乳類
第 23 回　8 月 27 日　軟体動物
第 24 回　8 月 28 日　昆虫
第 25 回　9 月 19 日　菌類
第 26 回　9 月 26 日　菌類
第 27 回　10 月 3 日，4 日　小型哺乳類

第 28 回　10 月 3 日　菌類
第 29 回　10 月 9 日　地質
第 30 回　10 月 10 日　地質
第 31 回　10 月 10 日　軟体動物
第 32 回　10 月 17 日　維管束植物
第 33 回　10 月 23 日　地質
第 34 回　10 月 24 日　地質
第 35 回　10 月 24 日　菌類
第 36 回　11 月 14 日　哺乳類
第 37 回　11 月 16 日　古生物
第 38 回　11 月 20 日　哺乳類
第 39 回　11 月 27 日　地質
第 40 回　11 月 28 日　地質
第 41 回　12 月 6 日　哺乳類
第 42 回　12 月 7 日　哺乳類
第 43 回　12 月 26 日　地質

③ 調査報告書の発行

平成 23 年度からの 3 カ年の調査結果をとりまとめ、「群馬県立自然史博物館　自然史調査報告書第 6 号　上野村地域総合学術調査」として発行した。岩石・地質、古生物、維管束植物、菌類、軟体動物、昆虫、両生類、哺乳類の各分野で、10 題の研究成果が収録された。

(2) 担当分野別調査研究一覧

担当分野	内容（自然史調査を除く）	主な方法
植物	群馬県および上信越・東北地域における維管束植物の分布調査	・踏査、採集、GPS 測位
菌類	群馬県における菌類生息状況調査 自然史博物館博物館周辺の菌類調査	・群馬県野生きのこ同好会の採集会に参加、採集資料の収蔵 ・博物館周辺の菌類構成の季節的変化の把握
貝類	群馬県における貝類生息状況調査 群馬県における外来生物調査	・踏査、採集 ・聞き取り調査
爬虫・両生類	カエルツボカビ調査 群馬県における外来生物調査	・幼体サンプル採集 ・カミツキガメ、ワニガメの受入、検体分析（食性、繁殖状況、死亡年齢査定）
鳥類	群馬県における外来生物調査 群馬県における鳥類解剖調査 群馬県における放射性物質汚染状況調査	・ソウシチョウ、ガビチョウの受入、収蔵 ・野鳥病院より検体の受入 ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、性別、年齢など） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉））試料の生成、データ蓄積
魚類	タナゴ類繁殖管理	・人工授精・飼育

哺乳類	群馬県における哺乳類生息状況の長期モニタリング調査 群馬県における外来生物調査 群馬県における野生動物放射性物質汚染状況調査	・群馬県鳥獣保護員報告野生動物情報調査 ・カメラトラップ調査（榛名、玉原、藤原、太田、桐生） ・検体分析調査（全県・食性、繁殖状況、死亡年齢査定） ・放射性物質汚染状況調査用（ゲルマニウム分析（筋肉）、NaI シンチレーション（全身スクリーニング）試料の生成、データ蓄積 ・シャーマントラップ調査（下仁田、南牧）
脊椎動物化石	群馬県産脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
無脊椎動物化石	群馬県産無脊椎動物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
植物化石	群馬県産植物化石、ならびにそれらと関連性の深い地層や化石に関する調査研究	・収蔵標本のプレパレーションやその研究 ・フィールド調査（県外を含む） ・他の博物館の収蔵標本調査（比較標本など） ・各分類群の専門家、他団体との共同研究 ・採集、寄贈等による標本収集
岩石・鉱物	群馬県産の岩石・鉱物関する調査研究	・フィールド調査 ・鉱物科学研究所との共同調査
地形・地質	群馬県内の地形・地質調査	・碓氷川、鏑川におけるフィールド調査

(3) 美術館・博物館調査研究

「むし　虫　ウォッチング　２」

一般に昆虫類は物理的な制約からからだを大きくすることはできない。例外的に熱帯雨林では手のひらからあふれる大きさの昆虫が生息している。収蔵資料からそれらの巨大昆虫を展示するとともに昆虫とヒトの大きさが逆転したらどうなるのかを拡大模型で実感できるコーナーをつくる。さらに虫の目レンズで昆虫とヒトを撮影した写真を展示する。また昆虫の深度合成写真（すべてにピントが合った写真）やスーパースロー映像に見る昆虫の世界を映像と標本で紹介する。標本の展示は前回の昆虫展以降に寄贈された資料を公開する。仏師の杜虫然氏の造形作品、高嶋清明氏の写真作品 66 点を入手した。深度合成写真は本館収蔵資料の標本撮影を写真家の腰高直樹氏に依頼した。寄贈昆虫資料については展示用に並び替えを行った。

「闇夜の動物たち」

昼行性な活動を行っている我々ヒトは、普段あまり夜に行動する動物たちの生活を目にすることがない。夜の闇にはヒトが測り知ることのできない世界がある。黄昏時から夜明けまで、闇夜に生きる動物たちの生活を紹介し、自然への知見を深める機会を提供

する。なかでも、夜行性の海に生きる生き物たちや、森林に生きる生き物たちに焦点をあてる。また、当館の自然史調査の成果や、連携している関係各所の調査成果などを一同に介し、紹介するものとする。

展示予定資料の下見と折衝を行った。夜に最も活発に活動する夜行性の動物たちのくらしを展示で紹介するため、生態について指導を受けるとともに、動画・静止画撮影を行った。また、剥製資料や、闇夜観察に必要な機器などの調査を行った。

「根も葉もない植物の話」

本企画展は寄生植物や渓流沿い植物、水生植物、砂漠の植物などの特異な植物や園芸植物を通して維管束植物の基本的な器官である根、茎、葉の構造への理解を進めるとともに、生育環境にあわせた植物の多様性に関心を高めることを目的とした。その準備として鹿児島県・宮崎県のカワゴケソウ科自生地及び広島県のツチトリモチ自生地で現地調査と写真撮影を行った。また、植物地下部の断面の樹脂包埋標本を制作した。さらに国立科学博物館筑波実験植物園にて展示の指導・打ち合わせとともに、同園栽培・展示植物の調査を行った。

「柴川コレクションの基礎的研究」

当館収蔵の柴川コレクションはナウマンゾウの資料としては三大コレクションのひとつといえるが基礎的なデータが整理で来ていないので広く利用されていない．本研究では柴川コレクションのナウマンゾウ標本について部位別，年齢別などデータとなる計測，定点撮影を行い，既存の高尾コレクション（国立科博博物館）との比較検討を行った.

「生きものをまねるーネイチャーテクノロジー入門ー」

近年の工業製品の中には、「カワセミのとがったくちばしをまねて作られた 500 系新幹線の車両」のように、自然に見られる構造やシステムからデザインしたものが少なくない。このような新しい技術はネイチャーテクノロジーと呼ばれているが、生物標本と工業製品を対比して紹介することを予定している。北海道大学総合博物館で行ったネイチャーテクノロジー展の視察、及び東北大学大学院環境科学研究部教授石田秀輝氏から展示について指導を受けた。

自然のフォトギャラリー

「カラー魚拓アーティスト 山本龍香の世界」の調査

山本龍香（本名：峰夫）氏の開設するインターナショナル魚拓香房（埼玉県東松山市）にて、自然のフォトギャラリーの開催に向け協力依頼を行い内諾を得た。関連事業の「魚拓製作体験教室」については、山本氏並びに会員２、３名を講師として、自然史博物館実験室にて実施する方向で検討することになった。

川越市立美術館市民ギャラリーで開催された「20 周年記念カラー魚拓展」を視察し、借用可能な魚拓や今後製作する予定の作品について資料調査を行った。また、カラー魚拓の作成方法について指導を受けた。

(4) 群馬県立自然史博物館研究報告第 18 号の発行

内容は、論文 19 編（原著論文・総説 13、短報 1、資料 5）である。

(5) 外部連携による調査研究

事業名	分担区分	担当者名	外部資金	連携組織 資金提供組織	備考
良好な自然環境を有する地域学術調査	分担	大森威宏 姉崎智子 髙桒祐司	○	群馬県自然環境調査研究会	
生物多様性モニタリング調査	分担	大森威宏 姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
群馬県レッドデータブック改訂	分担	姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
群馬県特定外来生物生息状況調査	代表	姉崎智子	○	群馬県自然環境調査研究会	
尾瀬における植物分布調査およびシカ食害調査	分担	大森威宏	○	群馬県自然環境課尾瀬保全推進室	
群馬県シードバンク構築事業	代表	大森威宏	○	群馬県自然環境課	H23～
群馬県内における菌類調査	連携	篠原克実		群馬県林業試験場 群馬県野生きのこ同好会	
群馬県特定動物保護管理計画にともなう検体分析事業（ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ）	連携	姉崎智子		群馬県自然環境課、市町村 東京農業大学、（財）自然環境研究センター、京都大学霊長類研究所、総合研究大学院大学	
野生鳥獣肉をモデルとした放射性物質（セシウム）の体内分布に関する調査	連携	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
群馬県ツキノワグマにおける寄生虫調査	協力	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
尾瀬シカ捕獲事業における科学的な分析	分担	姉崎智子		群馬県自然環境課尾瀬保全推進室、群馬県自然環境課野生動物係	
赤城シカ対策事業におけるシカの科学的な分析	分担	姉崎智子		群馬県自然環境課野生動物係	
群馬県ニホンジカにおけるプリオン調査	協力	姉崎智子		群馬県食肉衛生検査所	
群馬県における野生動物カメラトラップ調査	連携	姉崎智子		利根沼田自然を愛する会 桐生自然観察の森	
栃木県産クジラ類化石	連携	木村敏之		栃木県立博物館	
昭島市産ヒゲクジラ類化石	代表	木村敏之		昭島市教育委員会・国立科学博物館	
千葉県産ヒゲクジラ類化石	連携	木村敏之		千葉県立中央博物館	
動物園個体の標本化・収蔵	連携	姉崎智子		株式会社群馬サファリワールド、桐生市桐生が岡動物園	
山中層群の古生物学的研究	連携	髙桒祐司		神流町恐竜センター	
桐生市梅田の足尾帯産腕足類研究	連携	髙桒祐司		田澤純一（元新潟大学）	
絶滅爬虫類の脳形態に関する研究	連携	髙桒祐司		對比地孝亘（東京大学理学部）	
オゼコウホネの保全生物学的研究	連携	大森威宏		志賀隆（新潟大学） 黒沢高秀（福島大学）	
日本産カヤツリグサ科分布図作成事業	連携	大森威宏		すげの会	
日本本土のヨシススキの分布調査	分担	大森威宏		茨木靖（徳島県立博物館） 木場英久（桜美林大学）	
芳ヶ平湿原周辺自然環境調査　調査検討会	分担	大森威宏		中之条町	
赤城山ニホンジカ個体数調整事業	分担	姉崎智子	○	環境省地域生物多様性保全活動支援	

共同利用研究「群馬県空中写真デジタル化・環境解析事業」	連携	姉崎智子		同志社大学	
基盤研究Ｂ：「岩陰遺跡の環境考古学―先端手法による生業と古環境の高精度復元―」	分担	姉崎智子	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 25 年度～平成 27 年度：研究代表者本郷一美・総合研究大学院大学・葉山高等研究センター）
新学術領域：「西アジア都市文明の資源基盤と環境」	分担	姉崎智子	○	文部科学省科学研究費補助金	（平成 24 年度～平成 28 年度：研究代表者本郷一美・総合研究大学院大学・葉山高等研究センター）
国指定天然記念物「岩神の飛石」環境整備事業	分担	菅原久誠		前橋市教育委員会管理部文化財保護課	（平成 25 年度～平成 26 年度）
有孔虫殻内部を充填するフランボイダル黄鉄鉱の研究	代表	菅原久誠		太田女子高等学校	
藤岡市黒岩周辺の三波川結晶片岩分布域に産する鉄・マンガンリッチノジュールの化学組成	分担	菅原久誠		ホリミネラロジー(株)、鉱物科学研究所	
共同利用研究「群馬県における猿害の実態と遺伝的多様性について」	代表	姉崎智子	○	京都大学霊長類研究所	
共同利用研究「神奈川県産のツキノワグマ頭骨の形態変異に関する研究」	代表	姉崎智子		神奈川県立生命の星・地球博物館	

・外部研究者の調査協力

研究テーマ	協力者	協力元代表研究者名（所属）	備考
日本産シダ植物の分布資料作成	大森威宏	海老原淳（国立科学博物館）	データ提供
ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマの遺伝的集団構造	姉崎智子	佐々木剛（東京農業大学）	試料提供
群馬県ニホンザル苦味受容体遺伝子解析	姉崎智子	今井啓雄、鈴木南美（京都大学霊長類研究所）	試料提供
群馬県ニホンジカの遺伝的集団構造	姉崎智子	南正人（麻布大学）	試料提供
ハクビシンの遺伝子解析	姉崎智子	増田隆一（北海道大学）	試料提供

5 情報システム

自然史博物館情報システムは平成 20 年度より第三次システムの運用を開始した。システム概要は以下の通りである。情報システムは 5 つのサブシステムから構成されており、これらが相互連携して機能することにより、来館者、外部利用者、館職員が利用しやすいように設計されている。

(1) 収蔵品管理システム

収蔵資料の属性データをデジタル化して一元管理するためのシステムである。データは採集関係、産地関係をはじめとする属性情報だけでなく、当該資料の画像等の管理も行っている。また、一元管理されたデータは、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用している。使用ソフトウェアは Musetheque V3（富士通製）である。

データについては、サーバー内のほか、年度当初に磁気テープ媒体にバックアップし、情報管理室内にて保管している。

(2) 展示情報システム

情報コーナー展示システム、常設展示用展示システム、来館案内システムの 3 つからなる。収蔵情報・クイズ・ビデオ・図書情報が簡単な操作で見られるように構成されており、館内の情報コーナー及び各展示コーナーの端末で利用できる。情報コーナーでは全てが、一方、各展示コーナーでは該当部分のみを利用できる。収蔵情報は、収蔵品管理システムと連動しており、新たな収蔵品の更新情報を直ちに見ることができる。ビデオ番組は、群馬県内の自然環境および景勝地などを過去に撮影したもの等、合計 200 タイトルを保有している。来館案内は、企画展、イベントの情報を、博物館エントランスに設置したプラズマディスプレイで常時配信している。

(3) 図書文献管理システム

館所蔵の図書文献を管理するシステムである。収蔵品管理システムと同様に、一元管理された図書情報は、展示情報システム、普及広報システムと連携を図ることで、有効活用しており、展示情報システム、普及広報システムに反映され、来館者が図書室、情報コーナーに保管している図書を館の内外から検索できる。

(4) 普及広報システム

インターネット上のＨＰにおいて、イベント、博物館活用ネットワーク、友の会、ボランティア、収蔵品、図書、博物館実習等の各情報や、施設案内・博物館だよりなどを紹介している。展示室・イベント情報については動画配信を行っている。学習用ワークシート、調査報告書、博物館便り（デメテール）は、すべて HP からダウンロードできる。また、イベントや団体・学校利用に関する質問、博物館の資料・展示・研究に関する質問、システム・ホームページに関する質問について、それぞれ電子メールでの対応も行っている。

ア	HP アクセス件数	302,981
イ	HP への情報掲載（新着情報）件数	78
ウ	メールマガジン送信回数	12
エ	メールマガジン登録会員	608

(5) 学習支援システム

学校から学年単位などの団体で来館し、展示室で課題解決学習を行いたいという要望に応える形で作成したプログラムである。児童・生徒が各コーナーの展示資料の見方や展示場所をコンピュータで調べ、実物の資料を観察ながら学習できるシステムである。

(6) 第四次システムの開発

第三次システムの運用開始から５年が経過し、運用当初と比べて大容量の画像や動画のファイルを取り扱うことが日常的となってきたこと、ならびに同システムで使用しているOS（Microsoft 社製 Windows Vista business）のサポート終了が公表されたこと（亜ポート終了日 2017 年４月 11 日）などから、第四次システムの開発に着手した。本年度については、スケジュールの策定と最低限必要なコンテンツの抽出など、開発に必要な仕様の検討を行った。

６　出版・広報事業

(1)　出版物

次の広報用印刷物および書籍を発行した。

種類	名　　称	規格	頁数	部数
博物館だより	自然史博物館だより「デメテール」No57	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
	自然史博物館だより「デメテール」No58	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
	自然史博物館だより「デメテール」No59	A4 版 2p ｶﾗｰ･6p2 色	4	10,000
ポスター	第 43 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 43 回企画展ポスター	B3 版ｶﾗｰ		200
	第 44 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 44 回企画展ポスター	B3 版ｶﾗｰ		200
	第 45 回企画展ポスター	B2 版ｶﾗｰ		3,000
	第 45 回企画展ポスター	B3 版ｶﾗｰ		200
企画展・特別展リーフレット	第 43 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 43 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	第 44 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 44 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	第 45 回企画展	A4 版ｶﾗｰ		60,000
	第 45 回企画展広報用しおり	B5・1/8 ｶﾗｰ		4,000
	写真展「わたしの尾瀬」	A4 版，ｶﾗｰ		16,000
企画展図録	第 43 回企画展展示ガイドブック	A4 版，ｶﾗｰ	36	1,000
	第 44 回企画展展示ガイドブック	A4 版，ｶﾗｰ	52	800
	第 45 回企画展展示ガイドブック	B5 横版，ｶﾗｰ	44	800
リーフレット	イベントガイド 2013.10～2014.3	A3 版横観音開き 表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
	イベントガイド 2014.4～2014.9	A3 版横観音開き 表ｶﾗｰ･裏１色		25,000
研究報告	研究報告 18 号	A4 版一部ｶﾗｰ	214	650

(2)　出版物の主な配布先（研究報告を除く）

群馬県	市町村教育委員会、小中学校、高等学校、幼稚園、保育園、大学、短期大学、公民館、道の駅、地元企業、報道機関、ホテル、旅館、観光施設、児童館、病院
埼玉県	小中学校（一部）、公民館（一部）、旅行業者（一部）
東京都	市町村教委（一部）
栃木県	小中学校（足利・佐野地域）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
長野県	小中学校（一部）、市町村教委（一部）、旅行業者（一部）
その他	関東近県博物館、同美術館等

(3)　広報（情報発信）・広告・取材

見学予定の団体に対してプロモーション用ＤＶＤの貸出を行った。さらに写真･資料を雑誌･広報誌等に提供し、館および企画展を紹介した。

①　プロモーション用ＤＶＤの貸出

平成 25 年度貸出件数　71 件

②　活字媒体による情報資料掲載

ア　県広報等からの発信（計４２件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.4.3	サイエンス・サタデー「ツバメ型グライダーをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.4.5	自然教室「サンゴを使ったバンダナ染めに挑戦しよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.4.9	講演会「サンゴ礁について知ろう、サンゴ礁を守ろう！」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.4.14	ファミリー自然観察会「化石さがしに挑戦しよう」
群馬県	グラフぐんま	5 月	サイエンス・サタデー「ツバメ型グライダーを飛ばそう」
群馬県	ぐんま広報	2013.5.5	サイエンス・サタデー「火山灰から宝石を見つけよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.5.10	博物館の日　特別イベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.5.12	チャレンジ講座「渓畔林の植物コース」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.5.30	昼間の星の観察会
群馬県教育委員会	教育ぐんま	6 月号	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.6.1	サイエンス・サタデー「紙すきうちわをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.6.5	学芸員による解説ツアー
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.6.20	自然史博物館探検隊
群馬県	夏こそミュージアムへ行こう！	7 月	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」
群馬県	夏休みの科学イベントカレンダー	7 月～９月	自然史博物館夏休みイベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.7.2	自然教室「ペーパークラフトでよみがえる太古のクジラ」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.7.7	講演会「あらわれた動物・いなくなった動物」

上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.7.9	学芸員による解説ツアー
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.7.13	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.8.2	サイエンス・サタデー「アンモナイト化石のカラーレプリカをつくろう」
群馬県	ぐんま広報	2013.8.4	講演会「よみがえる化石たち　骨から読み解く太古の生きもの」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.8.18	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.9.4	サイエンス・サタデー「ビカリア化石のカラーレプリカをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.9.11	講演会「巨大津波が変えた海岸の自然環境」
群馬県	団塊世代向けチラシ	10 月	チャレンジ講座「カエルコース」
西部行政事務所	西部エリアガイド	10 月	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.10.3	講演会「お米の新しい品種ができるまで」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.11.4	学芸員解説ツアー
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.11.5	天体観望会
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.11.6	サイエンス・サタデー「わらで正月飾りをつくろう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.11.15	講演会「地下生菌から読み解くキノコ類の収斂進化」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2013.12.6	サイエンス・サタデー「松ぼっくりで動物をつくろう」
群馬県	グラフぐんま	1 月	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.1	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.5	天体観望会「月と冬の星たちを観察しよう」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.7	ミュージアムナイトツアー
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.8	バックヤードツアー６０
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.9	サイエンス・サタデー「からくりカレンダーをつくろう」

上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.1.10	講演会 「尾瀬ヶ原の湿原と植物」
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.2.9	バックヤードツアー６０
上毛新聞社	上毛新聞「ぐんまちゃんの掲示板」	2014.2.19	自然のフォトギャラリー 「わたしの尾瀬」
上毛新聞社	ググッとぐんま　春号	2014.3.1	自然史博物館の紹介

イ　上記以外からの発信（計４３件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内容
桐生タイムス社	タウンわたらせ	2013.4.27	ミュージアムショップの紹介
	ハロートラベル	4 月	自然史博物館の紹介
日本テレビ放送網	ぶらぶら美術・博物館プレミアムアートブック	4 月	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.4.25	博物館イベントの紹介
橋下新聞販売株式会社	はしもとランド	2013.4.25	自然史博物館の紹介
株式会社どりむ社	ブンブンどりむ	5 月	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.5.25	博物館イベントの紹介
株式会社未来社	群馬県版　道の駅夏号	2013.6.1	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.6.25	博物館イベントの紹介
たかさき子ども活動デー・インフォメーション	高崎市教育委員会	7 月号	自然史博物館イベントの紹介
全国科学博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2013.7.1	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.7.25	博物館イベントの紹介
株式会社群馬よみうり新聞社	群馬よみうり　human	2013.7.26	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」の紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2013.7.26	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.8.25	博物館イベントの紹介
株式会社群馬よみうり新聞社	群馬よみうり　human	2013.8.30	自然史博物館の紹介

株式会社未来社	群馬県版　道の駅秋号	2013.9.1	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」の紹介
群馬東部よみうり新聞社	ビバ！アミーゴ	2013.9.20	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.9.25	博物館イベントの紹介
たかさき子ども活動デー・インフォメーション	高崎市教育委員会	10 月号	自然史博物館イベントの紹介
富岡市	富岡周遊スタンプラリー	10 月	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.10.25	博物館イベントの紹介
ASA 富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2013.11.1	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」の紹介　他
日本博物館協会	博物館研究	2013.11.25	博物館イベントの紹介
日本博物館協会	博物館研究	2013.12.25	博物館イベントの紹介
たかさき子ども活動デー・インフォメーション	高崎市教育委員会	１月号	自然史博物館イベントの紹介
埼玉新聞社	埼玉新聞	2014.1.23	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」の紹介
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2014.1.24	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2014.1.25	博物館イベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2014.1.29	自然史博物館の紹介
富岡市	富岡まるごと展覧会	2 月	自然史博物館の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2014.2.25	博物館イベントの紹介
ASA 富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2014.2.28	企画展「生き物をまねる」の紹介
ＪＡＦ	ジャフプラス	3 月号	自然史博物館の紹介
生活協同組合コープぐんま	情報誌「ほっと 3 月」	3 月号	自然史博物館の紹介
全国博物館協議会	全科協ＮＥＷＳ	2014.3.1	館内リニューアル情報
ASA 富岡　中木新聞店	ニューライフ富岡	2014.3.1	自然史博物館　通信 （姉崎学芸員　執筆）
群馬東部よみうり新聞社	ビバ！アミーゴ	2014.3.8	企画展「生き物をまねる」の紹介

株式会社ニューズ・ライン	おでかけ群馬	2014.3.15	自然史博物館の紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2014.3.22	企画展「生き物にまねる」の紹介
日本博物館協会	博物館研究	2014.3.25	博物館イベントの紹介
上毛新聞社	上毛新聞「ぱれっと」	2014.3.28	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」
朝日ぐんま	朝日ぐんま	2014.3.28	企画展「生き物にまねる」の紹介

③　電波媒体による情報発信

ア　県広報等からの発信（計２５件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
小須田健志	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「サンゴ礁について知ろう、サンゴ礁を守ろう！」	2013.4.10
市川光早 佐々木尚子 林　夏希	群馬テレビ	ぐんま一番	自然史博物館の紹介	2013.4.19
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「炭酸カルシウムに刻まれた環境情報を読み解く」	2013.5.16
金井英男	ＦＭ石川	FUNFUnﾐｭｰｼﾞｱﾑ	自然史博物館の紹介	2013.6.11
戸所雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「炭酸カルシウムに刻まれた環境情報を読み解く」	2013.6.20
戸所雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「あらわれた動物・いなくなった動物」	2013.7.4
戸所雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	企画展「甦れ！カミツキマッコウ古代ゾウ」	2013.7.24
戸所雄彦	ラジオ高崎	夏休み子どもスペシャル	自然史博物館の紹介	2013.7.26
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「よみがえる化石たち　骨から読み解く太古の生きもの」	2013.8.2
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「よみがえる化石たち　骨から読み解く太古の生きもの」	2013.8.2
アナウンサー読み	ＦＭいせさき	ぐんま情報トッピング	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」	2013.10.2
アナウンサー読み	ＦＭいせさき	ぐんま情報トッピング	ミニミニ移動博物館　隕石編	2013.11.12
戸所雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「地下生菌から読み解くきのこ類の収斂進化」	2013.12.4

戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「地下生菌から読み解くきのこ類の収斂進化」	2013.12.5
アナウンサー読み	ＦＭいせさき	ぐんま情報トッピング	講演会「尾瀬ヶ原の湿原と植物」	2013.12.26
箱田陽子	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」	2014.1.17
箱田陽子	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	自然のフォトギャラリー「わたしの尾瀬」	2014.2.22
市川光早	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会２０１３	2014.2.13
戸所雄彦	ラジオ高崎	群馬県からのお知らせ	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.7
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.13
戸所雄彦	ＦＭいせさき	まん中・ぐんま元気情報	企画展「生き物をまねる」	2014.3.20
アナウンサー読み	ＦＭぐんま	あさナビ	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.21
アナウンサー読み	群馬テレビ	ジャスト６	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.21
アナウンサー読み	ＦＭぐんま	ぐんま情報トッピング	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.23
アナウンサー読み	ＦＭぐんま	ビタミンカフェ	講演会「ネイチャー・テクノロジーがつくる未来のくらし」	2014.3.25

イ　上記以外からの発信（計６件）

氏名	電波媒体	番組名等	放送内容	放送年月
小須田健志	高崎駅前ヤマダ電機大型ビジョン	広報	自然史博物館の紹介	4 月～
木村敏之	ＮＨＫ	ＮＨＫ第一首都圏ネットワーク	ジュラシックツリーについて	2013.5.10
小須田健志	テレビ東京	地球 137 億年	Ａコーナー、Ｄコーナーの紹介	2013.5.12
髙桒祐司 木村敏之	ＢＳ－ＴＢＳ	ニュース 少年探偵団	恐竜の化石について	2013.5.19
小須田健志	インターネット	グーグルストリートビュー	博物館内撮影	11 月～

髙桒祐司	インターネット	You Tube	悪魔的教育講座 恐竜編（１～３講座）	2013.4.10

④　取材対応（計２７件）

出版社等の名称	掲載誌（紙）	発行日（号）	内　　容
上毛新聞社	上毛新聞	2013.4.25	特別展示「トラの牙の化石」について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.4.25	講演会「サンゴ礁について知ろう、サンゴ礁を守ろう」について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.5.1	博物館中庭のジュラシックツリー開花について
読売新聞社	読売新聞	2013.5.13	「国際博物館の日」化石のレプリカ作りについて
産経新聞社	産経新聞	2013.5.16	博物館中庭のジュラシックツリー開花について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.6.1	出前授業「貝の分類に挑戦」について
産経新聞社	産経新聞	2013.5.16	特別展示「トラの牙の化石」について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.6.20	企画展キャラクターの愛称募集について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.6.25	県内最大級のドブガイ飼育展示について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.6.28	夏休み自由研究教室「いろいろな昆虫をつかまえよう」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.7.13	カミツキマッコウの生態復元模型の展示について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.7.19	古代クジラ愛称は「ガブリン」に決定
毎日新聞社	毎日新聞	2013.7.28	福島の親子 24 人夏休み自然史博物館を訪問
上毛新聞社	上毛新聞	2013.7.28	福島の親子 24 人夏休み自然史博物館を訪問
毎日新聞社	毎日新聞	2013.8.2	企画展「甦れ！カミツキマッコウ　古代ゾウ」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.8.11	自然史博物館、夏の企画展入館者２万人突破
上毛新聞社	上毛新聞	2013.8.14	黄金カエルの誕生についてコメント
上毛新聞社	上毛新聞	2013.9.28	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」の紹介
上毛新聞社	上毛新聞	2013.10.17	講演会「お米の新しい品種ができるまで」について

産経新聞社	産経新聞	2013.10.18	企画展「コレもソレもアレもみんなイネ科」の紹介
埼玉新聞社	埼玉新聞	2013.12.11	太古の埼玉にはヒグマがいたについてのコメント
千葉日報	千葉日報	2013.12.20	ネギ畑からクジラの化石発見についてのコメント
東京新聞	東京新聞社	2013.12.20	ネギ畑からクジラの化石発見についてのコメント
上毛新聞社	上毛新聞	2013.12.22	クリスマス、トナカイの展示について
上毛新聞社	上毛新聞	2013.7.2	LED 証明にてリニューアルオープン
上毛新聞社	上毛新聞	2014.1.28	尾瀬湿原における深刻なシカ食害について
上毛新聞社	上毛新聞	2014.3.16	企画展「生き物にまねる」のオープニングの紹介

⑤　ビデオグラファーズオンライン作成の当館イメージビデオについて、当館ＨＰならびに Youtube で公開をしている。

(4)　書籍・雑誌記事の監修

自然史科学の普及、ならびに当館の広報を目的として、「群馬県立自然史博物館」として書籍や雑誌の監修を実施した（これまでに監修したものも含む）。

書籍

・「よみがえる恐竜・古生物　超ビジュアル CG 版」
　著　者: ティム・ヘインズ　＆　ポール・チャンバース（翻訳: 椿　正晴）
　出版社: ソフトバンククリエイティブ
　ページ数: 216 ページ
　発行日: 2006 年 7 月 15 日
　備　考: 10 周年記念出版物

・「恐竜ハンター」
　著　者: ローウェル・ディンガス　＆　マーク・ノレル（翻訳: 椿　正晴）
　出版社: ソフトバンククリエイティブ
　ページ数: 64 ページ
　発行日: 2008 年 11 月 15 日

・「もしも？の図鑑　恐竜の飼い方」
　著　者: 土屋　健
　出版社: 実業之日本社
　ページ数: 128 ページ
　発行日: 2013 年 3 月 19 日

・「エディアカラ紀・カンブリア紀の生物（生物ミステリープロ）」
　著　者: 土屋　健
　出版社: 技術評論社

ページ数: 192 ページ
発行日: 2013 年 11 月 12 日

・「オルドビス紀・シルル紀の生物（生物ミステリープロ）」
著　者: 土屋　健
出版社: 技術評論社
ページ数: 144 ページ
発行日: 2013 年 11 月 12 日

雑誌

・「子供の科学 2014 年 1 月号」
監修記事: 特集　化石をめぐるミステリー
出版社: 誠文堂新光社
掲載ページ: 12-21 ページ
発行日: 2013 年 12 月 10 日

7　ボランティア等支援活動

(1)　ボランティア活動

① ボランティア登録状況

活動者	休止者	合計	新規登録者	辞退者
94 名	25 名	119 名	9 名	7 名

② ボランティア活動状況　（登録人数は重複あり）

分　　野	登録人数	延活動回数
解　説	29名	250
資料整理	25名	147
発　送	21名	35
サイエンス・サタデー	38名	206
合　　計	113名	638

③ ボランティア基礎学習会

ボランティアの基礎知識向上と生涯教育の一環、ボランティアと職員との交流をねらいとして基礎学習会を行った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
第 1 回 企画展展示内容について	学芸係職員 木村敏之	平成 25 年 8 月 4 日(日)	12 名
第 2 回 ロケットが拓く地球惑星の環境観測技術	解説ボランティア 佐藤明良	平成 26 年 2 月 15 日(土) 大雪のため延期	10 名 予定
第 3 回 束柱類の今	名誉館長 長谷川善和	平成 26 年 3 月 9 日(日)	19 名

④ サタデーボランティア新規メニュー検討会

新規のメニューの説明内容・作成方法等を習得するとともに、改善点を話し合った。

テーマ	講　師	日　時	参加者
紙すきうちわをつくろう	教育普及係 戸所雄彦	平成 25 年 5 月 18 日(土)	4 名
竹で筆をつくろう	学芸係 大森威宏	平成 25 年 7 月 20 日(土)	8 名
わらで正月飾りをつくろう	教育普及係 大森威宏	平成 25 年 10 月 12 日(土)	4 名
チリメンモンスターをゲットしよう	教育普及係 戸所雄彦	平成 26 年 2 月 15 日(土) 大雪のため中止	6 名 予定

⑤ ボランティア全体会

ボランティア全体会を 1 回実施した。内容は、名誉館長を含めた館職員といっしょに、一年間の活動の反省と課題について意見交換を行った。

日　　時	平成 26 年 3 月 9 日(日)10:00～12:00
参加人数	ボランティア 19 名、 館職員 3 名
場　　所	大会議室

(2)　友の会

① 平成 25 年度会員数　318 名

〈内 訳〉

個人会員	48 名
家族会員	62 家族
賛助会員	6 団体・個人

② 総会・講演会

日　　時	2013 年 5 月 12 日(日)
参加人数	18 名
講　　師	館長　長谷川善和
演　　題	氷河期における日本の大型肉食動物を探る

③ 友の会博物館等視察研修会

日　　時	2013 年 10 月 20 日(日)　　8:00～18:00
場　　所	なかがわ水遊園，葛生化石館
参加人数	27 名

④ フィールド活動・体験活動

タイトル	昆虫に関わる体験活動（雨天中止）	コケの観察会	昼間の星を観察しよう（雪のため中止）
講　師	学芸係　高橋克之	古木達郎(千葉中央博)	ぐんま天文台職員
日　時	6 月 16 日(日) 10:00～12:00	11 月 17 日(日) 13:00～16:00	2 月 9 日（土） 9：00～12：00
参加者	15 名（予定）	12 名	8 名（予定）

⑤ 友の会通信

	第 29 号	第 30 号
発　行　日	8 月 22 日(木)	2 月 1 日(土)
編集委員会	5 月 23 日(木)	11 月 27 日(水)
場　　所	中会議室	中会議室
発行部数	700 部	700 部

Ⅲ　資料

１　職員の委員会等委員就任状況

職・氏名	名　　称	依頼先	期　　間
名誉館長　　長谷川善和	埼玉県立自然の博物館 資料評価委員会委員	埼玉県立 自然の博物館	
	日本蛇族学術研究所 理事	日本蛇族学術研究所	
	長野県飯田市美術博物館 顧問	飯田市	
	日本洞窟学研究所 理事	岩手県岩泉町	
館長　斉藤雅文	群馬県ツキノワグマ保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンザル保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンイノシシ保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンジカ保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県カワウ保護管理検討会	群馬県環境森林部	H25.4.1～
主幹　高橋克之	第 57 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H25.10.11
主幹　大森威宏	前橋市自然環境保全推進委員	前橋市生活環境部	H17.4.1～
	群馬県自然環境審議会委員	群馬県環境森林部	H21.3.25～
	群馬県尾瀬保護専門委員	群馬県知事	H23.4.1～
	群馬県希少野生動植物保護条例（仮称）検討委員会	群馬県環境森林部	H22.12.17～
	すげの会幹事	すげの会	H20.5.7～
	東北植物研究編集委員	東北植物研究会	H25.12～
主幹（学芸員）　髙桒祐司	ジオパーク下仁田協議会・委員	下仁田町	H22.3.2～
	自然史学会連合・博物館部会委員	自然史学会連合	H22.1.1～
	化石研究会・事務局	化石研究会	H24.6.9～
	化石研究会 ・化石研究会誌第 46 巻 2 号特集編集委員	化石研究会	H25.6.1～ H26.3.31
	日本古生物学会・欧文誌幹事	日本古生物学会	H25.9.9～
	日本古生物学会・化石友の会担当幹事	日本古生物学会	H24.4.10 ～H25.9.8
	日本古生物学会・将来計画委員会委員	日本古生物学会	H24.2.6～
	日本地質学会 ・中期ビジョンワーキンググループ委員	日本地質学会	H25.4～
	財団法人 自然史科学研究所・評議員	(財)自然史科学研究所	H25.8.4 ～10.31
主幹（学芸員）　篠原克実	第 57 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H25.10.11
副主幹（学芸員） 木村敏之	瑞浪市化石博物館・専門委員	瑞浪市化石博物館	H.13.4.1～
	「全国的な自然史系標本セーフティネット構築」ワーキンググループ委員	国立科学博物館	H23.9.10～
	化石研究会・事務局	化石研究会	H24.6.9～
主任（学芸員）　姉崎智子	群馬県ツキノワグマ保護管理検討会 オブザーバー	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンカモシカ保護管理検討会 オブザーバー	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンザル保護管理検討会 オブザーバー	群馬県環境森林部	H25.4.1～

	群馬県ニホンイノシシ保護管理検討会 オブザーバー	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県ニホンジカ保護管理検討会 オブザーバー	群馬県環境森林部	H25.4.1～
	群馬県希少野生動植物保護条例（仮称） 検討委員会委員	群馬県環境森林部	H25.3.3～
	環境省鳥獣保護管理調査コーディネーター	環境省自然環境局	H22.6.17～
	日本哺乳類学会　種名・標本委員会委員	日本哺乳類学会	H23.11～
	日本哺乳類学会　イノシシ部会委員	日本哺乳類学会	H25.9.6～
主任（学芸員）　菅原久誠	第 57 回日本学生科学賞・県審査会審査員	読売新聞社	H25.10.11

２　職員の研修会等講師としての派遣の状況

研　修　会　等　名　称	主　　催　　者	期　　日	派遣職員
論文査読: 「Field Biologist」誌	群馬野外生物学会	H.25.5.	大森威宏
カヤツリグサ科植物現地研修会（軽井沢町内）	軽井沢サクラソウ会議	H.25.6.1	大森威宏
出前なんでも講座「群馬の絶滅危惧植物」	桐生市中央公民館	H.25.10.11	大森威宏
論文査読: 化石（日本古生物学会和文誌）	日本古生物学会	H.25.8.	髙桒祐司
論文査読: 化石研究会会誌	化石研究会	H.25.10.	髙桒祐司
論文査読: 千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	H.25.11	髙桒祐司
論文査読: 御所浦白亜紀資料館報	御所浦白亜紀資料館	H.26.2	髙桒祐司
第 26 回東京国際ミネラルフェア特別展「ザ・シャーク」 講演会「サメの歯化石よもやまばなし」	東京国際ミネラル協会	H.25.6.8	髙桒祐司
出前なんでも講座 「群馬の化石（南陽台と馬庭周辺の地質と化石）」	南陽台区長会	H.25.7.27	髙桒祐司
特別企画展 「恐竜ラボ～恐竜から鳥類への進化～」講演会	佐久市子ども未来館	H.25.8.7	髙桒祐司
職業人講話	群馬県立富岡高等学校	H.25.9.18	髙桒祐司
出前なんでも講座「群馬の化石」	渋川市立金島中学校	H.25.7.27	髙桒祐司
千葉県柏市における化石発掘調査指導	千葉県立中央博物館	H.25.12.13 ～H26.1.8	髙桒祐司
富岡学（自然史） 「海だった富岡①　化石２　サメ」	富岡市教育委員会	H.26.3.23	髙桒祐司
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H.25.4.	木村敏之
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H.25.7.	木村敏之
論文査読: Paleontological Research	日本古生物学会	H.25.9.	木村敏之
論文査読: 日本セトロジー研究	日本セトロジー研究会	H.25.4.	木村敏之
「アキシマクジラを知る」	東京都昭島市	H.25.7.31	木村敏之
千葉県柏市における化石発掘調査指導	千葉県立中央博物館	H.25.12.13 ～H26.1.8	木村敏之
出前なんでも講座 「群馬に海があった頃～それから～」	明寿大学	H.25.12.17	木村敏之
富岡学（自然史） 「海だった富岡①　化石１　クジラ」	富岡市教育委員会	H.26.3.2	木村敏之
「ぐんまの哺乳類」	観音山ネットワーク	H.25.7.20	姉崎智子
インタープリター養成講座研修 「動植物と食物連鎖」	ぐんま緑の インタープリター協会	H.25.10.6	姉崎智子
「群馬の哺乳類　里山・外来種」	観音山ネットワーク	H.25.10.19	姉崎智子

安中市小・中理科主任会	安中市小・中理科主任会	H.25.8.6	菅原久誠
ぐんま天文台ミニミニ移動博物館特別講演会 「地球の石を見てチャレンジする宇宙生物学」	ぐんま天文台	H.25.10.17	菅原久誠

３　職員の論文発表等

(1)　論文等

職・氏名	論　　題	発表誌	発表年
名誉館長 長谷川善和	北海道苫前郡羽幌町築別川流域の三毛別層上部層より産出した *Paleoparadoxia* について.（長谷川善和・浅見清秀・木村敏之・松井久美子・甲能直樹）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 69-76.	2014
	栃木県の上部中新統よりヒゲクジラ類化石の産出.（木村敏之･長谷川善和･柏村勇二）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18):87-100.	2014
	New Titanosauriform sauropod dinosaur material from the Cenomanian Morocco: Implications for paleoecology and sauropod diversity in the Late Cretaceous of North Africa. (Lamanna, Matthew, C. and Hasegawa Yoshikazu)	Bulletin of Gunma Museum of Natural History, (18): 1-19.	2014
	Comparative osteology between *Diomedea*, *Phoebastria* and *Thalassarche* (albatrosses formerly settled in "*Diomedea*"). (Matsuoka Hiroshige and Hasegawa Yoshikazu)	Bulletin of Gunma Museum of Natural History, (18): 35-64.	2014
	栃木県佐野市出流原町の片柳石灰工業採石場から産出したヤベオオツノジカ化石群の概要.（髙桒祐司・長谷川善和･宮崎重雄・奥村よほ子・片柳岳巳）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 179-191.	2014
主幹　高橋克之	上野村の昆虫類.（高橋克之）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 46-64.	2014
	上野村の両生類.（高橋克之）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 65.	2014
主幹　大森威宏	群馬県南西部・安中市大谷地区の竹林の拡大過程について.（大森威宏）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18)：151-156 .	2014
	上野村地域学術調査　調査の経緯・目的.（大森威宏）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 1-2.	2014
	上野村における石灰岩地に特異的な植物の分布.（大森威宏）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 16-19.	2014
	上野村における絶滅危惧植物に対するシカの食害の影響について.（大森威宏）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 20-26.	2014
	特集　環境省３次レッドリスト見直しのための調査（植物Ｉ）　群馬県－県 RDB 改訂作業と重なった環境省レッドリスト見直し.（大森威宏）	東北植物研究, (17): 71-73.	2013
	尾瀬ヶ原におけるオゼコウホネ *Nuphar pumilum* (Timm) DC var. *ozeensis* (Miki) H.Hara（広義）の保全生物学的研究１ 分布変化と種子生産について.（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (36):73-78.	2014

	尾瀬沼周辺におけるカヤツリグサ科植物の分布の変化について（特にシカの影響と関連して）.（大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (36):69-52.	2014
	尾瀬ヶ原山ノ鼻及び背中アブリ田代におけるシカ攪乱地の植生の変化 2—永久方形枠設置後 1 年間の植生変化と山ノ鼻地区の大規模攪乱地について—.（大森威宏・高橋あかね）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (36):79-89.	2014
	尾瀬の植生と植物相ⅩVII－泉水田代・西中田代の植生－.（鈴木伸一・吉井広始・片野光一・大森威宏）	尾瀬の自然保護-群馬県特殊植物等保全事業調査報告書-, (36):49-63.	2014
	尾瀬の植物に関する分類学的覚書(1)　ワレモコウ属，ミヤマハナワラビ.（黒沢高秀・大森威宏・猪狩貴史・根本秀一・山下由美）	尾瀬の保護と復元-福島県特殊植物等保全事業調査報告書-, (31):　**-**.	2014
主幹（学芸員） 髙桒祐司	南米ペルー、ピスコ層（後期中新世）産ナガスクジラ類全身骨格化石の周辺からのサメ類(“イスルス”・ハスタリス: 軟骨魚綱ネズミザメ科)の密集した産出.（髙桒祐司）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 77-86.	2014
	栃木県佐野市出流原町の片柳石灰工業採石場から産出したヤベオオツノジカ化石群の概要.（髙桒祐司・長谷川善和･宮崎重雄・奥村よほ子・片柳岳巳）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 179-191.	2014
	群馬県多野郡上野村内における地質学的事象の見学候補地に関する調査.（髙桒祐司）	群馬県立自然史博物館　自然史調査報告書, (6): 9-15.	2014
	山口県下関市彦島西山地域の漸新統芦屋層群産出の *Parotodus benedeni* の歯化石について.（深田佳作・亀谷敦・髙桒祐司・藤井孝二）	山口県立山口博物館研究報告, (40):9-20.	2014
主幹　杉山直人	上野村の無脊椎動物（陸産貝類）（杉山直人）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 41-45.	2014
主幹　篠原克美	上野村の大型菌類（篠原克実・國友幸夫・坂田春生・霜田克彦）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 27-40.	2014
副主幹（学芸員） 木村敏之	栃木県の上部中新統よりヒゲクジラ類化石の産出（木村敏之･長谷川善和･柏村勇二）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 87-100.	2014
	北海道苫前郡羽幌町築別川流域の三毛別層上部層より産出した *Paleoparadoxia* について.（長谷川善和・浅見清秀・木村敏之・松井久美子・甲能直樹）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18): 69-76.	2014
	上野村の小型哺乳類. (木村敏之)	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 66-71.	2014
	群馬県立自然史博物館の海棲哺乳類標本（木村敏之）	勇魚（59）:7-10.	2014

主任（学芸員） 姉崎智子	ミトコンドリア DNA ハプロタイプ分析による群馬県ツキノワグマ集団の遺伝的多様性. （佐々木剛・和久井諒・和久大介・米澤隆弘・姉崎智子）	東京農業大学農学集報, 58(2):49-56.	2013
	Size and shape variation of mandible and mandibular teeth in the Ryukyu wild boar (*Sus scrofa riukiuanus*). (Anezaki, T., Hongo, H. and Kurosawa, Y.)	The Quaternary Research, 52 (6): 255-264.	2013
	群馬県に生息するツキノワグマの遺伝的集団構造.（佐々木剛・和久井諒・小澤咲久美・渡部千晶・大井章豊・米澤隆弘・姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18):157-164.	2014
	群馬県嬬恋村と昭和村における ニホンカモシカ捕獲個体の繁殖状況と食性. （姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18):173-178.	2014
	群馬県において捕獲されたツキノワグマの性別と年齢−大量出没年と平常年の比較−. （姉崎智子）	群馬県立自然史博物館研究報告, (18):197-201.	2014
	カメラトラップ法とライトセンサス法による 上野村の哺乳類.（姉崎智子）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 72-78.	2014
主任（学芸員） 菅原久誠	Formation process of pyrite polyframboid based on the heavy-metal analysis by micro-PIXE. (Sugawara, H., Sakakibara, M., Belton, D. and Suzuki, T.)	Environmental Earth Scineces, 69: 811-819.	2013
	Recrystallized microbial trace fossils from metamorphosed Permian basalt, southwestern Japan. (Sugawara, H., Sakakibara, M. and Ikehara, M.)	Planetary and Space Scinece, published online 2013 September 18, doi: 10.1016/j.pss.2013.09.018	2013
	Filamentous microbial fossil from low-grade metamorphosed basalt in northern Chichibu belt, central Shikoku, Japan. (Sakakibara, M., Sugawara, H., Tsuji, T. and Ikehara, M.)	Planetary and Space Scinece, published online 2013 May 08, doi: 10.1016/j.pss.2013.05.008	2013
	上野村北西部の地質及び岩石. （菅原久誠）	群馬県立自然史博物館 自然史調査報告書, (6): 3-8.	2014

(2)　学会等発表

職・氏名	発　　表　　題	学会名等	発表年
主幹　高橋克之	上野村の昆虫.（高橋克之）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
主幹　大森威宏	群馬県上野村の石灰岩峰に生育するスゲ属ヒカゲスゲ節とヒエスゲ節植物. （大森威宏）	第 24 回すげの会全国大会 （於: 富山県高岡市）	2013.6.8
	奥多野地域の石灰岩地に特異的な植物とその保全.（大森威宏）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
主幹（学芸員） 髙桒祐司	群馬県中之条町の沢渡層（中新世）から産出した褐藻類化石. （髙桒祐司・唐澤　寛・吉﨑　誠）	化石研究会第 31 回総会・学術大会（於: 下仁田町）[ポスター]	2013. 6. 1- 2.

	千葉県の更新統下総層群木下層よりヒゲクジラ類化石の産出.（木村敏之・加藤久佳・石井明夫・伊左治鎭司・高桑祐司・岡崎浩子）	日本古生物学会第 163 回例会 （於: 兵庫県立人と自然の博物館）	2014 1.24-26
主幹　杉山直人	群馬県上野村に生息する陸産貝類について＜2011～2013 年の調査より＞.（杉山直人）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
主幹　篠原克美	上野村における大型菌類の調査. （篠原克実）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
副主幹（学芸員） 木村敏之	千葉県の更新統下総層群木下層よりヒゲクジラ類化石の産出.（木村敏之・加藤久佳・石井明夫・伊左治鎭司・高桑祐司・岡崎浩子）	日本古生物学会第 163 回例会 （於: 兵庫県立人と自然の博物館）	2014 1.24-26
	群馬県立自然史博物による総合学術調査～小型哺乳類調査を例として～.（木村敏之）	第 16 回自然系調査研究機関 調査研究・活動事例発表会	2013. 11.6-7
	群馬県上野村における小型哺乳類調査. （木村敏之）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
主任（学芸員） 姉崎智子	カメラトラップ法による上野村の哺乳類. （姉崎智子）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
	ミトコンドリア DNA 部分配列に基づく群馬県ツキノワグマの集団構造. （中野 敬太・和久 大介・米澤 隆弘・姉崎智子・佐々木 剛）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
	群馬県内における野生鳥獣への放射性物質汚染状況について. （杢代俊枝・姉崎智子・水谷富哉・苫米地達生・田中祐子・松田錦弥・小畑　敏・堀口浩司・木村　優）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16
主任（学芸員） 菅原久誠	Identification of microbial fossils from metabasalts based on petrographical and geochemical studies. (Sugawara, H., Sakakibara, M. and Ikehara, M.)	The International Biogeoscience Conference (at Nagoya University)	2013. 11.1-4.
	上野村北西部におけるリソダイバーシティ. （菅原久誠）	ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2013 （於: 群馬県立自然史博物館）	2014.2.16

(3) 著書・訳書・監修

氏　　名	書　　誌　　題	発　　行　　所	発表年	備考
主幹（学芸員） 髙桒祐司	化石ウォーキングガイド 関東甲信越版 （分担項目: 梅田町、吉井町）	丸善出版(株)	2013.6	分担執筆

(4) その他（自然史に関する解説や意見のマスコミ等への発表・表彰など）

氏　　名	論　　題	発表誌／発行所	発表年	備考
主幹　大森威宏	オオカワヂシャについて	ニュース・たっぷり静岡 （NHK 静岡放送局）	2013.5	
	妙義山の植物	さわやか自然百景 妙義山（NHK）	2013.11.30	
主幹（学芸員） 髙桒祐司	ウロコは語る 「フジクジラ」 「ラブカ」 「サメ類の歯とウロコの関係」 「サガミザメ」 「ユメザメ」 「イチハラビロウドザメ」 「ビロウドザメ」 「モミジザメ」	月刊 AQUALIFE ((株)エムピージェー)	2013.7.11 2013.8.11 2013.9.11 2013.10.11 2013.11.11 2013.12.11 2014.1.11 2014.2.11	共著
主任（学芸員） 姉崎智子	「企画展の準備」 「クリスマスのトナカイ」 「ぐんまの自然の「いま」を伝える」 「大雪お見舞い」	館通信／朝日ぐんま	2013.11.1 2013.12.1 2013.2.1 2014.3.1	
	世界の動物園・博物館 「群馬県立自然史博物館」	Bears Japan, 14(1):18	2013.8	

4　職員の視察・研修会等への参加

氏　　名	事　項	行き先	概　　要	年月日	備考
名誉館長 長谷川善和 次長　金井英男	博物館視察	北九州市立いのちのたび博物館	平成 20 年度から開始された「今後の博物館のあり方」の検討、平成 24 年度の「博物館の展示改修計画」に関わる、博物館の組織運営や収蔵品の管理等	2014.2.19-2.20	
主幹　大森威宏	研修	国立科学博物館	第 21 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会～自然史標本のデジタル化と情報発信を考える～	2013.6.14	
主幹　戸所雄彦	博物館視察・研修	兵庫県立人と自然の博物館、東海大学海洋学部水族館、博物館	プラスティネーション作成研修、展示方法、教育普及事業視察	2014.3.4-3.5	
主任（学芸員） 姉崎智子	博物館視察・研	兵庫県立人と自然の博物館、東海大学海洋学部水族館、博物館	プラスティネーション作成研修、展示方法、教育普及事業視察	2014.3.4-3.5	

５　視察受入

番 号	受 入 日	団　　体　　名	人　数
1	4 月 12 日	板橋区教育委員会	59
2	4 月 17 日	台東区教育委員会	12
3	5 月 9 日	中野区教育委員会	34
4	5 月 29 日	文京区教育委員会	21
5	7 月 23 日	板橋区教育委員会	30
6	8 月 23 日	千代田区教育委員会	13
7	3 月 28 日	千代田区教育委員会	7
合　　計　　人　　数			176

６ 教育普及事業利用者数実績一覧

事　業　名	項　目	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	累計
企画展記念講演・関連行事等	開催回数（回）	1	1	1	3	3		2	2				1	14
	参加者数（人）	77	42	15	82	112		41	28				42	439
ファミリー自然観察会	開催回数（回）	1			1	2		1	1					6
	参加者数（人）	29			25	64		13	12					143
天体観望会	開催回数（回）			1					1	1	1			4
	参加者数（人）			13					24	28	26			91
自然史講座	開催回数（回）			1			1			1	1			4
	参加者数（人）			34			49			35	44			162
移動博物館	開催回数（回）			2			3	2						7
	参加者数（人）			171			5657	562						6390
ミュージアムスクール	開催回数（回）		1	4	4	4	2	3	2	2	3	3	4	32
	参加者数（人）		16	18	19	22	12	14	10	9	15	10	19	164
サイエンス・サタデー	開催回数（回）	4	4	4	4	5	4	3	5	3	4	2	5	47
	参加者数（人）	136	217	122	209	315	139	119	139	64	113	28	146	1747
館内授業	開催回数（回）	3	16	9	6		10	6	6			3	2	61
	参加者数（人）	123	446	358	236		430	189	202			154	81	2219
定時解説	開催回数（回）	56	48	22	53	80	58	42	34	18	25	26	43	505
	参加者数（人）	167	186	84	218	369	301	136	76	57	71	87	134	1886
随時解説	開催回数（回）	1726	2076	1091	1478	3097	1407	1886	1328	624	825	471	1222	17231
	参加者数（人）	4070	5112	2684	3603	7084	3405	4677	3304	1481	1960	1107	2867	41354
紙芝居	開催回数（回）	4	3	4	4	5	4	3	5	2	4	2	4	44
	参加者数（人）	61	84	69	101	109	112	60	90	30	114	12	88	930
一般向けスポット	開催回数（回）	15	11	4	3	1	2		3	2	3	2	13	59
	参加者数（人）	80	60	15	38	3	6		11	5	24	9	35	286
博物館探検隊	開催回数（回）				1									1
	参加者数（人）				30									30
ビデオ上映会	開催回数（回）	15	29	10	22	51	5	5	6	7	8	7	12	177
	参加者数（人）	253	453	193	315	1420	81	61	75	80	29	57	165	3182
ミュージアムナイトツアー	開催回数（回）										1	1		2
	参加者数（人）										43	31		74
バックヤードツアー	開催回数（回）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1	1	14
	参加者数（人）	15	15	12	9	12	12	10	16	9	39	11	12	172
高校生学芸員	開催回数（回）		1	11	8	9	8	7	8	6	7	9	6	80
	参加者数（人）		11	18	13	11	9	9	11	9	8	12	19	130
出前授業	開催回数（回）		2	2	4	3	2	10	4	3	5	8	1	44
	参加者数（人）		82	49	138	181	129	1220	195	52	160	368	112	2686
教職員実技研修会	開催回数（回）					1						1		2
	参加者数（人）					4						8		12
チャレンジ講座	開催回数（回）	2	1	1	1			1					3	9
	参加者数（人）	12	6	5	5			5					9	42
その他イベント	開催回数（回）		6	1	2	3		6	9	5				32
	参加者数（人）		792	34	46	99		160	192	160				1483

7　来館者アンケート集計結果

実施日：8/15（木）8/16（金）8/17（土）8/29（木）11/3（日）11/10（日）11/16（土）
回答数：206 人（男 100 人　女 106 人）

来館者データ（数値は%）

住　所	
群馬県	65.5
埼玉県	16.0
千葉県	1.0
長野県	4.9
東京都	5.3
栃木県	1.0
神奈川県	1.5
その他	4.9

誰と来た	
家族で	89.3
友達と	7.8
一人で	1.9
その他	1.0

どんな目的で	
常設展を	53.4
企画展を	19.4
両方を	23.8
その他	3.4

博物館について（数値は%）

何で知ったか			
家族や友達	23.8	るるぶ群馬・まっぷる群馬	6.3
インターネット	18.9	新聞	1.0
ポスターチラシ	30.1	テレビ	1.9
その他の雑誌	3.4	その他	14.6

来館数	
初めて	41.7
２～４回	33.5
５回以上	24.8

職員の対応	
良かった	69.4
ふつう	30.6
よくなかった	0.0

館の施設	
良かった	80.6
ふつう	18.4
よくなかった	1.0

当館の展示は	
良かった	91.3
ふつう	8.3
よくなかった	0.5

８ 学校アンケート集計結果

アンケート提出227校（県内93校・県外134校）

学校の所在	
県内	93
県外	134
東京	68
埼玉	49
長野	9
千葉	4
神奈川	3

来館した学年					
小1	2.6%	中1	4.3%	特別支援	0.4%
小2	3.0%	中2	1.3%	不明	29.2%
小3	5.2%	中3	0.4%		
小4	6.4%	高1	2.6%		
小5	32.2%	高2	1.3%		
小6	9.9%	高3	1.3%		

見学時間 （滞在時間）	
1時間以下	12.0%
1時間～1時間30分以下	31.5%
1時間30分～2時間以下	22.2%
2時間～2時間30分以下	10.6%
2時間30分～3時間以下	7.4%
3時間～3時間30分以下	7.9%
3時間30分～	5.6%
不明	2.8%

学校としての来館数	
初めて	19.9%
来館したことがある	78.8%
不明	1.3%

来館した人の情報源	
前の学校で来館	22.2%
他の先生から聞いた	18.5%
個人的に来館	14.8%
ホームページ	3.7%
旅行会社から聞いた	5.6%
当館のチラシ	24.1%
その他	11.1%

来館の観点	
展示の内容 （学習効果等）	54.2%
コースの設定 （学校からの距離、旅行目的地の途上にある等）	36.9%
上記の両方	7.1%
その他	1.8%

当館以外の目的場所			
他にも目的場所がある	82.7%	当館のみである	17.3%

「他にも目的場所がある」 学校の目的場所

長野方面 21.0% 富岡製糸場 20.5%
榛名方面 （榛名山、榛名湖、伊香保グリーン牧場） 13.2%
富士重工矢島工場 9.8% 群馬サファリパーク 6.3% 群馬県庁 4.9%
鬼押し出し 2.0% 利根方面 2.0%
こんにゃく博物館 1.5% 栃木方面 1.5%
県立歴史博物館 1.5% 妙義方面 1.5%
赤城方面 1.0% 関東ふれあいの道 1.0% 観音山古墳 1.0%
その他（県内） 10.2% その他（県外） 1.5%

今後の当館利用希望			
あり	99.5%	なし	0.5%

9 入館者数一覧[年間]

年 月	開館日数	入館者数 入館者計	有料入館者数 有料計	個人計	一 般	大・高	小 中			団体計	一 般	大・高	小 中	無料入館者数 無料計	個人計	幼 児	小 中	65歳	身障者	その他	招待券	団体計	学 校	社会教育	特別券
8年度計	132	120,712	72,274	67,465	50,455	1,626	15,384			4,809	3,692	760	357	48,438	39,840		3,931	11,864	1,232	22,813		8,598	6,478	2,120	0
9年度計	301	207,688	120,399	108,699	76,721	2,828	29,150			11,700	6,449	2,200	3,051	86,119	59,045		4,316	14,454	4,092	36,183		27,074	22,806	4,268	1,170
10年度計	304	165,071	87,078	75,535	53,940	1,891	19,704			11,543	4,872	2,112	4,559	77,993	55,216		3,380	12,856	3,445	35,535		22,777	20,533	2,244	0
11年度計	303	150,211	76,710	65,686	45,978	1,715	17,993			11,024	3,459	3,001	4,564	73,501	54,248		3,209	11,391	2,737	36,911		19,253	18,059	1,194	0
12年度計	301	156,633	51,108	46,126	44,700	1,426				4,982	2,862	2,120		104,028	77,600	23,335	24,971	10,280	1,935	13,038	4,041	26,428	25,831	597	1,497
13年度計	303	159,416	56,190	50,893	49,392	1,501				5,297	3,389	1,908		102,897	78,551	24,738	27,022	5,569	866	16,533	3,823	24,346	24,346		329
14年度計	301	166,989	63,759	58,504	56,701	1,632		171	0	5,255	3,209	2,046		103,034	77,599	26,014	32,025		1,314	14,647	3,599	25,435	25,435		196
15年度計	298	171,697	61,013	55,518	53,806	1,493		219	0	5,495	4,428	1,067		110,405	81,682	27,054	33,487		1,446	15,765	3,930	28,723	28,723		279
16年度計	292	160,456	57,588	52,009	50,340	1,468		201	0	5,579	4,333	1,246		102,581	76,587	26,392	30,807		1,613	13,820	3,955	25,994	25,994		287
17年度計	292	153,613	56,936	51,960	50,165	1,630		165	0	4,976	3,589	1,387		96,506	71,646	24,784	28,155		1,714	12,656	4,337	24,860	24,860		171
18年度計	293	166,629	62,612	56,048	54,364	1,531		153	0	6,564	4,852	1,712		103,843	74,550	29,129	29,692		1,671	11,038	3,020	29,293	29,293		174
19年度計	292	161,626	60,907	54,693	52,893	1,630		170	0	6,214	5,561	653		100,590	72,899	28,633	27,860		1,798	11,470	3,138	27,691	27,691		129
20年度計	291	146,170	52,475	47,588	45,761	1,610		212	5	4,887	4,572	315		93,578	64,706	24,564	25,162		1,693	10,501	2,786	28,872	28,872		117
21年度計	290	162,760	62,780	58,346	55,752	2,295		297	2	4,434	3,413	1,021		99,858	71,946	25,663	30,545		1,749	10,544	3,445	27,912	27,912		122
22年度計	288	148,697	57,050	51,172	48,807	2,043		320	2	5,878	4,685	1,193		91,499	64,193	22,853	25,993		1,867	10,654	2,826	27,306	27,306		148
23年度計	291	177,698	68,720	61,269	58,508	2,483		275	3	7,451	6,183	1,268		108,815	81,997	28,783	33,614		2,765	11,497	5,338	26,818	26,818		163
24年度計	290	182,038	73,849	67,598	64,107	3,059		431	1	6,251	4,676	1,575		107,984	80,489	27,846	33,372		2,733	11,621	4,917	27,495	27,495		205
								友の会																	
25年度								一般	高大																特別券
4月	26	13,876	6,330	5,788	5,625	162		1	0	542	109	433		7,528	6,187	2,238	2,707		203	681	358	1,341	1,341		18
5月	27	20,044	8,173	7,238	6,942	293		3	0	935	693	242		11,858	7,984	3,255	3,060		174	941	554	3,874	3,874		13
6月	19	9,132	3,407	3,234	3,114	109		11	0	173	90	83		5,717	3,571	1,527	1,400		138	484	22	2,146	2,146		8
7月	26	19,138	6,014	5,627	5,426	174		27	0	387	276	111		13,108	7,863	2,723	3,037		349	1,447	307	5,245	5,245		16
8月	31	30,665	13,989	13,350	12,648	667		35	0	639	502	137		16,657	16,155	5,489	8,123		439	1,096	1,008	502	502		19
9月	25	14,229	5,416	5,344	5,034	275		35	0	72	51	21		8,794	5,473	2,250	1,868		267	839	249	3,321	3,321		19
10月	27	20,333	4,661	3,805	3,636	140		28	1	856	758	98		15,662	8,143	2,412	1,615		169	3,743	204	7,519	7,519		10
11月	26	11,428	4,343	3,717	3,526	169		21	1	626	518	108		7,074	5,198	2,196	1,826		224	534	418	1,876	1,876		11
12月	16	3,778	1,879	1,831	1,728	75		28	0	48	48	0		1,895	1,676	794	690		52	129	11	219	219		4
1月	22	8,327	4,200	4,194	4,031	126		36	1	6	6	0		4,111	3,980	1,758	1,412		140	453	217	131	131		16
2月	17	3,398	1,508	1,408	1,314	75		19	0	100	51	49		1,887	1,633	644	541		64	203	181	254	254		3
3月	26	12,185	5,585	5,317	4,886	367		63	1	268	46	222		6,582	6,431	3,211	2,292		200	524	204	151	151		18
25年度計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632		307	4	4,652	3,148	1,504		100,873	74,294	28,497	28,571		2,419	11,074	3,733	26,579	26,579		155
合計	5,150	2,924,637	1,206,953	1,089,962	970,300	34,493		2,921	17	116,991	77,372	27,088	12,531	1,712,542	1,257,088	368,285	426,112		37,089	306,300	52,888	455,454	445,031		5,142

移動博物館入館者数

	(人)		(人)		(人)		(人)		(人)		(人)
10年度	979	13年度	1,719	16年度	2,421	19年度	1,959	22年度	2,979	25年度	6,390
11年度	1,556	14年度	3,240	17年度	3,416	20年度	1,362	23年度	6,121		
12年度	1,646	15年度	3,868	18年度	2,585	21年度	2,793	24年度	2,004	累計	45,038

入館者数一覧〔4月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
4/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	849	363	363	352	11	0	0	0	0	0	486	486	165	269	12	27	13	0	0	0	0
3	水	463	257	257	250	7	0	0	0	0	0	205	205	101	77	9	14	4	0	0	1	1
4	木	498	219	219	212	7	0	0	0	0	0	279	279	91	162	10	16	0	0	0	0	0
5	金	417	169	146	138	8	0	0	23	23	0	248	248	70	129	16	17	16	0	0	0	0
6	土	585	292	292	284	8	0	0	0	0	0	293	293	106	144	13	14	16	0	0	0	0
7	日	894	490	490	470	20	0	0	0	0	0	400	400	178	188	3	7	24	0	0	4	4
8	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	火	84	40	40	38	2	0	0	0	0	0	44	44	7	0	23	13	1	0	0	0	0
10	水	358	52	52	51	1	0	0	0	0	0	305	44	11	4	3	20	6	261	261	1	1
11	木	188	73	49	42	7	0	0	24	24	0	115	26	7	0	3	13	3	89	89	0	0
12	金	141	41	41	41	0	0	0	0	0	0	100	100	4	7	4	80	5	0	0	0	0
13	土	558	241	241	236	5	0	0	0	0	0	317	317	132	128	12	28	17	0	0	0	0
14	日	803	411	382	374	8	0	0	29	29	0	392	392	160	179	6	11	36	0	0	0	0
15	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	火	39	26	26	25	1	0	0	0	0	0	13	13	3	1	2	5	2	0	0	0	0
17	水	254	46	46	44	2	0	0	0	0	0	208	48	7	2	2	36	1	160	160	0	0
18	木	535	464	31	31	0	0	0	433	0	433	71	71	30	1	4	29	7	0	0	0	0
19	金	271	45	45	45	0	0	0	0	0	0	226	97	63	0	3	28	3	129	129	0	0
20	土	516	235	235	228	7	0	0	0	0	0	280	280	112	113	9	27	19	0	0	1	1
21	日	1,153	569	536	526	10	0	0	33	33	0	582	582	223	277	12	23	47	0	0	2	2
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	火	53	38	38	38	0	0	0	0	0	0	15	15	6	0	3	4	2	0	0	0	0
24	水	789	59	59	59	0	0	0	0	0	0	730	108	13	0	2	89	4	622	622	0	0
25	木	96	25	25	24	1	0	0	0	0	0	71	71	7	1	0	62	1	0	0	0	0
26	金	140	35	35	35	0	0	0	0	0	0	103	23	9	0	1	9	4	80	80	2	2
27	土	926	439	439	423	15	1	0	0	0	0	486	486	161	227	19	54	25	0	0	1	1
28	日	1,750	909	909	886	23	0	0	0	0	0	836	836	302	449	9	21	55	0	0	5	5
祝29	月	1,346	668	668	652	16	0	0	0	0	0	677	677	243	341	20	29	44	0	0	1	1
30	火	170	124	124	121	3	0	0	0	0	0	46	46	27	8	3	5	3	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		13,876	6,330	5,788	5,625	162	1	0	542	109	433	7,528	6,187	2,238	2,707	203	681	358	1,341	1,341	18	18

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	17	5,345	2,076	1,596	1,546	50	0	0	480	47	433	3,265	1,924	621	661	100	467	75	1,341	1,341	4	4
土日祝	9	8,531	4,254	4,192	4,079	112	1	0	62	62	0	4,263	4,263	1,617	2,046	103	214	283	0	0	14	14
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	13,876	6,330	5,788	5,625	162	1	0	542	109	433	7,528	6,187	2,238	2,707	203	681	358	1,341	1,341	18	18
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	17	5,345	2,076	1,596	1,546	50	0	0	480	47	433	3,265	1,924	621	661	100	467	75	1,341	1,341	4	4
土日祝	9	8,531	4,254	4,192	4,079	112	1	0	62	62	0	4,263	4,263	1,617	2,046	103	214	283	0	0	14	14
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	13,876	6,330	5,788	5,625	162	1	0	542	109	433	7,528	6,187	2,238	2,707	203	681	358	1,341	1,341	18	18

開館以来の累計（開館日数 4888日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,771,980	1,147,778	1,034,897					112,881			1,619,197	1,188,981						430,216		5,005	
平 均	567	235	212					23			331	243						88			

入館者数一覧〔5月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
5/1	水	345	131	131	124	6	1	0	0	0	0	213	110	50	18	7	30	5	103	103	1	1
2	木	290	190	190	179	11	0	0	0	0	0	99	99	64	9	4	11	11	0	0	1	1
祝3	金	1,925	1,014	1,014	972	42	0	0	0	0	0	910	910	319	482	23	26	60	0	0	1	1
祝4	土	2,731	1,479	1,479	1,415	64	0	0	0	0	0	1,252	1,252	479	619	42	54	58	0	0	0	0
祝5	日	2,528	1,343	1,343	1,293	50	0	0	0	0	0	1,185	1,185	457	597	24	29	78	0	0	0	0
振6	月	1,261	599	599	573	25	1	0	0	0	0	662	653	208	349	13	14	69	9	9	0	0
7	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	水	173	135	48	44	4	0	0	87	32	55	36	36	8	4	4	7	13	0	0	2	2
9	木	240	72	29	28	1	0	0	43	0	43	168	66	4	0	1	48	13	102	102	0	0
10	金	822	37	37	28	9	0	0	0	0	0	785	132	47	3	0	69	13	653	653	0	0
11	土	827	360	274	266	8	0	0	86	86	0	467	447	182	156	19	35	55	20	20	0	0
12	日	979	399	399	387	12	0	0	0	0	0	578	578	158	237	7	16	160	0	0	2	2
13	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	火	103	19	19	17	2	0	0	0	0	0	84	53	2	1	1	49	0	31	31	0	0
15	水	280	28	28	27	1	0	0	0	0	0	252	58	0	3	0	52	3	194	194	0	0
16	木	493	195	25	25	0	0	0	170	85	85	298	182	135	3	6	38	0	116	116	0	0
17	金	529	52	52	52	0	0	0	0	0	0	477	55	7	1	1	42	4	422	422	0	0
18	土	619	284	284	279	4	1	0	0	0	0	335	335	131	102	2	100	0	0	0	0	0
19	日	644	352	352	338	14	0	0	0	0	0	291	291	128	151	5	5	2	0	0	1	1
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	300	37	37	37	0	0	0	0	0	0	263	45	22	0	1	22	0	218	218	0	0
22	水	593	43	43	41	2	0	0	0	0	0	549	45	7	1	0	36	1	504	504	1	1
23	木	359	37	37	35	2	0	0	0	0	0	320	50	17	0	2	29	2	270	270	2	2
24	金	1,053	279	31	30	1	0	0	248	248	0	774	347	290	0	0	56	1	427	427	0	0
25	土	455	229	229	220	9	0	0	0	0	0	226	226	123	82	4	15	2	0	0	0	0
26	日	904	495	400	379	21	0	0	95	95	0	408	408	177	219	3	7	2	0	0	1	1
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	272	32	32	32	0	0	0	0	0	0	239	114	87	1	1	25	0	125	125	1	1
29	水	436	167	45	43	2	0	0	122	122	0	269	185	128	0	2	55	0	84	84	0	0
30	木	576	127	43	42	1	0	0	84	25	59	449	88	16	21	1	48	2	361	361	0	0
31	金	307	38	38	36	2	0	0	0	0	0	269	34	9	1	1	23	0	235	235	0	0
計		20,044	8,173	7,238	6,942	293	3	0	935	693	242	11,858	7,984	3,255	3,060	174	941	554	3,874	3,874	13	13

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	17	7,171	1,619	865	820	44	1	0	754	512	242	5,544	1,699	893	66	32	640	68	3,845	3,845	8	8
土日祝	10	12,873	6,554	6,373	6,122	249	2	0	181	181	0	6,314	6,285	2,362	2,994	142	301	486	29	29	5	5
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	20,044	8,173	7,238	6,942	293	3	0	935	693	242	11,858	7,984	3,255	3,060	174	941	554	3,874	3,874	13	13
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	34	12,516	3,695	2,461	2,366	94	1	0	1,234	559	675	8,809	3,623	1,514	727	132	1,107	143	5,186	5,186	12	12
土日祝	19	21,404	10,808	10,565	10,201	361	3	0	243	243	0	10,577	10,548	3,979	5,040	245	515	769	29	29	19	19
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	53	33,920	14,503	13,026	12,567	455	4	0	1,477	802	675	19,386	14,171	5,493	5,767	377	1,622	912	5,215	5,215	31	31

開館以来の累計（開館日数 4915日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,792,024	1,155,951	1,042,135					113,816			1,631,055	1,196,965						434,090		5,018	
平 均	568	235	212					23			332	244						88			

入館者数一覧〔6月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
6/1	土	439	230	208	197	11	0	0	22	22	0	209	209	92	83	17	16	1	0	0	0	0
2	日	767	379	379	365	13	1	0	0	0	0	388	388	181	188	8	11	0	0	0	0	0
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	134	76	35	34	1	0	0	41	0	41	58	28	14	2	1	9	2	30	30	0	0
5	水	444	39	39	38	1	0	0	0	0	0	405	102	50	0	1	50	1	303	303	0	0
6	木	228	39	39	37	2	0	0	0	0	0	189	41	9	1	10	20	1	148	148	0	0
7	金	414	49	49	49	0	0	0	0	0	0	365	50	6	3	2	38	1	315	315	0	0
8	土	568	300	255	238	14	3	0	45	45	0	268	268	123	126	6	13	0	0	0	0	0
9	日	711	372	372	358	14	0	0	0	0	0	339	339	137	183	5	14	0	0	0	0	0
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	26	20	20	20	0	0	0	0	0	0	6	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0
12	水	368	38	38	37	0	1	0	0	0	0	330	107	59	4	10	34	0	223	223	0	0
13	木	189	31	31	30	1	0	0	0	0	0	158	158	6	138	0	14	0	0	0	0	0
14	金	542	35	35	32	3	0	0	0	0	0	507	81	29	0	1	50	1	426	426	0	0
15	土	535	274	274	256	15	3	0	0	0	0	259	259	123	107	7	18	4	0	0	2	2
16	日	1,233	557	534	522	12	0	0	23	23	0	674	547	238	274	7	28	0	127	127	2	2
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	水	345	70	70	70	0	0	0	0	0	0	275	139	54	6	16	58	5	136	136	0	0
27	木	206	30	30	30	0	0	0	0	0	0	176	76	17	2	23	34	0	100	100	0	0
28	金	440	27	27	27	0	0	0	0	0	0	413	75	34	1	2	38	0	338	338	0	0
29	土	585	302	302	291	10	1	0	0	0	0	282	282	134	111	10	26	1	0	0	1	1
30	日	958	539	497	483	12	2	0	42	0	42	416	416	216	170	12	13	5	0	0	3	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		9,132	3,407	3,234	3,114	109	11	0	173	90	83	5,717	3,571	1,527	1,400	138	484	22	2,146	2,146	8	8

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	11	3,336	454	413	404	8	1	0	41	0	41	2,882	863	283	158	66	345	11	2,019	2,019	0	0
土日祝	8	5,796	2,953	2,821	2,710	101	10	0	132	90	42	2,835	2,708	1,244	1,242	72	139	11	127	127	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	19	9,132	3,407	3,234	3,114	109	11	0	173	90	83	5,717	3,571	1,527	1,400	138	484	22	2,146	2,146	8	8
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	45	15,852	4,149	2,874	2,770	102	2	0	1,275	559	716	11,691	4,486	1,797	885	198	1,452	154	7,205	7,205	12	12
土日祝	27	27,200	13,761	13,386	12,911	462	13	0	375	333	42	13,412	13,256	5,223	6,282	317	654	780	156	156	27	27
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	72	43,052	17,910	16,260	15,681	564	15	0	1,650	892	758	25,103	17,742	7,020	7,167	515	2,106	934	7,361	7,361	39	39

開館以来の累計（開館日数 4934日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,801,156	1,159,358	1,045,369					113,989			1,636,772	1,200,536						436,236		5,026	
平 均	568	235	212					23			332	243						88			

入館者数一覧〔7月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
7/1	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	火	137	90	35	34	1	0	0	55	0	55	47	47	12	3	1	29	2	0	0	0	0
3	水	548	58	58	53	5	0	0	0	0	0	490	130	70	0	1	57	2	360	360	0	0
4	木	967	33	33	32	1	0	0	0	0	0	934	111	12	2	2	93	2	823	823	0	0
5	金	400	81	56	56	0	0	0	25	25	0	319	169	123	4	0	42	0	150	150	0	0
6	土	465	248	248	245	2	1	0	0	0	0	215	215	113	94	2	2	4	0	0	2	2
7	日	773	429	374	356	14	4	0	55	54	1	343	343	158	164	7	14	0	0	0	1	1
8	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	火	252	29	29	28	1	0	0	0	0	0	223	77	34	1	0	42	0	146	146	0	0
10	水	353	21	21	21	0	0	0	0	0	0	332	83	28	1	0	53	1	249	249	0	0
11	木	165	31	31	28	2	1	0	0	0	0	134	50	7	1	16	24	2	84	84	0	0
12	金	492	66	34	34	0	0	0	32	0	32	426	73	13	4	2	52	2	353	353	0	0
13	土	757	333	333	317	11	5	0	0	0	0	421	421	139	205	4	53	20	0	0	3	3
14	日	1,604	829	806	788	16	2	0	23	23	0	774	774	305	338	47	43	41	0	0	1	1
15	月	1,390	649	649	631	17	1	0	0	0	0	739	739	247	357	47	42	46	0	0	2	2
16	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	水	102	63	43	43	0	0	0	20	20	0	39	39	17	2	3	17	0	0	0	0	0
18	木	209	51	51	49	2	0	0	0	0	0	157	89	47	7	2	31	2	68	68	1	1
19	金	166	37	37	37	0	0	0	0	0	0	129	129	89	12	3	25	0	0	0	0	0
20	土	712	300	278	267	9	2	0	22	22	0	411	411	110	218	34	39	10	0	0	1	1
21	日	1,503	468	449	416	28	5	0	19	18	1	1,034	602	207	278	15	73	29	432	432	1	1
22	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	火	1,159	171	164	156	7	1	0	7	7	0	988	286	54	102	5	112	13	702	702	0	0
24	水	1,670	193	179	175	3	1	0	14	14	0	1,477	546	119	179	7	228	13	931	931	0	0
25	木	792	163	155	153	2	0	0	8	8	0	628	323	123	96	25	71	8	305	305	1	1
26	金	784	169	149	142	7	0	0	20	20	0	614	492	120	206	61	93	12	122	122	1	1
27	土	1,177	455	414	402	11	1	0	41	21	20	722	479	175	180	15	84	25	243	243	0	0
28	日	1,170	577	561	541	19	1	0	16	15	1	591	591	238	288	10	19	36	0	0	2	2
29	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	火	691	243	227	220	6	1	0	16	15	1	448	338	88	134	35	74	7	110	110	0	0
31	水	700	227	213	202	10	1	0	14	14	0	473	306	75	161	5	35	30	167	167	0	0
計		19,138	6,014	5,627	5,426	174	27	0	387	276	111	13,108	7,863	2,723	3,037	349	1,447	307	5,245	5,245	16	16

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	17	9,587	1,726	1,515	1,463	47	5	0	211	123	88	7,858	3,288	1,031	915	168	1,078	96	4,570	4,570	3	3
土日祝	9	9,551	4,288	4,112	3,963	127	22	0	176	153	23	5,250	4,575	1,692	2,122	181	369	211	675	675	13	13
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	19,138	6,014	5,627	5,426	174	27	0	387	276	111	13,108	7,863	2,723	3,037	349	1,447	307	5,245	5,245	16	16
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	62	25,439	5,875	4,389	4,233	149	7	0	1,486	682	804	19,549	7,774	2,828	1,800	366	2,530	250	11,775	11,775	15	15
土日祝	36	36,751	18,049	17,498	16,874	589	35	0	551	486	65	18,662	17,831	6,915	8,404	498	1,023	991	831	831	40	40
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	98	62,190	23,924	21,887	21,107	738	42	0	2,037	1,168	869	38,211	25,605	9,743	10,204	864	3,553	1,241	12,606	12,606	55	55

開館以来の累計（開館日数 4960日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,820,294	1,165,372	1,050,996					114,376			1,649,880	1,208,399						441,481		5,042	
平 均	569	235	212					23			333	244						89			

入館者数一覧〔8月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
8/1	木	850	272	238	233	5	0	0	34	33	1	575	496	132	262	16	72	14	79	79	3	3
2	金	620	269	217	212	4	1	0	52	51	1	350	350	138	151	4	27	30	0	0	1	1
3	土	793	354	340	311	25	4	0	14	14	0	439	344	129	176	11	22	6	95	95	0	0
4	日	1,175	556	523	502	19	2	0	33	33	0	619	619	239	303	18	20	39	0	0	0	0
5	月	567	236	214	204	10	0	0	22	22	0	331	331	87	154	36	38	16	0	0	0	0
6	火	1,025	398	351	331	20	0	0	47	45	2	627	573	137	319	16	81	20	54	54	0	0
7	水	524	210	210	196	14	0	0	0	0	0	313	313	67	191	7	30	18	0	0	1	1
8	木	864	262	255	233	21	1	0	7	6	1	602	482	183	227	10	46	16	120	120	0	0
9	金	659	288	249	237	12	0	0	39	12	27	370	370	100	179	31	47	13	0	0	1	1
10	土	868	399	378	362	15	1	0	21	21	0	467	467	161	254	8	8	36	0	0	2	2
11	日	1,701	855	826	788	35	3	0	29	27	2	845	845	326	438	13	31	37	0	0	1	1
12	月	1,369	681	604	580	23	1	0	77	36	41	688	688	258	347	22	21	40	0	0	0	0
13	火	1,442	735	700	670	30	0	0	35	34	1	706	706	300	342	17	16	31	0	0	1	1
14	水	1,908	1,006	985	924	59	2	0	21	20	1	902	902	361	454	24	21	42	0	0	0	0
15	木	1,873	991	982	948	33	1	0	9	8	1	881	881	329	459	20	20	53	0	0	1	1
16	金	1,743	923	916	887	27	2	0	7	7	0	819	819	331	426	8	14	40	0	0	1	1
17	土	1,826	959	903	834	64	5	0	56	20	36	865	853	324	422	24	34	49	12	12	2	2
18	日	1,460	712	705	672	30	3	0	7	6	1	746	746	320	316	13	18	79	0	0	2	2
19	月	629	272	264	251	12	1	0	8	8	0	357	357	106	207	6	18	20	0	0	0	0
20	火	612	281	276	259	17	0	0	5	5	0	331	331	82	206	8	23	12	0	0	0	0
21	水	563	237	237	228	9	0	0	0	0	0	326	306	88	140	23	30	25	20	20	0	0
22	木	865	218	215	194	21	0	0	3	3	0	647	627	75	376	4	158	14	20	20	0	0
23	金	963	336	332	308	24	0	0	4	4	0	627	627	131	383	13	86	14	0	0	0	0
24	土	1,076	502	500	472	28	0	0	2	2	0	574	574	207	252	38	25	52	0	0	0	0
25	日	1,722	840	770	731	38	1	0	70	68	2	882	882	345	402	5	16	114	0	0	0	0
26	月	405	192	166	145	21	0	0	26	6	20	212	212	60	113	3	14	22	0	0	1	1
27	火	482	164	157	140	17	0	0	7	7	0	318	318	124	103	13	58	20	0	0	0	0
28	水	362	148	148	140	8	0	0	0	0	0	214	214	56	95	2	40	21	0	0	0	0
29	木	420	158	157	148	8	1	0	1	1	0	260	158	47	65	9	29	8	102	102	2	2
30	金	292	113	112	102	9	1	0	1	1	0	179	179	32	112	2	16	17	0	0	0	0
31	土	1,007	422	420	406	9	5	0	2	2	0	585	585	214	249	15	17	90	0	0	0	0
計		30,665	13,989	13,350	12,648	667	35	0	639	502	137	16,657	16,155	5,489	8,123	439	1,096	1,008	502	502	19	19

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	22	19,037	8,390	7,985	7,570	404	11	0	405	309	96	10,635	10,240	3,224	5,311	294	905	506	395	395	12	12
土日祝	9	11,628	5,599	5,365	5,078	263	24	0	234	193	41	6,022	5,915	2,265	2,812	145	191	502	107	107	7	7
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	31	30,665	13,989	13,350	12,648	667	35	0	639	502	137	16,657	16,155	5,489	8,123	439	1,096	1,008	502	502	19	19
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	84	44,476	14,265	12,374	11,803	553	18	0	1,891	991	900	30,184	18,014	6,052	7,111	660	3,435	756	12,170	12,170	27	27
土日祝	45	48,379	23,648	22,863	21,952	852	59	0	785	679	106	24,684	23,746	9,180	11,216	643	1,214	1,493	938	938	47	47
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	129	92,855	37,913	35,237	33,755	1,405	77	0	2,676	1,670	1,006	54,868	41,760	15,232	18,327	1,303	4,649	2,249	13,108	13,108	74	74

開館以来の累計（開館日数 4991日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,850,959	1,179,361	1,064,346					115,015			1,666,537	1,224,554						441,983		5,061	
平 均	571	236	213					23			334	245						89			

入館者数一覧〔9月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
9/1	日	1,453	573	573	532	35	6	0	0	0	0	874	874	279	347	19	25	204	0	0	6	6
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	276	56	56	38	18	0	0	0	0	0	220	80	48	3	6	23	0	140	140	0	0
4	水	516	58	38	34	4	0	0	20	0	20	458	55	6	4	1	39	5	403	403	0	0
5	木	373	90	90	70	20	0	0	0	0	0	283	81	57	1	1	22	0	202	202	0	0
6	金	670	59	59	54	5	0	0	0	0	0	611	73	16	3	0	52	2	538	538	0	0
7	土	655	265	265	257	8	0	0	0	0	0	386	273	118	131	7	16	1	113	113	4	4
8	日	1,181	641	609	589	15	5	0	32	31	1	540	540	258	250	21	11	0	0	0	0	0
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	416	52	52	47	5	0	0	0	0	0	364	128	14	2	2	110	0	236	236	0	0
11	水	481	46	46	42	4	0	0	0	0	0	435	52	12	0	2	37	1	383	383	0	0
12	木	164	84	64	56	8	0	0	20	20	0	80	80	13	0	1	65	1	0	0	0	0
13	金	203	37	37	30	7	0	0	0	0	0	166	89	41	0	24	24	0	77	77	0	0
14	土	610	311	311	301	7	3	0	0	0	0	299	299	141	125	10	22	1	0	0	0	0
15	日	1,556	901	901	860	37	4	0	0	0	0	653	653	323	306	9	10	5	0	0	2	2
16	月	275	160	160	152	6	2	0	0	0	0	115	115	66	41	3	3	2	0	0	0	0
17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	水	174	44	44	38	6	0	0	0	0	0	130	18	6	3	1	8	0	112	112	0	0
19	木	87	51	51	43	8	0	0	0	0	0	36	36	5	2	17	11	1	0	0	0	0
20	金	711	31	31	31	0	0	0	0	0	0	680	113	43	0	2	68	0	567	567	0	0
21	土	484	271	271	259	12	0	0	0	0	0	213	213	108	88	8	9	0	0	0	0	0
22	日	1,093	613	613	587	24	2	0	0	0	0	480	480	231	217	13	15	4	0	0	0	0
23	月	870	439	439	421	15	3	0	0	0	0	431	431	196	194	26	13	2	0	0	0	0
24	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	水	283	35	35	34	1	0	0	0	0	0	248	28	7	2	0	19	0	220	220	0	0
26	木	150	49	49	44	5	0	0	0	0	0	101	67	11	1	8	47	0	34	34	0	0
27	金	450	24	24	24	0	0	0	0	0	0	426	130	7	0	1	121	1	296	296	0	0
28	土	411	172	172	159	4	9	0	0	0	0	235	235	83	27	64	57	4	0	0	4	4
29	日	687	354	354	332	21	1	0	0	0	0	330	330	161	121	21	12	15	0	0	3	3
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		14,229	5,416	5,344	5,034	275	35	0	72	51	21	8,794	5,473	2,250	1,868	267	839	249	3,321	3,321	19	19

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	14	4,954	716	676	585	91	0	0	40	20	20	4,238	1,030	286	21	66	646	11	3,208	3,208	0	0
土日祝	11	9,275	4,700	4,668	4,449	184	35	0	32	31	1	4,556	4,443	1,964	1,847	201	193	238	113	113	19	19
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	25	14,229	5,416	5,344	5,034	275	35	0	72	51	21	8,794	5,473	2,250	1,868	267	839	249	3,321	3,321	19	19
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	98	49,430	14,981	13,050	12,388	644	18	0	1,931	1,011	920	34,422	19,044	6,338	7,132	726	4,081	767	15,378	15,378	27	27
土日祝	56	57,654	28,348	27,531	26,401	1,036	94	0	817	710	107	29,240	28,189	11,144	13,063	844	1,407	1,731	1,051	1,051	66	66
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	154	107,084	43,329	40,581	38,789	1,680	112	0	2,748	1,721	1,027	63,662	47,233	17,482	20,195	1,570	5,488	2,498	16,429	16,429	93	93

開館以来の累計（開館日数　5016日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	2,865,188	1,184,777	1,069,690					115,087			1,675,331	1,230,027						445,304		5,080	
平　均	571	236	213					23			334	245						89			

入館者数一覧〔10月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
10/1	火	285	111	38	38	0	0	0	73	73	0	174	26	10	6	2	6	2	148	148	0	0
2	水	386	43	43	43	0	0	0	0	0	0	342	77	33	2	2	36	4	265	265	1	1
3	木	288	72	43	43	0	0	0	29	29	0	216	35	6	2	4	17	6	181	181	0	0
4	金	696	105	29	27	0	2	0	76	76	0	589	63	7	3	1	51	1	526	526	2	2
5	土	826	400	369	347	18	4	0	31	31	0	424	421	151	195	23	44	8	3	3	2	2
6	日	657	301	279	270	6	3	0	22	21	1	356	356	120	206	9	10	11	0	0	0	0
7	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	火	451	29	29	29	0	0	0	0	0	0	422	66	12	0	16	35	3	356	356	0	0
9	水	745	108	31	29	2	0	0	77	0	77	637	72	11	0	1	60	0	565	565	0	0
10	木	432	28	28	18	9	1	0	0	0	0	404	94	48	17	1	27	1	310	310	0	0
11	金	1,064	88	63	63	0	0	0	25	25	0	975	378	294	3	0	79	2	597	597	1	1
12	土	523	267	267	260	6	1	0	0	0	0	256	248	102	112	9	17	8	8	8	0	0
13	日	1,031	551	531	520	10	1	0	20	20	0	480	480	190	220	15	17	38	0	0	0	0
14	月	965	467	467	450	15	2	0	0	0	0	496	461	171	233	10	19	28	35	35	2	2
15	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水	84	35	35	34	1	0	0	0	0	0	47	47	13	14	1	19	0	0	0	2	2
17	木	826	127	20	20	0	0	0	107	107	0	699	182	111	6	2	60	3	517	517	0	0
18	金	1,031	89	32	24	7	1	0	57	57	0	942	147	66	7	2	64	8	795	795	0	0
19	土	476	228	174	165	4	4	1	54	54	0	248	248	87	115	6	32	8	0	0	0	0
20	日	922	483	483	467	14	2	0	0	0	0	439	439	179	198	15	21	26	0	0	0	0
21	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火	619	31	31	31	0	0	0	0	0	0	588	140	79	1	12	47	1	448	448	0	0
23	水	895	77	39	36	3	0	0	38	38	0	818	79	6	1	8	61	3	739	739	0	0
24	木	1,302	278	74	65	9	0	0	204	204	0	1,024	479	319	16	3	135	6	545	545	0	0
25	金	1,149	43	41	36	4	1	0	2	2	0	1,106	166	83	3	0	78	2	940	940	0	0
26	土	530	229	229	211	14	4	0	0	0	0	301	257	111	97	6	22	21	44	44	0	0
27	日	789	406	386	370	14	2	0	20	20	0	383	349	166	155	3	14	11	34	34	0	0
県民28	月	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
29	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	水	426	25	24	22	2	0	0	1	1	0	401	85	29	2	18	36	0	316	316	0	0
31	木	212	40	20	18	2	0	0	20	0	20	172	25	8	1	0	13	3	147	147	0	0
計		20,333	4,661	3,805	3,636	140	28	1	856	758	98	15,662	8,143	2,412	1,615	169	3,743	204	7,519	7,519	10	10

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	17	10,891	1,329	620	576	39	5	0	709	612	97	9,556	2,161	1,135	84	73	824	45	7,395	7,395	6	6
土日祝	9	6,719	3,332	3,185	3,060	101	23	1	147	146	1	3,383	3,259	1,277	1,531	96	196	159	124	124	4	4
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合計	27	20,333	4,661	3,805	3,636	140	28	1	856	758	98	15,662	8,143	2,412	1,615	169	3,743	204	7,519	7,519	10	10
年間TOTAL（平成25年度）																						
平日	115	60,321	16,310	13,670	12,964	683	23	0	2,640	1,623	1,017	43,978	21,205	7,473	7,216	799	4,905	812	22,773	22,773	33	33
土日祝	65	64,373	31,680	30,716	29,461	1,137	117	1	964	856	108	32,623	31,448	12,421	14,594	940	1,603	1,890	1,175	1,175	70	70
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合計	181	127,417	47,990	44,386	42,425	1,820	140	1	3,604	2,479	1,125	79,324	55,376	19,894	21,810	1,739	6,508	2,702	23,948	23,948	103	103

開館以来の累計（開館日数　5043日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累計	2,885,521	1,189,438	1,073,495					115,943			1,690,993	1,238,170						452,823		5,090	
平均	572	236	213					23			335	246						90			

入館者数一覧〔11月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
11/1	金	756	107	39	36	2	1	0	68	68	0	649	270	171	0	13	86	0	379	379	0	0
2	土	479	212	212	210	2	0	0	0	0	0	267	267	111	121	7	13	15	0	0	0	0
3	日	884	469	469	453	13	2	1	0	0	0	415	415	189	199	3	4	20	0	0	0	0
祝4	月	1,057	481	481	462	16	3	0	0	0	0	576	576	235	270	12	16	43	0	0	0	0
5	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	水	32	25	25	25	0	0	0	0	0	0	7	7	5	0	1	1	0	0	0	0	0
7	木	352	126	48	35	13	0	0	78	78	0	226	154	122	0	2	26	4	72	72	0	0
8	金	138	43	43	41	2	0	0	0	0	0	95	51	10	10	14	15	2	44	44	0	0
9	土	481	189	162	160	2	0	0	27	27	0	292	190	75	70	4	21	20	102	102	0	0
10	日	830	421	401	370	27	4	0	20	20	0	407	407	172	173	10	20	32	0	0	2	2
11	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	火	66	33	32	31	1	0	0	1	1	0	32	32	21	1	2	5	3	0	0	1	1
13	水	282	70	38	33	5	0	0	32	0	32	212	108	19	11	0	76	2	104	104	0	0
14	木	338	95	95	83	12	0	0	0	0	0	241	125	33	46	17	22	7	116	116	2	2
15	金	361	61	61	55	6	0	0	0	0	0	300	130	37	14	39	29	11	170	170	0	0
16	土	623	275	198	191	7	0	0	77	77	0	348	348	169	106	20	20	33	0	0	0	0
17	日	804	367	339	327	12	0	0	28	28	0	437	437	168	188	6	17	58	0	0	0	0
18	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	火	219	40	40	37	2	1	0	0	0	0	179	29	9	1	4	13	2	150	150	0	0
20	水	302	109	33	32	0	1	0	76	76	0	193	78	53	4	0	13	8	115	115	0	0
21	木	368	84	32	30	2	0	0	52	52	0	284	46	3	0	2	37	4	238	238	0	0
22	金	233	74	29	29	0	0	0	45	45	0	159	96	54	0	15	21	6	63	63	0	0
祝23	土	1,092	374	349	336	11	2	0	25	25	0	716	706	276	338	9	12	71	10	10	2	2
24	日	671	294	294	272	19	3	0	0	0	0	375	375	140	150	5	6	74	0	0	2	2
25	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	火	168	52	51	40	11	0	0	1	1	0	116	34	10	2	4	18	0	82	82	0	0
27	水	180	20	20	20	0	0	0	0	0	0	160	30	5	2	9	14	0	130	130	0	0
28	木	212	95	19	19	0	0	0	76	0	76	117	16	5	0	1	10	0	101	101	0	0
29	金	55	19	19	17	1	1	0	0	0	0	36	36	5	1	18	12	0	0	0	0	0
30	土	445	208	188	182	3	3	0	20	20	0	235	235	99	119	7	7	3	0	0	2	2
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		11,428	4,343	3,717	3,526	169	21	1	626	518	108	7,074	5,198	2,196	1,826	224	534	418	1,876	1,876	11	11

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	16	4,062	1,053	624	563	57	4	0	429	321	108	3,006	1,242	562	92	141	398	49	1,764	1,764	3	3
土日祝	10	7,366	3,290	3,093	2,963	112	17	1	197	197	0	4,068	3,956	1,634	1,734	83	136	369	112	112	8	8
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	11,428	4,343	3,717	3,526	169	21	1	626	518	108	7,074	5,198	2,196	1,826	224	534	418	1,876	1,876	11	11
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	131	64,383	17,363	14,294	13,527	740	27	0	3,069	1,944	1,125	46,984	22,447	8,035	7,308	940	5,303	861	24,537	24,537	36	36
土日祝	75	71,739	34,970	33,809	32,424	1,249	134	2	1,161	1,053	108	36,691	35,404	14,055	16,328	1,023	1,739	2,259	1,287	1,287	78	78
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合 計	207	138,845	52,333	48,103	45,951	1,989	161	2	4,230	2,997	1,233	86,398	60,574	22,090	23,636	1,963	9,765	3,120	25,824	25,824	114	114

開館以来の累計（開館日数　5069日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累　計	2,896,949	1,193,781	1,077,212					116,569			1,698,067	1,243,368						454,699		5,101	
平　均	572	236	213					23			335	245						90			

入館者数一覧〔12月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
12/1	日	517	266	266	251	11	4	0	0	0	0	251	251	104	127	7	9	4	0	0	0	0
2	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	火	19	13	13	13	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0	1	2	3	0	0	0	0
4	水	61	23	23	23	0	0	0	0	0	0	38	12	6	0	1	5	0	26	26	0	0
5	木	19	17	17	10	7	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
6	金	275	73	51	46	4	1	0	22	22	0	202	40	28	0	0	12	0	162	162	0	0
7	土	367	142	142	133	6	3	0	0	0	0	225	205	65	81	6	53	0	20	20	0	0
8	日	505	271	271	260	6	5	0	0	0	0	233	233	117	98	8	10	0	0	0	1	1
9	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	火	24	19	19	19	0	0	0	0	0	0	5	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0
11	水	49	30	30	30	0	0	0	0	0	0	19	19	12	5	1	1	0	0	0	0	0
12	木	13	10	10	10	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
13	金	19	13	13	13	0	0	0	0	0	0	6	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0
14	土	277	136	136	131	1	4	0	0	0	0	141	141	67	71	1	2	0	0	0	0	0
15	日	446	252	226	212	9	5	0	26	26	0	194	191	98	78	7	8	0	3	3	0	0
16	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	土	273	135	135	130	5	0	0	0	0	0	137	137	62	58	6	9	2	0	0	1	1
22	日	534	291	291	273	15	3	0	0	0	0	241	233	125	94	5	7	2	8	8	2	2
祝23	月	380	188	188	174	11	3	0	0	0	0	192	192	96	76	9	11	0	0	0	0	0
24	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3,778	1,879	1,831	1,728	75	28	0	48	48	0	1,895	1,676	794	690	52	129	11	219	219	4	4

	日数	入館合計	有料計	個人計	一般	大高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平日	8	479	198	176	164	11	1	0	22	22	0	281	93	60	7	3	20	3	188	188	0	0
土日祝	8	3,299	1,681	1,655	1,564	64	27	0	26	26	0	1,614	1,583	734	683	49	109	8	31	31	4	4
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	16	3,778	1,879	1,831	1,728	75	28	0	48	48	0	1,895	1,676	794	690	52	129	11	219	219	4	4
年間TOTAL（平成25年度）																						
平日	139	64,862	17,561	14,470	13,691	751	28	0	3,091	1,966	1,125	47,265	22,540	8,095	7,315	943	5,323	864	24,725	24,725	36	36
土日祝	83	75,038	36,651	35,464	33,988	1,313	161	2	1,187	1,079	108	38,305	36,987	14,789	17,011	1,072	1,848	2,267	1,318	1,318	82	82
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合計	223	142,623	54,212	49,934	47,679	2,064	189	2	4,278	3,045	1,233	88,293	62,250	22,884	24,326	2,015	9,894	3,131	26,043	26,043	118	118

開館以来の累計（開館日数　5085日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累計	2,900,727	1,195,660	1,079,043					116,617			1,699,962	1,245,044						454,918		5,105	
平均	570	235	212					23			334	245						89			

入館者一覧〔1月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
1/1	祝	276	151	151	141	6	3	1	0	0	0	124	124	55	38	3	12	16	0	0	1	1
2	木	572	310	310	291	13	6	0	0	0	0	262	262	111	105	4	19	23	0	0	0	0
3	金	739	424	422	404	16	2	0	2	2	0	315	315	166	114	7	18	10	0	0	0	0
4	土	883	473	473	454	16	3	0	0	0	0	409	409	155	209	10	19	16	0	0	1	1
5	日	634	347	347	339	7	1	0	0	0	0	285	285	124	126	10	12	13	0	0	2	2
6	月	200	93	90	83	5	2	0	3	3	0	107	107	39	29	25	12	2	0	0	0	0
7	火	102	54	54	49	3	2	0	0	0	0	48	48	17	22	0	5	4	0	0	0	0
8	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	土	406	203	203	199	2	2	0	0	0	0	201	201	92	66	1	30	12	0	0	2	2
12	日	816	414	414	408	5	1	0	0	0	0	401	401	193	136	13	43	16	0	0	1	1
祝13	月	753	335	335	320	11	4	0	0	0	0	416	416	172	147	21	43	33	0	0	2	2
14	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	土	437	204	204	201	1	2	0	0	0	0	233	233	91	88	5	32	17	0	0	0	0
19	日	651	312	312	300	11	1	0	0	0	0	339	339	127	129	4	61	18	0	0	0	0
20	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	火	74	32	32	30	0	2	0	0	0	0	42	42	9	0	4	27	2	0	0	0	0
22	水	49	24	24	21	3	0	0	0	0	0	25	25	8	2	1	13	1	0	0	0	0
23	木	100	59	59	56	3	0	0	0	0	0	41	41	32	1	2	5	1	0	0	0	0
24	金	69	35	35	35	0	0	0	0	0	0	34	34	13	2	3	11	5	0	0	0	0
25	土	426	218	218	207	9	2	0	0	0	0	206	206	90	86	6	20	4	0	0	2	2
26	日	706	362	362	351	8	3	0	0	0	0	340	340	188	107	9	18	18	0	0	4	4
27	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	火	73	44	44	38	6	0	0	0	0	0	29	29	10	2	3	12	2	0	0	0	0
29	水	91	29	29	29	0	0	0	0	0	0	62	62	41	2	5	12	2	0	0	0	0
30	木	58	31	31	31	0	0	0	0	0	0	26	26	9	1	2	12	2	0	0	1	1
31	金	212	46	45	44	1	0	0	1	1	0	166	35	16	0	2	17	0	131	131	0	0
計		8,327	4,200	4,194	4,031	126	36	1	6	6	0	4,111	3,980	1,758	1,412	140	453	217	131	131	16	16

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	12	2,339	1,181	1,175	1,111	50	14	0	6	6	0	1,157	1,026	471	280	58	163	54	131	131	1	1
土日祝	10	5,988	3,019	3,019	2,920	76	22	1	0	0	0	2,954	2,954	1,287	1,132	82	290	163	0	0	15	15
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	22	8,327	4,200	4,194	4,031	126	36	1	6	6	0	4,111	3,980	1,758	1,412	140	453	217	131	131	16	16
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	151	67,201	18,742	15,645	14,802	801	42	0	3,097	1,972	1,125	48,422	23,566	8,566	7,595	1,001	5,486	918	24,856	24,856	37	37
土日祝	93	81,026	39,670	38,483	36,908	1,389	183	3	1,187	1,079	108	41,259	39,941	16,076	18,143	1,154	2,138	2,430	1,318	1,318	97	97
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合 計	245	150,950	58,412	54,128	51,710	2,190	225	3	4,284	3,051	1,233	92,404	66,230	24,642	25,738	2,155	10,347	3,348	26,174	26,174	134	134

開館以来の累計（開館日数 5107日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,909,054	1,199,860	1,083,237					116,623			1,704,073	1,249,024						455,049		5,121	
平 均	570	235	212					23			334	245						89			

入館者数一覧〔2月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
2/1	土	440	218	218	210	8	0	0	0	0	0	222	216	99	77	7	21	12	6	6	0	0
2	日	826	425	381	374	5	2	0	44	44	0	401	401	169	168	10	31	23	0	0	0	0
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	60	27	27	27	0	0	0	0	0	0	31	31	15	4	5	4	3	0	0	2	2
5	水	55	27	27	23	3	1	0	0	0	0	28	28	9	1	2	10	6	0	0	0	0
6	木	57	35	34	27	6	1	0	1	1	0	22	22	8	1	0	10	3	0	0	0	0
7	金	57	27	27	23	3	1	0	0	0	0	30	30	4	2	1	14	9	0	0	0	0
8	土	61	32	32	31	1	0	0	0	0	0	29	29	13	9	1	6	0	0	0	0	0
9	日	73	33	33	31	1	1	0	0	0	0	40	40	14	15	2	3	6	0	0	0	0
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
祝11	火	534	258	258	248	4	6	0	0	0	0	275	275	122	105	6	20	22	0	0	1	1
12	水	57	25	19	19	0	0	0	6	6	0	32	25	4	0	1	13	7	7	7	0	0
13	木	385	104	55	32	23	0	0	49	0	49	281	40	5	2	2	23	8	241	241	0	0
14	金	8	5	5	5	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0
15	土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	水	5	4	4	4	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
20	木	12	6	6	3	2	1	0	0	0	0	6	6	2	1	0	3	0	0	0	0	0
21	金	61	16	16	15	1	0	0	0	0	0	45	45	30	0	0	11	4	0	0	0	0
22	土	266	100	100	89	8	3	0	0	0	0	166	166	55	35	24	25	27	0	0	0	0
23	日	441	166	166	153	10	3	0	0	0	0	275	275	94	120	3	8	50	0	0	0	0
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		3,398	1,508	1,408	1,314	75	19	0	100	51	49	1,887	1,633	644	541	64	203	181	254	254	3	3

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	10	757	276	220	178	38	4	0	56	7	49	479	231	78	12	11	89	41	248	248	2	2
土日祝	7	2,641	1,232	1,188	1,136	37	15	0	44	44	0	1,408	1,402	566	529	53	114	140	6	6	1	1
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	17	3,398	1,508	1,408	1,314	75	19	0	100	51	49	1,887	1,633	644	541	64	203	181	254	254	3	3
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	161	67,958	19,018	15,865	14,980	839	46	0	3,153	1,979	1,174	48,901	23,797	8,644	7,607	1,012	5,575	959	25,104	25,104	39	39
土日祝	100	83,667	40,902	39,671	38,044	1,426	198	3	1,231	1,123	108	42,667	41,343	16,642	18,672	1,207	2,252	2,570	1,324	1,324	98	98
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合 計	262	154,348	59,920	55,536	53,024	2,265	244	3	4,384	3,102	1,282	94,291	67,863	25,286	26,279	2,219	10,550	3,529	26,428	26,428	137	137

開館以来の累計（開館日数 5124日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,912,452	1,201,368	1,084,645					116,723			1,705,960	1,250,657						455,303		5,124	
平 均	568	234	212					23			333	244						89			

入館者数一覧〔3月〕

月日	曜	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
3/1	土	620	242	242	232	7	3	0	0	0	0	378	378	231	92	9	41	5	0	0	0	0
2	日	700	366	333	314	16	3	0	33	33	0	332	332	150	151	4	27	0	0	0	2	2
3	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	火	146	54	54	49	5	0	0	0	0	0	92	92	76	1	0	15	0	0	0	0	0
5	水	259	42	42	33	9	0	0	0	0	0	217	77	57	0	0	20	0	140	140	0	0
6	木	288	37	37	26	11	0	0	0	0	0	251	243	202	0	1	40	0	8	8	0	0
7	金	281	30	30	26	4	0	0	0	0	0	251	251	185	0	30	36	0	0	0	0	0
8	土	421	202	202	187	11	4	0	0	0	0	217	214	127	70	6	7	4	3	3	2	2
9	日	619	320	320	299	16	5	0	0	0	0	297	297	136	136	15	10	0	0	0	2	2
10	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	火	70	50	50	46	4	0	0	0	0	0	20	20	17	2	0	1	0	0	0	0	0
12	水	93	50	50	36	14	0	0	0	0	0	43	43	38	1	0	4	0	0	0	0	0
13	木	219	97	59	40	19	0	0	38	0	38	122	122	98	8	1	15	0	0	0	0	0
14	金	70	36	36	25	11	0	0	0	0	0	34	34	28	2	0	4	0	0	0	0	0
15	土	512	233	212	204	3	5	0	21	0	21	279	279	103	111	6	51	8	0	0	0	0
16	日	741	368	368	347	14	7	0	0	0	0	373	373	160	157	12	15	29	0	0	0	0
17	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	火	85	46	46	25	19	2	0	0	0	0	38	38	33	0	0	4	1	0	0	1	1
19	水	115	53	53	41	10	2	0	0	0	0	62	62	41	8	1	9	3	0	0	0	0
20	木	431	89	89	75	14	0	0	0	0	0	342	342	288	7	7	37	3	0	0	0	0
祝21	金	903	468	439	405	26	8	0	29	1	28	434	434	179	194	22	23	16	0	0	1	1
22	土	861	427	427	402	17	7	1	0	0	0	431	431	198	179	14	16	24	0	0	3	3
23	日	945	503	503	479	17	7	0	0	0	0	442	442	189	201	10	18	24	0	0	0	0
24	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	火	217	111	110	86	24	0	0	1	1	0	106	106	64	28	3	6	5	0	0	0	0
26	水	276	123	123	110	13	0	0	0	0	0	153	153	55	68	3	21	6	0	0	0	0
27	木	410	183	183	173	9	1	0	0	0	0	226	226	72	137	6	8	3	0	0	1	1
28	金	428	153	149	125	21	3	0	4	4	0	275	275	68	143	21	38	5	0	0	0	0
29	土	978	533	391	368	20	3	0	142	7	135	440	440	159	213	16	40	12	0	0	5	5
30	日	1,497	769	769	733	33	3	0	0	0	0	727	727	257	383	13	18	56	0	0	1	1
31	月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		12,185	5,585	5,317	4,886	367	63	1	268	46	222	6,582	6,431	3,211	2,292	200	524	204	151	151	18	18

	日数	入館合計	有料計	個人計	一 般	大 高	友一般	友高大	団体計	一般	大高	無料計	個人計	幼児	小中	身障者	その他	招待券	団体計	学校	特別券計	共通パス
月TOTAL																						
平 日	15	3,388	1,154	1,111	916	187	8	0	43	5	38	2,232	2,084	1,322	405	73	258	26	148	148	2	2
土日祝	11	8,797	4,431	4,206	3,970	180	55	1	225	41	184	4,350	4,347	1,889	1,887	127	266	178	3	3	16	16
無料日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	12,185	5,585	5,317	4,886	367	63	1	268	46	222	6,582	6,431	3,211	2,292	200	524	204	151	151	18	18
年間TOTAL（平成25年度）																						
平 日	176	71,346	20,172	16,976	15,896	1,026	54	0	3,196	1,984	1,212	51,133	25,881	9,966	8,012	1,085	5,833	985	25,252	25,252	41	41
土日祝	111	92,464	45,333	43,877	42,014	1,606	253	4	1,456	1,164	292	47,017	45,690	18,531	20,559	1,334	2,518	2,748	1,327	1,327	114	114
無料日	1	2,723	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,723	2,723	0	0	0	2,723	0	0	0	0	0
合 計	288	166,533	65,505	60,853	57,910	2,632	307	4	4,652	3,148	1,504	100,873	74,294	28,497	28,571	2,419	11,074	3,733	26,579	26,579	155	155

開館以来の累計（開館日数 5150日）

	入館合計	有料計	個人計					団体計			無料計	個人計						団体計		特別券計	
累 計	2,924,637	1,206,953	1,089,962					116,991			1,712,542	1,257,088						455,454		5,142	
平 均	568	234	212					23			333	244						88			

１０　職員名簿

職　　名		氏　　名	当館における履歴
名誉館長（嘱託）		長谷川　善和	7.4～　8.3 建設準備室参与 8.4～　22.3 館長 22.4～ 名誉館長
館　　長		斉藤　雅文	21.4～22.3 次長 25.4～
次　長（教育普及係長）		住谷　親介	24.4～
次　長（学芸係長）		金井　英男	17.4～23.3 主幹 25.4～
教育普及係	主　　幹	佐藤　泰利	25.4～
	主　　幹	市川　光早	25.4～
	主　　幹	戸所　雄彦	24.4～
	主　　幹	小須田　健志	23.4～
	主　　幹	箱田　陽子	25.4～
	主　　幹	井坂　晴美	25.4～
学芸係	主　　幹	高橋　克之	12.4～
	主　　幹	大森　威宏	10.4～
	主幹（学芸員）	髙桒　祐司	5.4～8.3 建設準備室 8.4～
	主　　幹	杉山　直人	20.4～
	主　　幹	篠原　克実	23.4～
	副主幹（学芸員）	木村　敏之	14.4～
	主任（学芸員）	姉崎　智子	17.4～
	主任（学芸員）	菅原　久誠	25.4～
展示解説員（嘱託）	高橋　弘美　外所　宏美　菊地　如子　佐藤　陽子 佐々木尚子　近藤　愛子　松本恵利那　林　夏希		